

別冊

地域別カルテ

1 4 地域比較	・ ・ ・	p 1 ～ 2
富山中央地域	・ ・ ・	p 3 ～ 4
富山北部地域	・ ・ ・	p 5 ～ 6
和合地域	・ ・ ・	p 7 ～ 8
呉羽地域	・ ・ ・	p 9 ～ 1 0
富山西部地域	・ ・ ・	p 1 1 ～ 1 2
富山南部地域	・ ・ ・	p 1 3 ～ 1 4
富山東部地域	・ ・ ・	p 1 5 ～ 1 6
水橋地域	・ ・ ・	p 1 7 ～ 1 8
大沢野地域	・ ・ ・	p 1 9 ～ 2 0
大山地域	・ ・ ・	p 2 1 ～ 2 2
八尾地域	・ ・ ・	p 2 3 ～ 2 4
婦中地域	・ ・ ・	p 2 5 ～ 2 6
山田地域	・ ・ ・	p 2 7 ～ 2 8
細入地域	・ ・ ・	p 2 9 ～ 3 0

14地域の比較データ

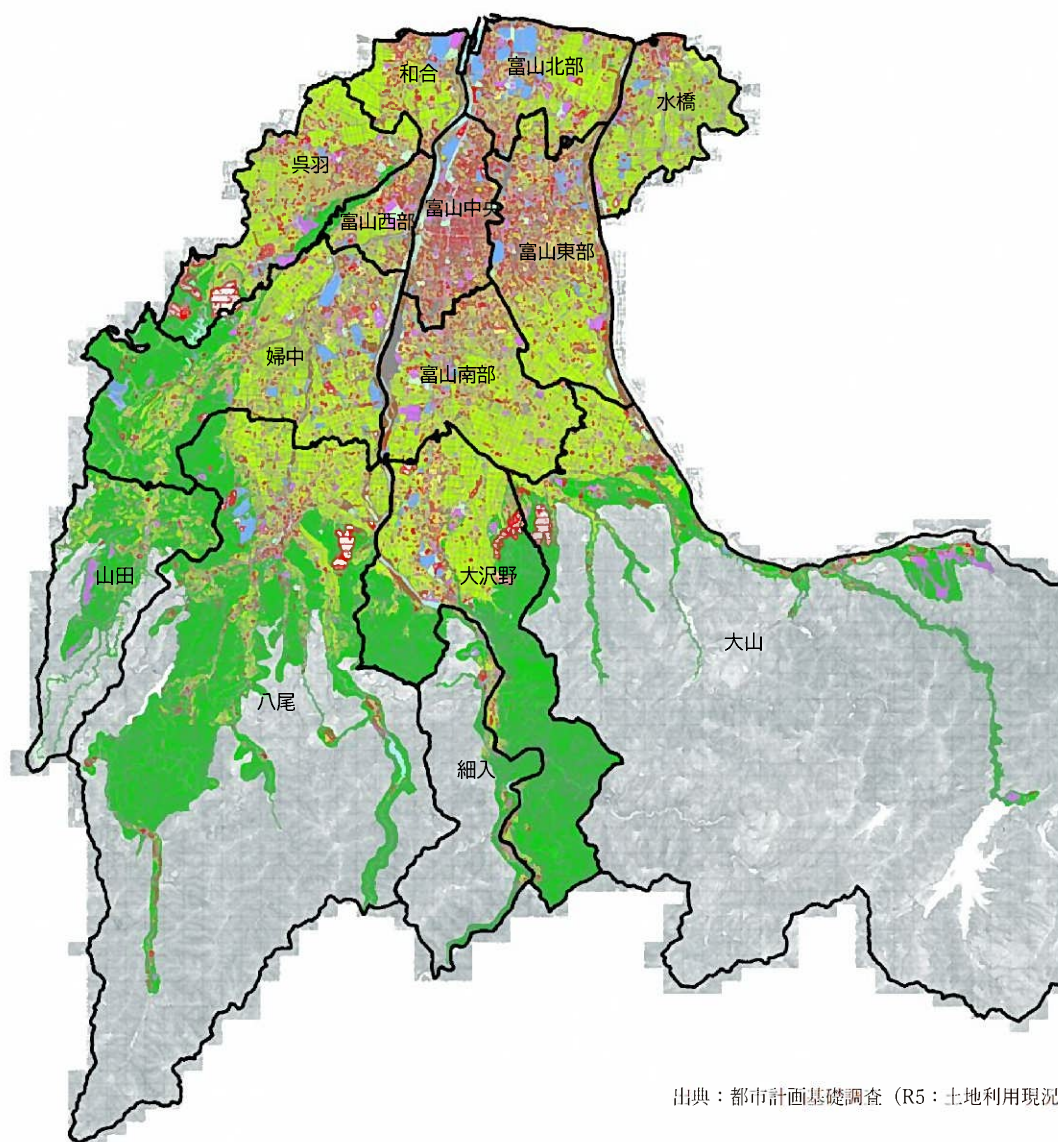
地域別での土地利用の違い

<土地利用>

- ・富山中央地域は都市的土地利用が最も進んでいるエリアであり、住宅用地や商業用地の割合が最も高い
- ・次いで都市的土地利用が進んでいるエリアは、富山北部、富山西部、富山東部地域であり、住宅用地や商業用地の割合が富山中央地域に次いで高く、また特に富山北部は工業用地の割合が最も高い
- ・大沢野、大山、八尾、婦中、山田、細入地域は中山間地域を有しており山林や田畑などの自然的土地利用が7割以上と全市平均より高く緑豊かなエリアであり、その中において大沢野や婦中地域は都市的土地利用が2～3割程度となっている
- ・和合、呉羽、富山南部、水橋地域は、自然的土地利用が5～6割を占める一方で、住宅用地が1割以上、商業用地も一定程度あるエリアである

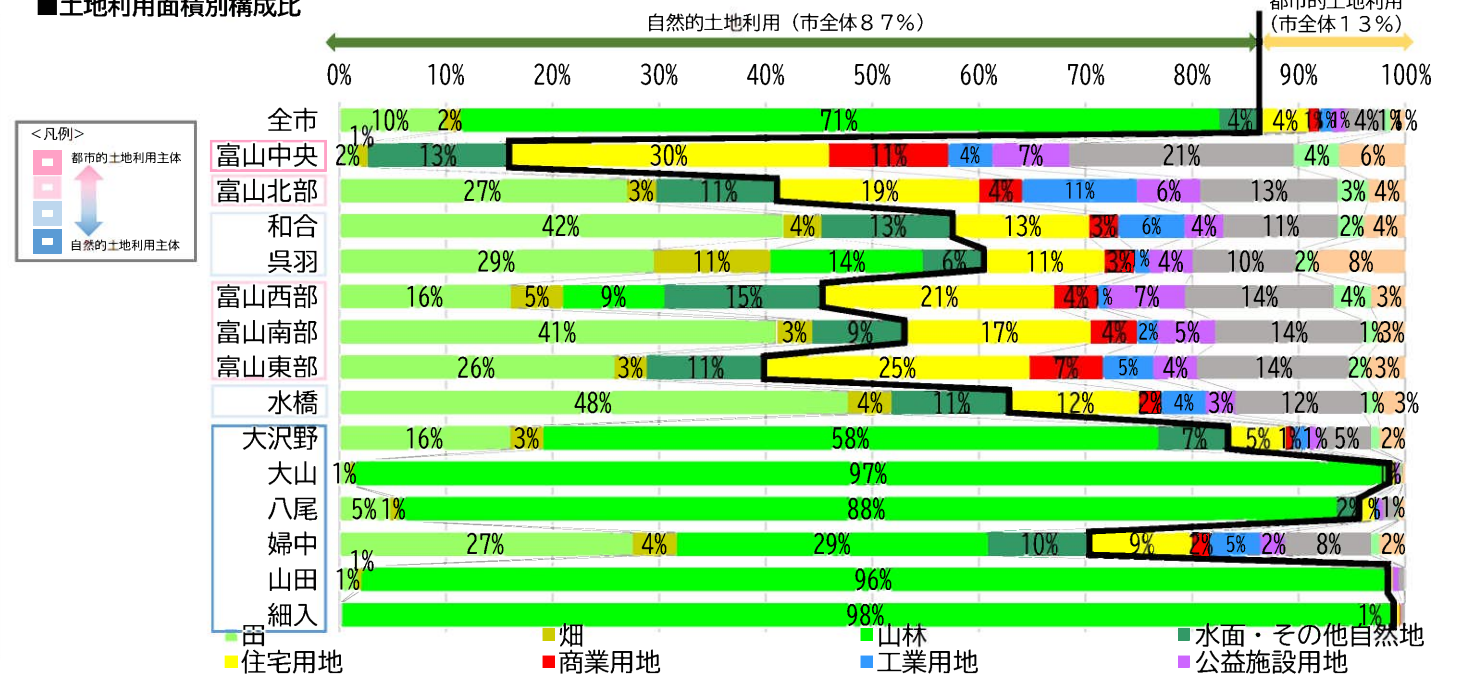
<低未利用地>

- ・低未利用地及び平面駐車場の面積は全体としてはほぼ横ばい傾向だが、都市的土地利用に占める割合は富山中央や呉羽地域などでは全市と比べ高い割合の傾向
- ・空き家はほとんどの地域で維持もしくは増加傾向にあり、特に和合、呉羽、水橋地域などでその割合は大きく増加の傾向

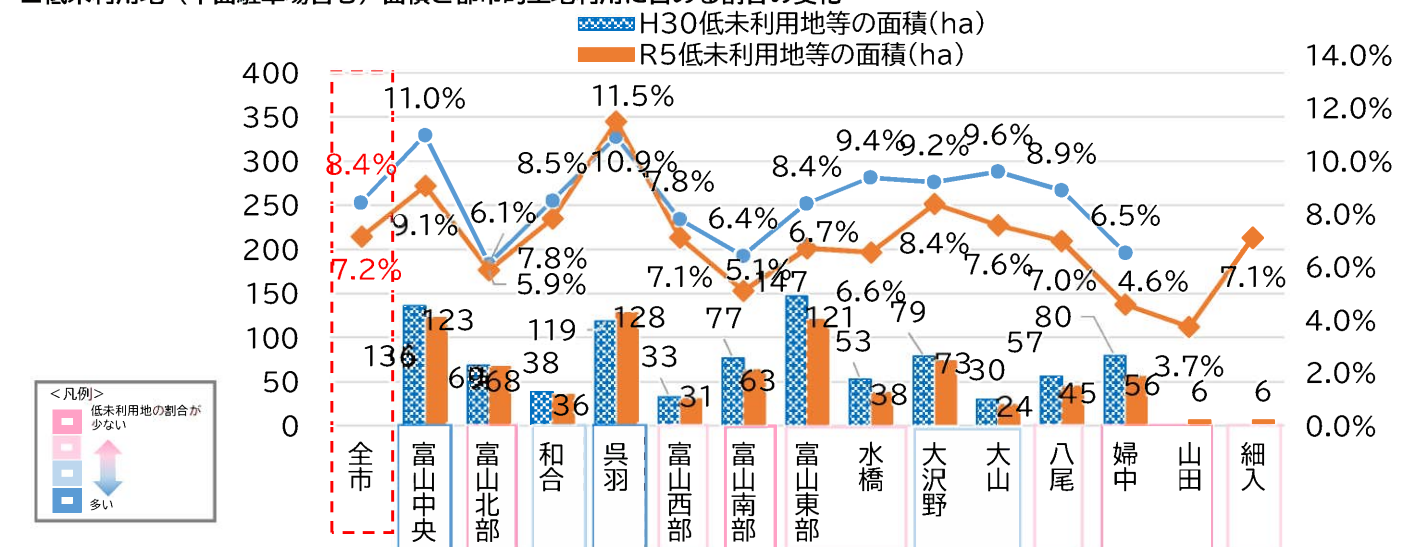


出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

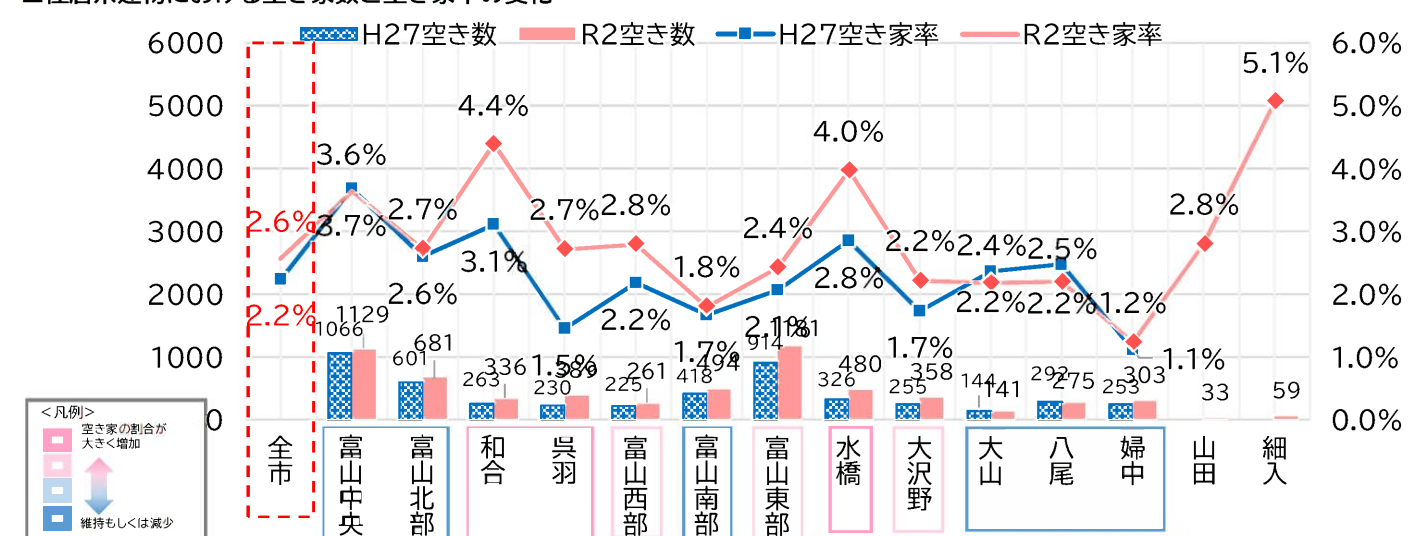
■土地利用面積別構成比



■低未利用地（平面駐車場含む）面積と都市的土地利用に占める割合の変化



■住居系建物における空き家数と空き家率の変化



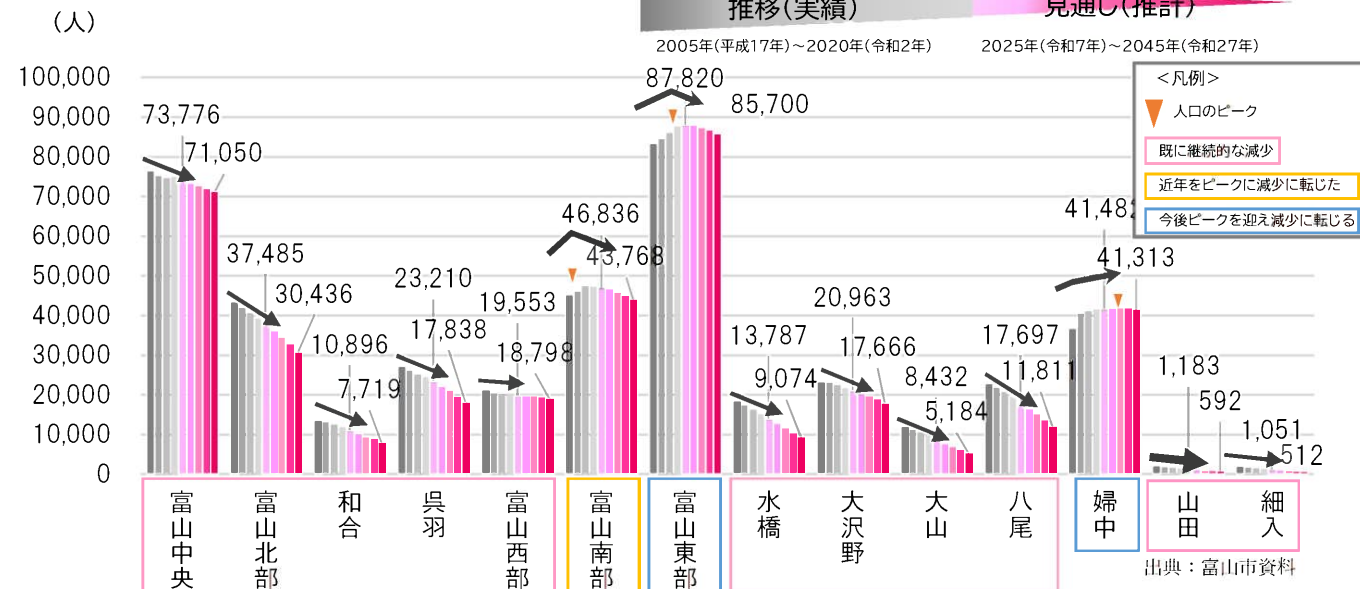
※H27空き家にはH30都市計画基礎調査、R2空き家にはR5の都市計画基礎調査の建物現況を付与。
※経年比較のため、富山南都市計画区域の範囲は、R5においても都市計画区域を対象とした。

出典：都市計画基礎調査（R5：建物利用現況）、富山市資料（空き家調査）

14地域の比較データ

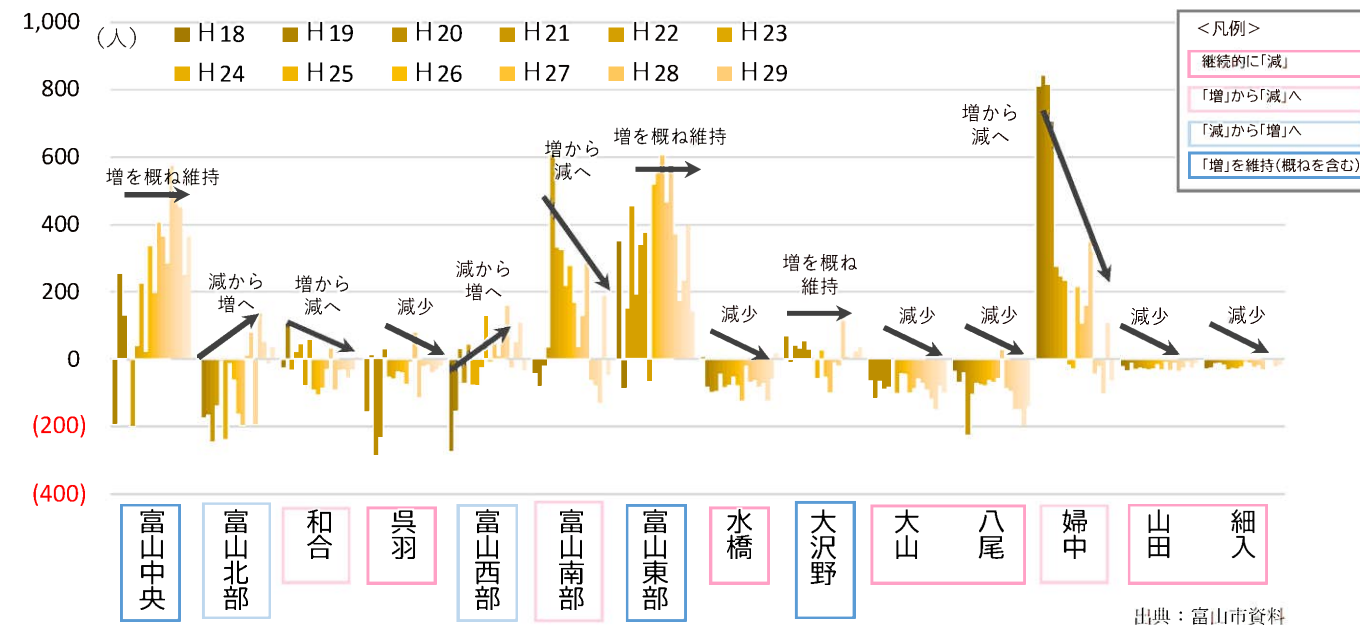
地域別での人口や世帯の推移・見通しの違い

■人口の推移と見通し（5年単位）



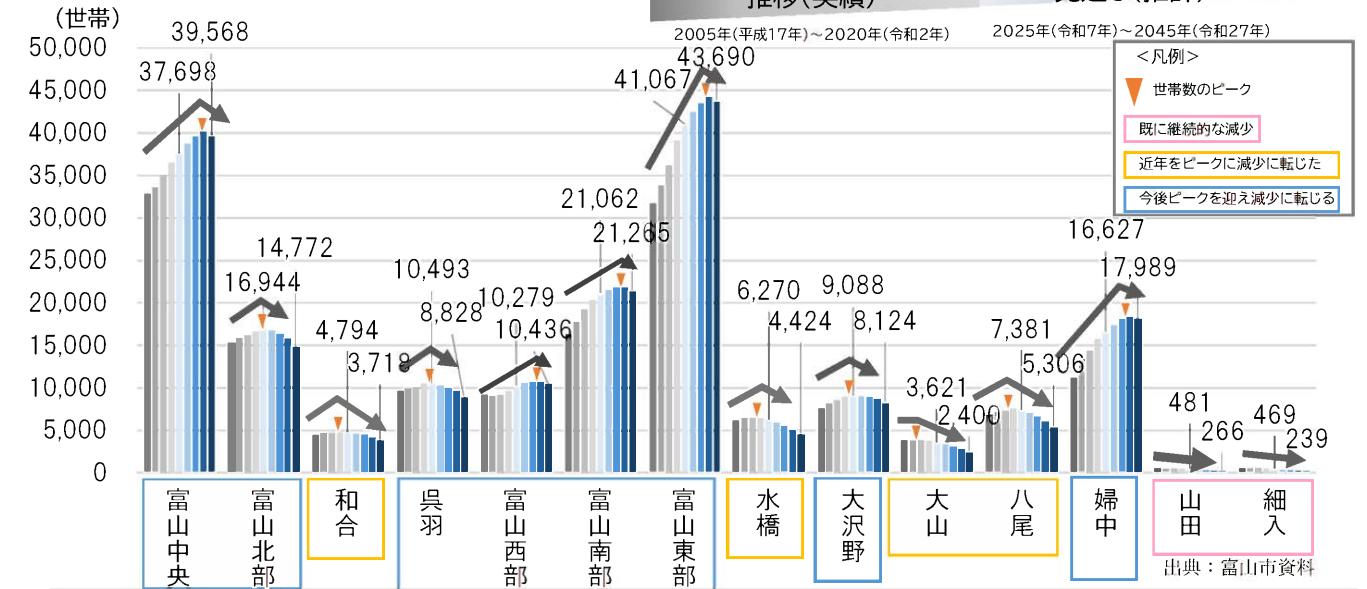
- ・富山中央地域をはじめ多くの地域で継続的に人口減少が進む中、富山南部地域は近年をピークに減少に転じ、富山東部地域はこの5年程度をピークに減少する見込み
- ・婦中地域は現状の人口規模が2040年頃まで維持されるが、その後減少に転じる見込み

■社会増減の推移



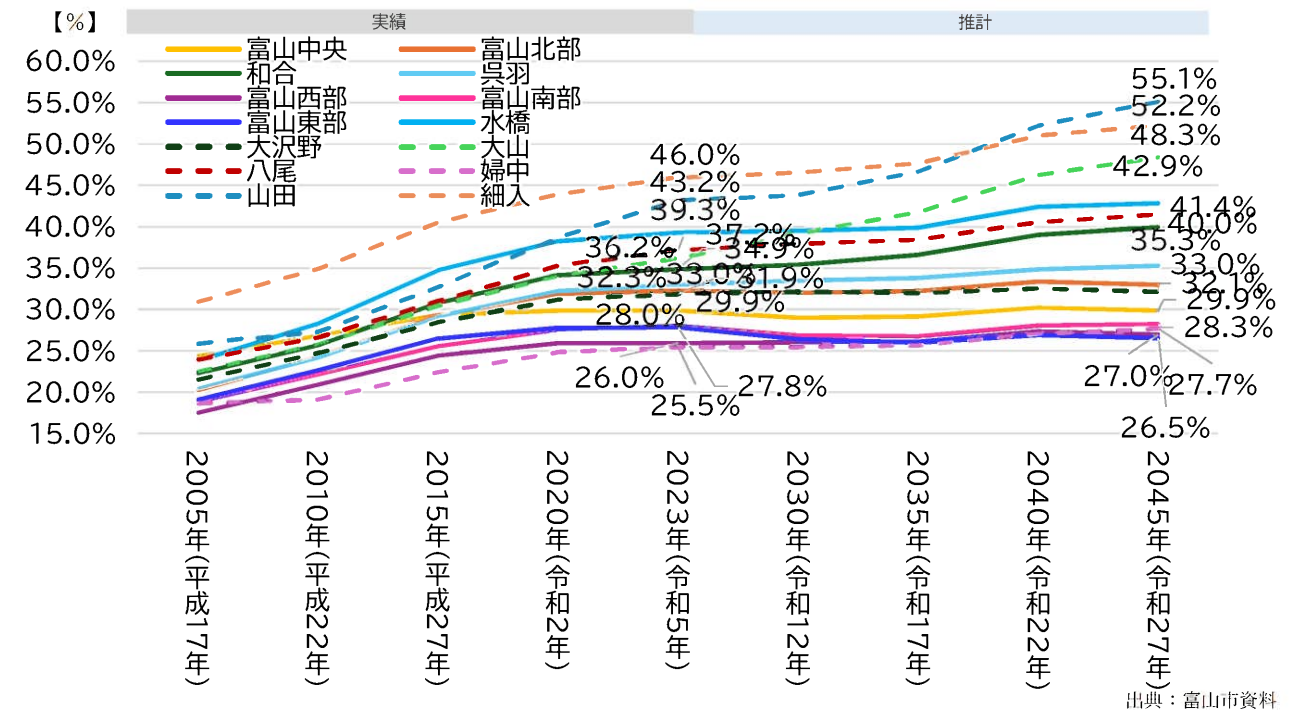
- ・富山中央や富山東部、大沢野地域は、社会増を概ね維持しているとともに、富山北部や富山西部地域では概ね社会減から社会増の傾向に変化
- ・一方、呉羽、水橋、大山、八尾、山田、細入地域は、社会減が続いているとともに、和合や婦中地域においては社会増から社会減の傾向に変化

■世帯の推移と見通し（5年単位）



- ・全市的には今後10年程度にピークを迎えたと見込まれるが、山田や細入地域はすでに継続的に減少し、富山北部、和合、呉羽、水橋、大沢野、八尾地域は、現在が世帯数のピークであり、今後は減少する見込み
- ・また、富山中央や富山西部、富山南部、富山東部、婦中地域は、計画期間後半にピークを迎える

■高齢化率の推移と見通し

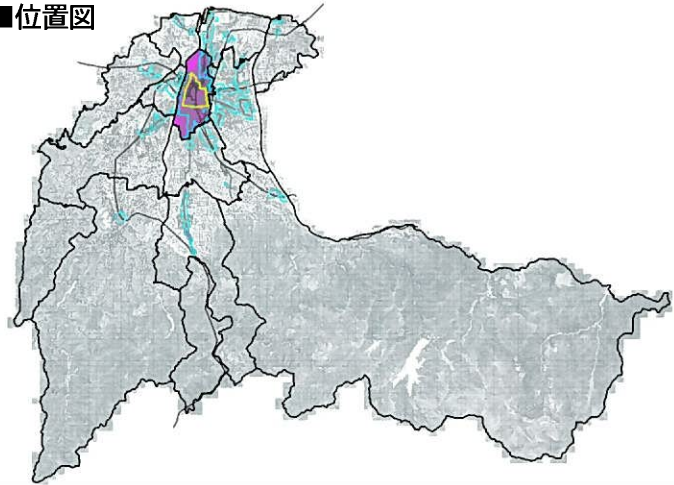


- ・全体として高齢化が進む傾向の中、婦中、富山西部、富山東部、富山南部、富山中央地域は30%以下で、大沢野、富山北部、呉羽地域は概ね30%であり、今後も同水準を維持する見込み
- ・和合、大山、八尾、水橋地域は現時点で34～40%であるが、今後はさらに高齢化が進行し、2045年には40%以上となる見込みで、特に大山地域は顕著に増加し、50%近くとなる見込み
- ・山田や細入地域は、既に45%前後で高い高齢化率であるが、2045年には50%以上となる見込み

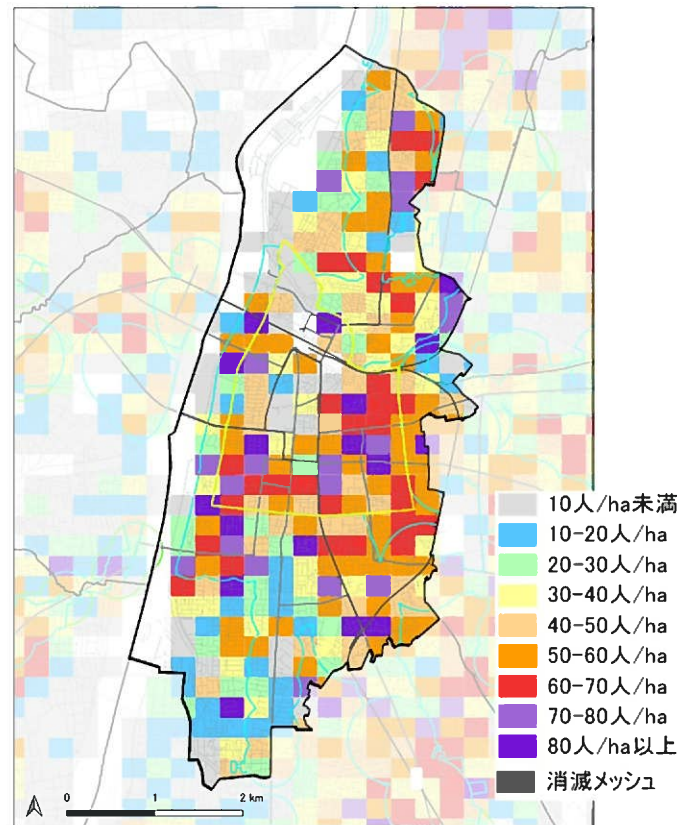
地区の概況

- ・富山中央地域は、富山市だけでなく、富山県を中心として、官公庁や商業・業務など、多様な都市機能が集積する都心地区と、その周辺の住宅地域、工業地域などからなる。
- ・富山駅周辺では、在来線高架化に合わせ、駅前広場や自由通路などの整備による南北一体まちづくりを実施してきた。
- ・市のシンボルである LRT が走る都市景観のほか、地域内には富岩運河環水公園や城址公園や、桜の名所である松川などの地域資源が多数立地している。

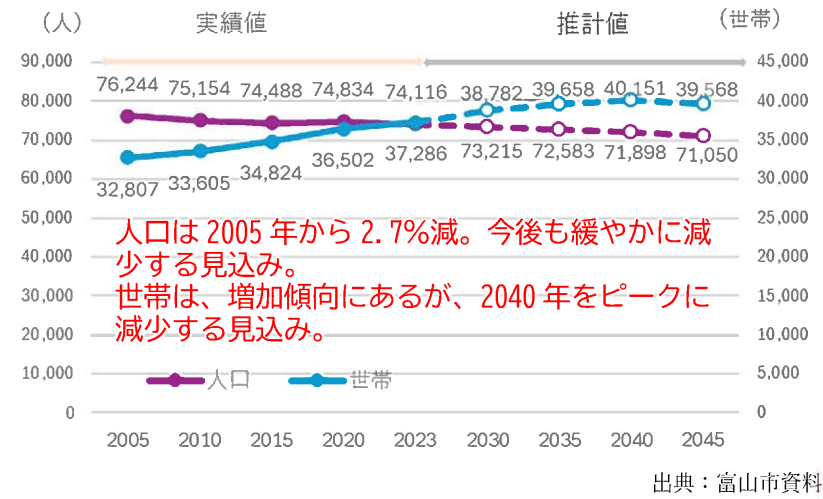
■位置図



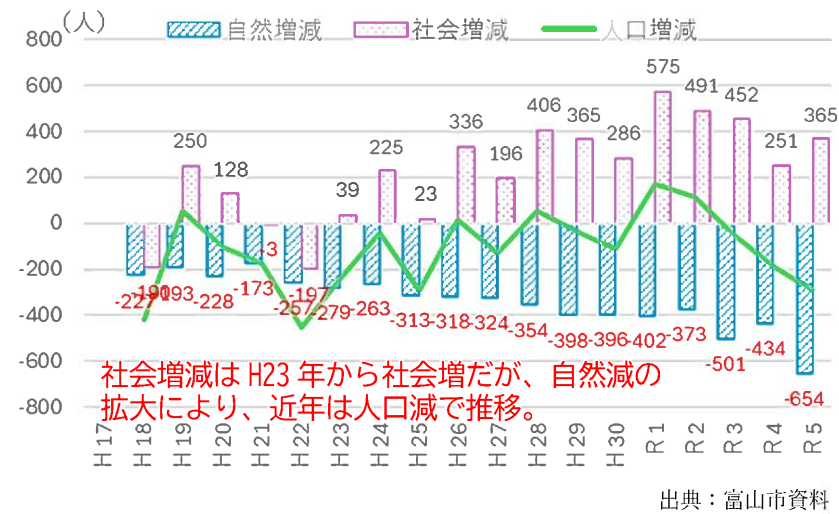
■人口分布（2023 年）



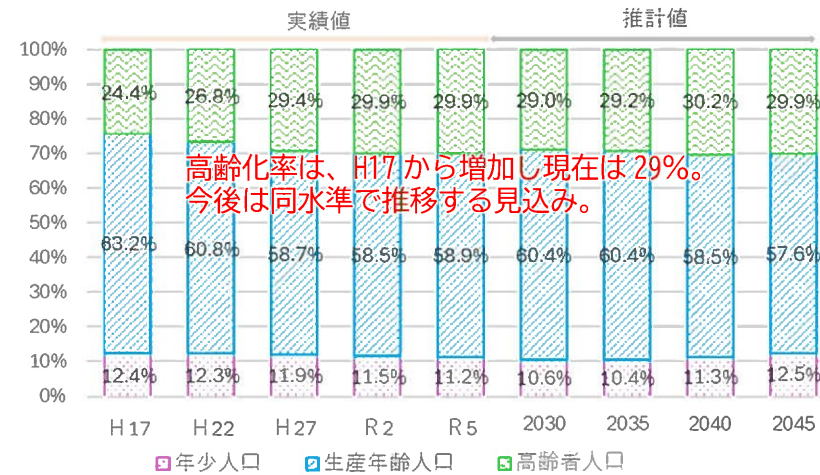
■人口・世帯の推移と見通し



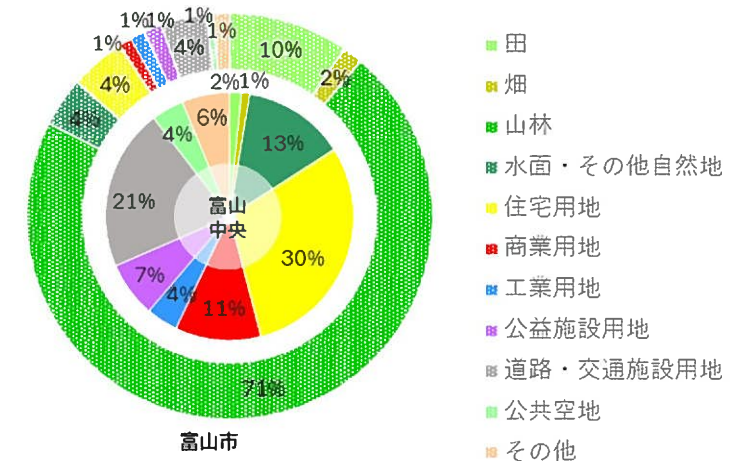
■自然増減・社会増減・人口増減



■年齢3区分割合の推移と見通し

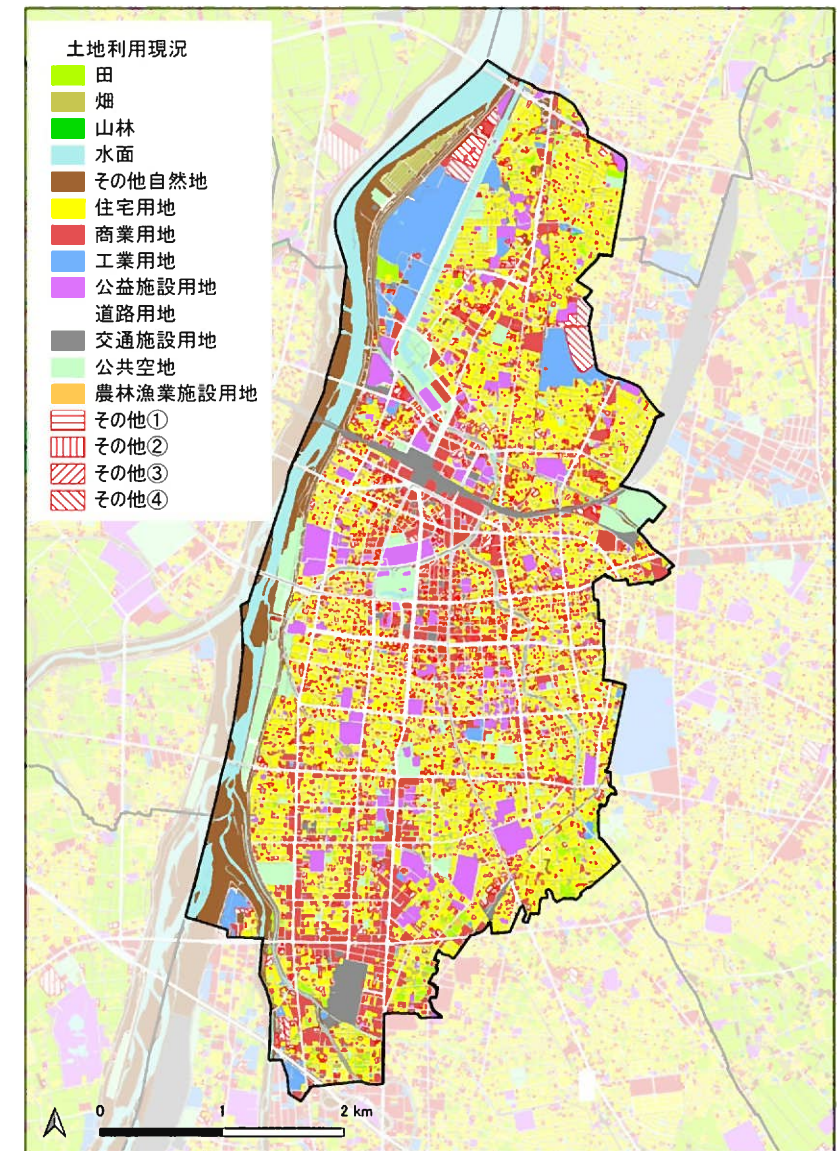


■土地利用面積別構成比



都市的土地利用は 84%。そのうち、住宅や商業などの土地利用は 52% 程度である。山林や田畑、水面などの自然的土地利用が 16% である。

■土地利用現況

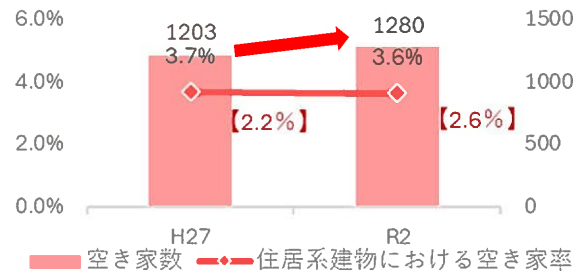


その他①：ゴルフ場
その他②：太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③：平面駐車場等
その他④：上記以外

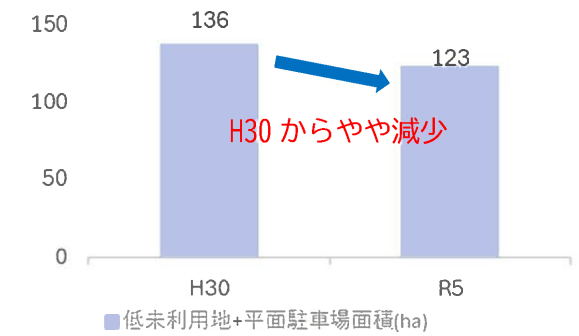
出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

■空き家数及び住居系建物における空き家率

【富山市の空き家率】 空き家数、空き家率は増加。

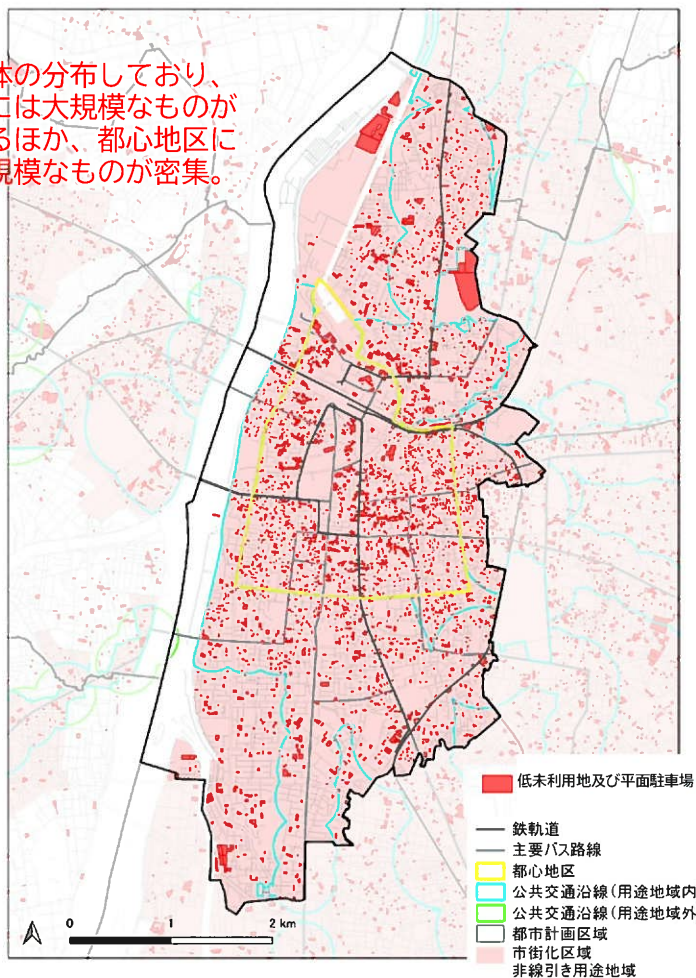


■低未利用地及び平面駐車場の推移

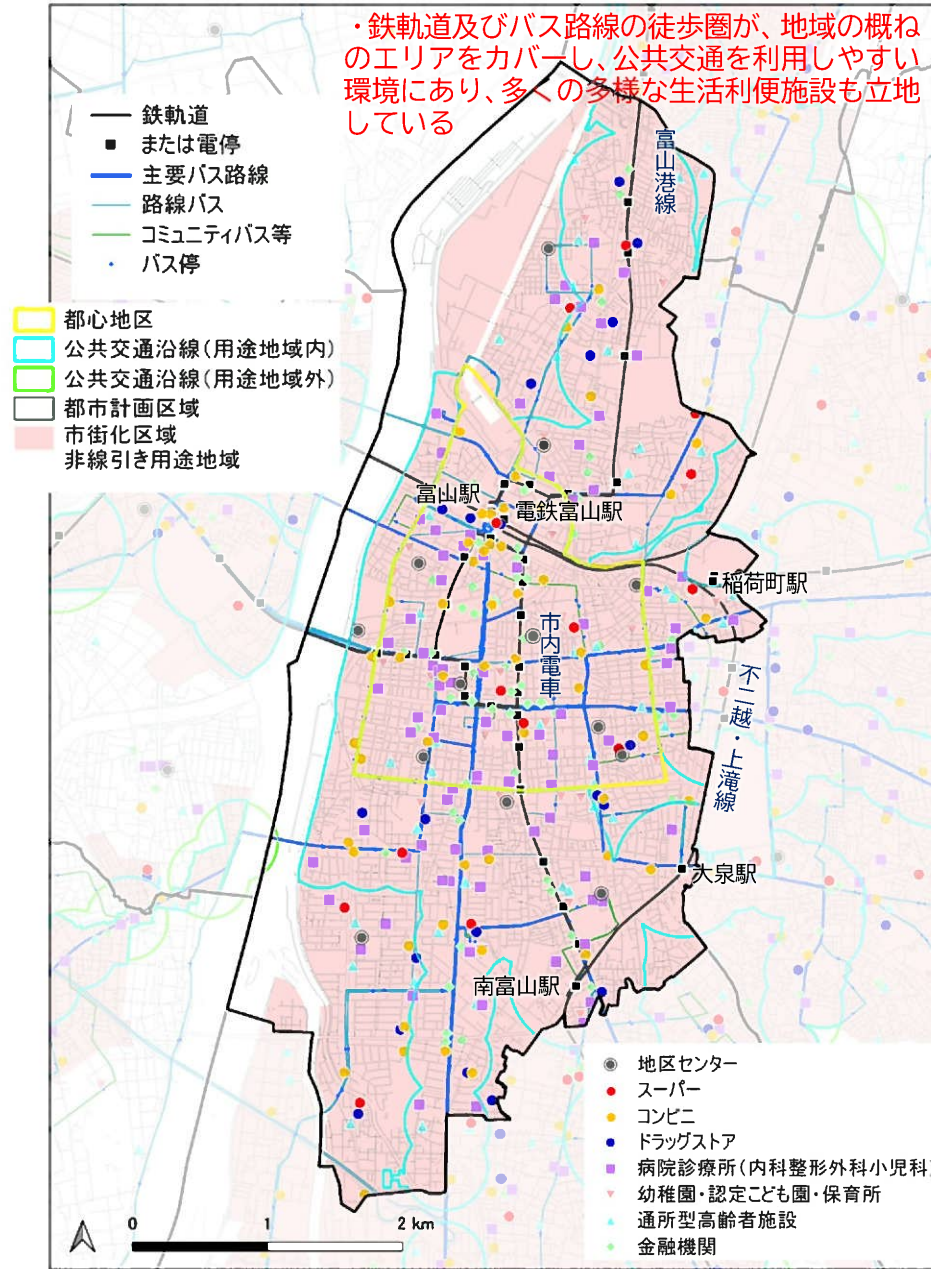


■低未利用地及び平面駐車場の分布

地域全体の分布しており、駅北側には大規模なものが見られるほか、都心地区には、小規模なものが密集。

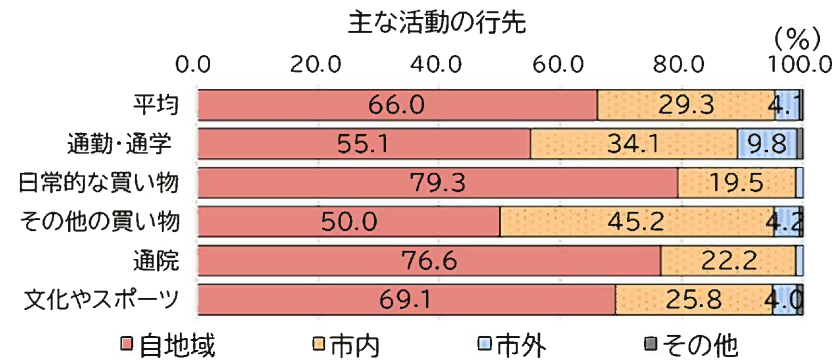


■公共交通網と生活利便施設の分布



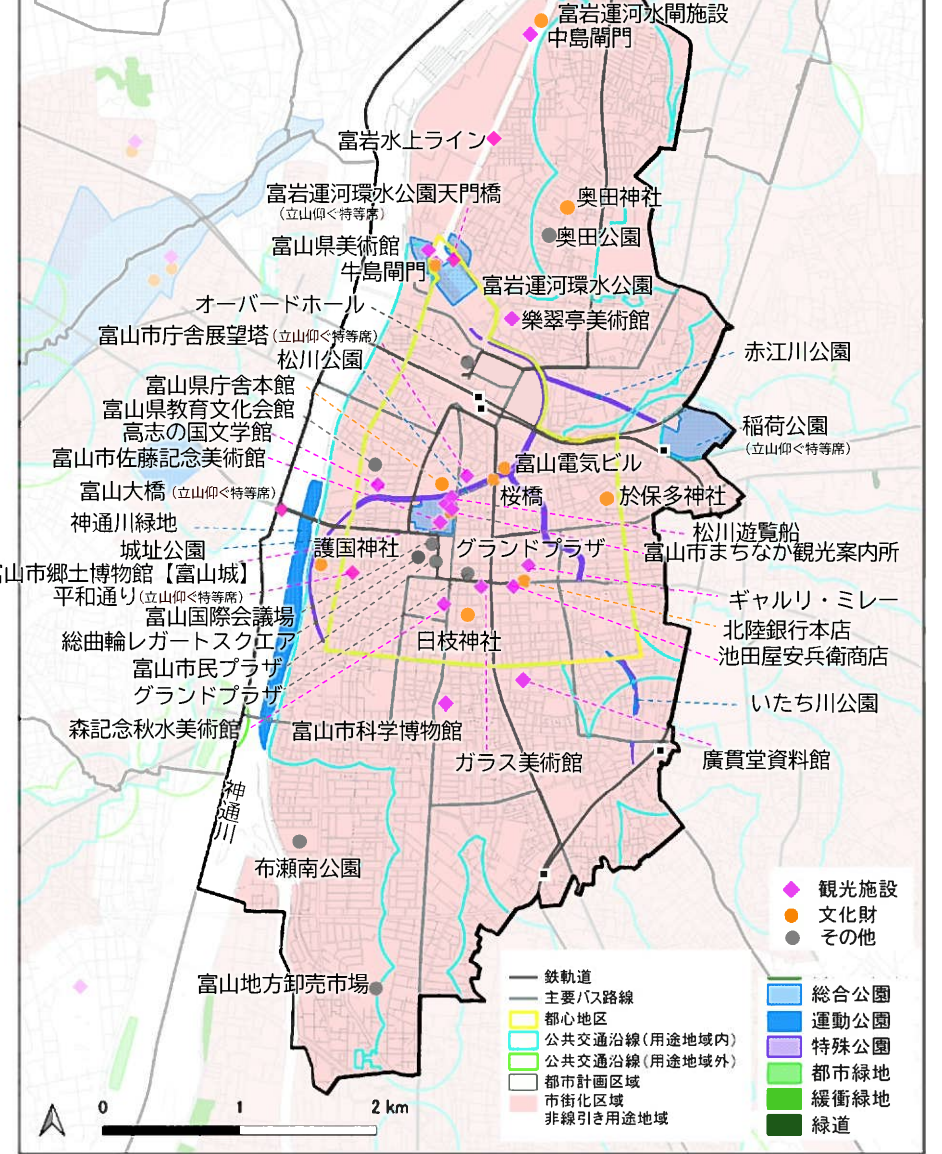
■主な活動の行先

日常的な買い物や通院では約8割が地域内に行っているが、通勤・通学やその他の買い物は約5割程度。

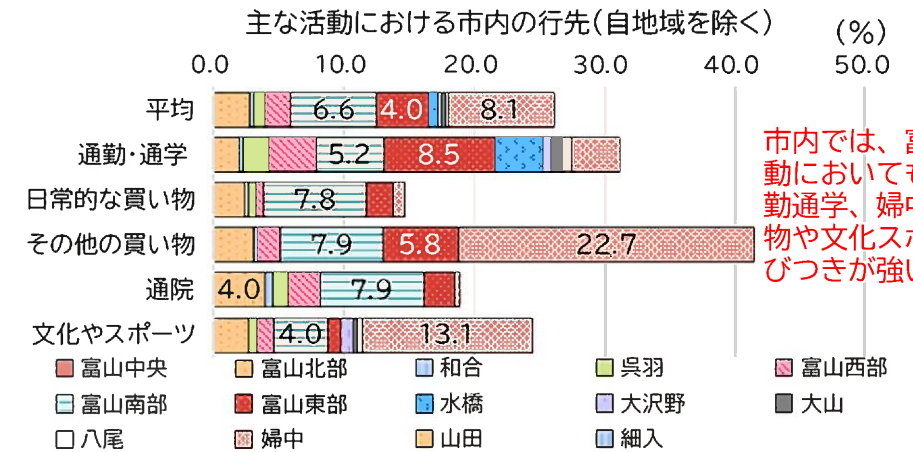


■主な地域資源の分布

・都心地区を中心に、多くの美術館・博物館などの文化・観光施設があるほか、富山運河環水公園や神通川緑地などの魅力ある公園・緑地が複数立地している
・路面電車や水上ラインなど多様な観光資源にもなりうる移動手段がある



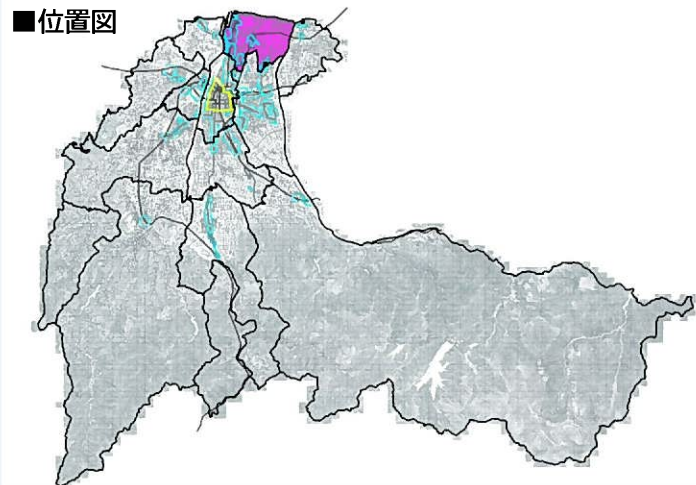
■主な活動における市内の行き先



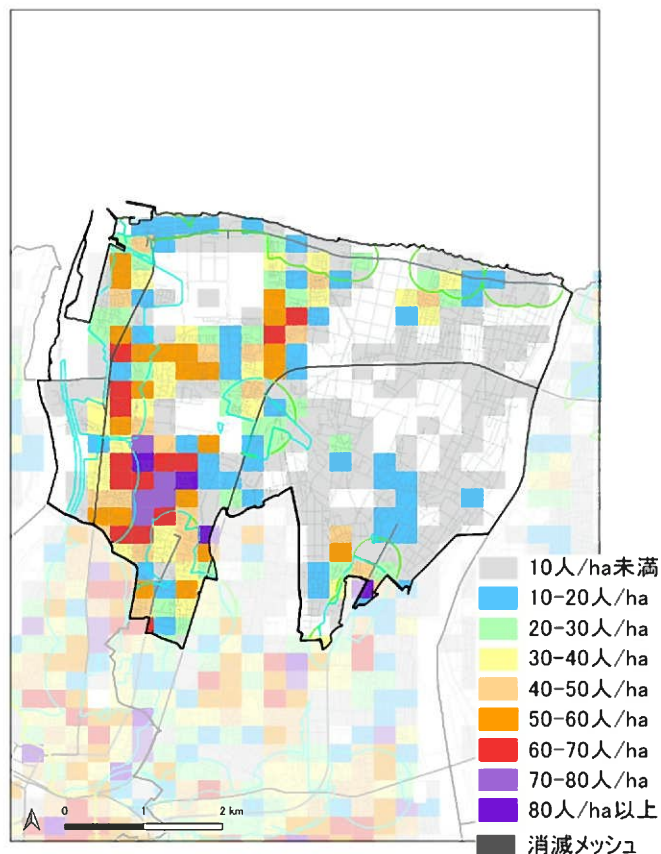
地区の概況

- ・富山北部地域は、市の北に位置して日本海に面し、港や海水浴場、運河など、身近な水辺空間を活かした観光資源が豊富なエリアである。
- ・岩瀬は、古くから日本海側の主要港として知られ、川岸を背に北前船廻船問屋が立ち並んでいた旧北国街道では、明治期に建てられた家屋が残り、歴史が感じられる街並みがある。
- ・富山港線で富山駅北口から約 20 分、富岩水上ライン（観光船）で富岩運河環水公園から約 1 時間のアクセスとなっている。

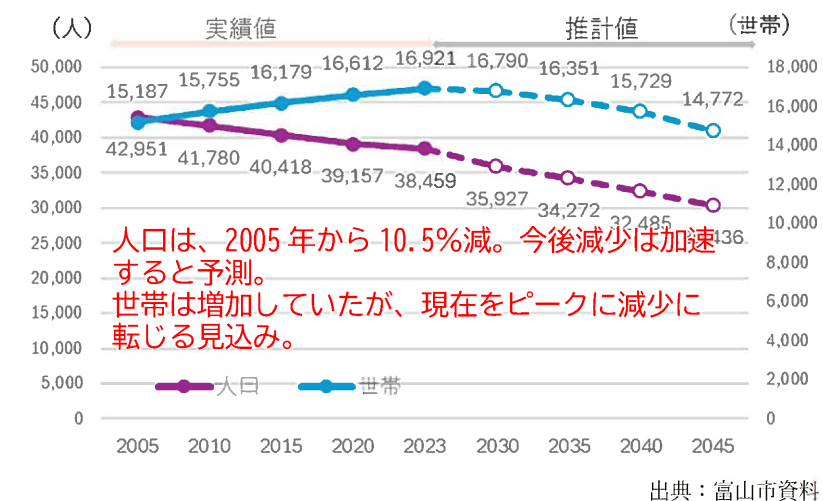
位置図



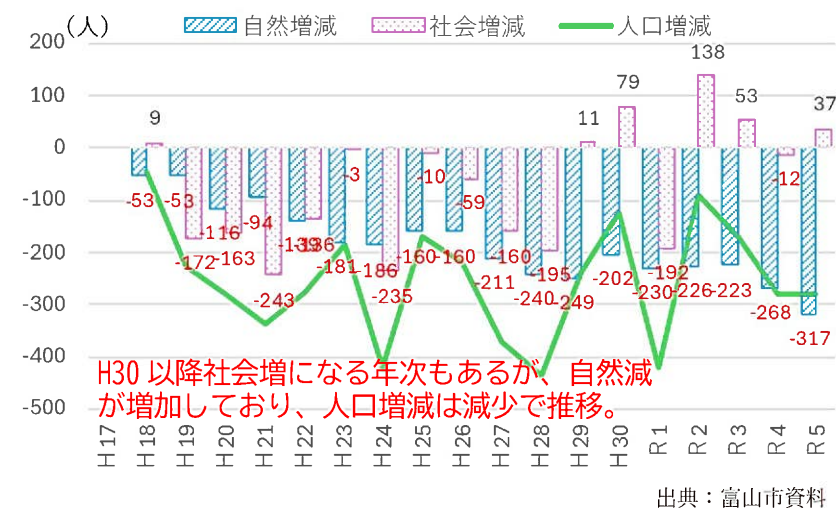
人口分布（2023 年）



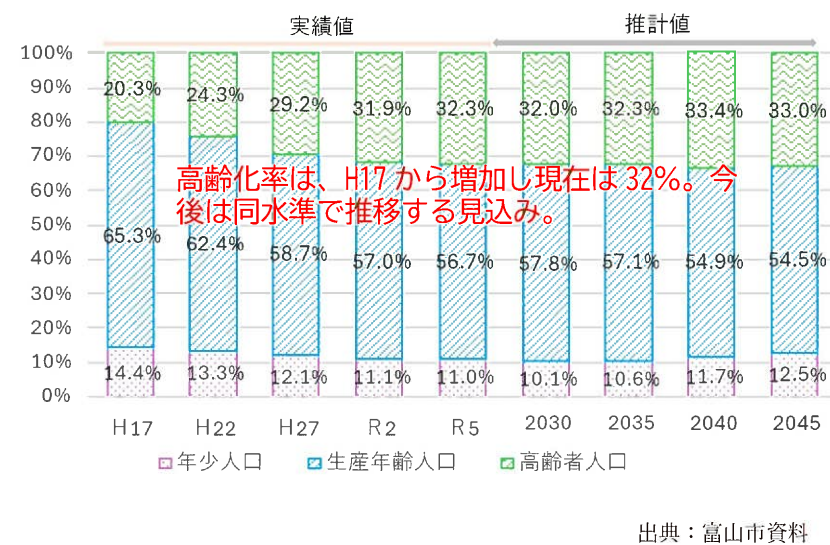
人口・世帯の推移と見通し



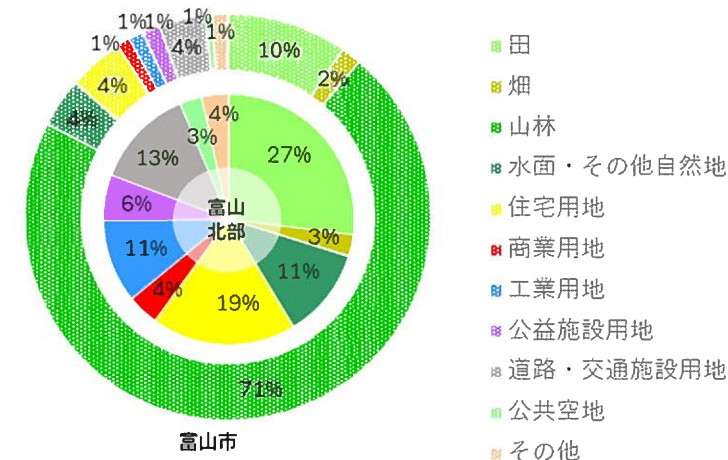
自然増減・社会増減・人口増減



年齢3区分割合の推移と見通し

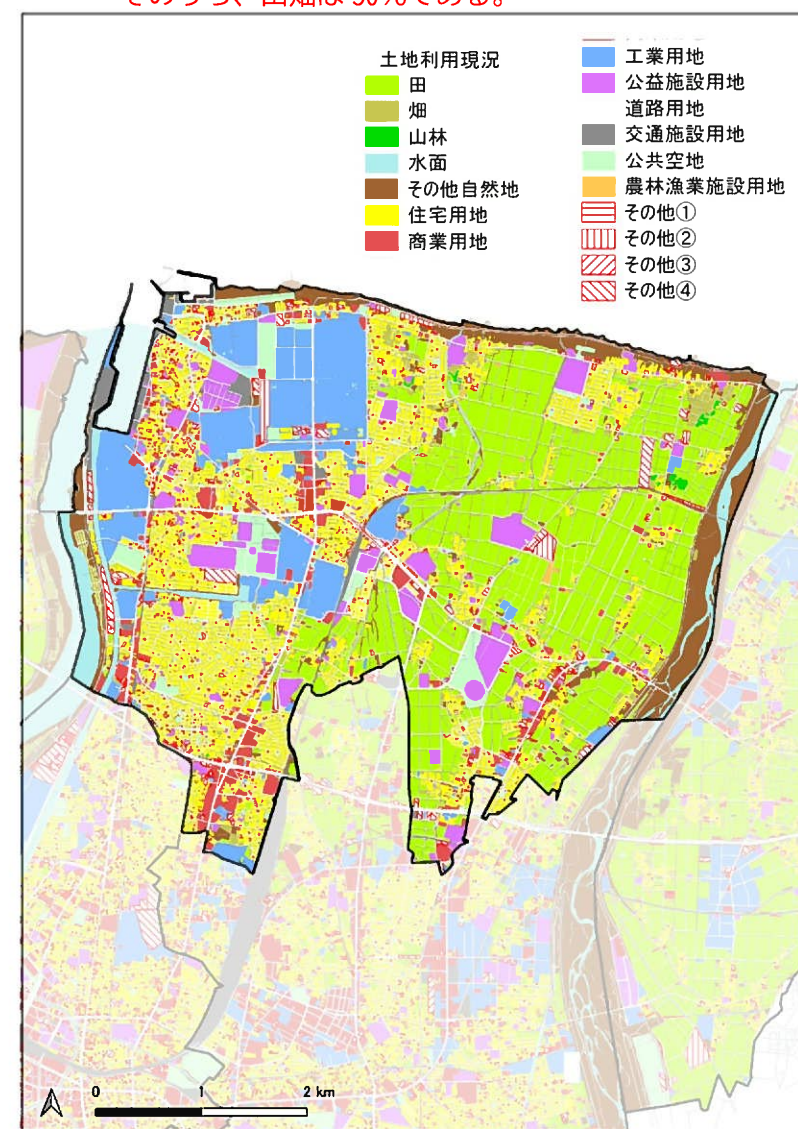


土地利用面積別構成比



土地利用現況

都市的土地利用は 59%。そのうち、住宅や商業などの土地利用は 40% 程度である。山林や田畑、水面などの自然的土地利用が 41% であり、そのうち、田畑は 30% である。



その他①：ゴルフ場
その他②：太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③：平面駐車場等
その他④：上記以外

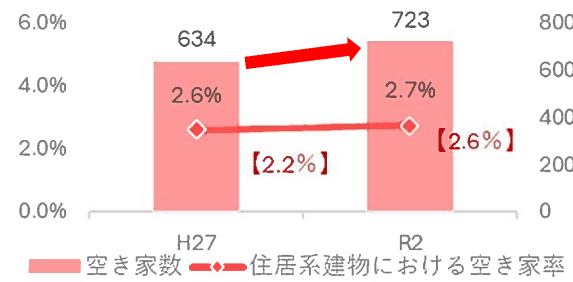
出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

■空き家数及び

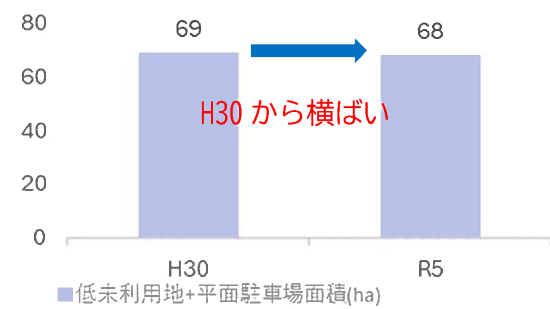
住居系建物における空き家率

空き家数は増加、空き家率は概ね変化なし。

【富山市の空き家率】

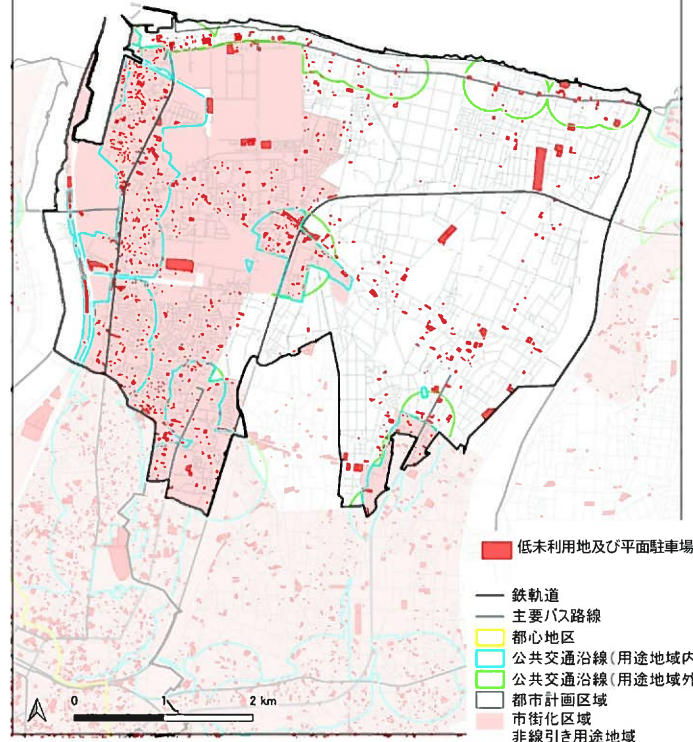


■低未利用地及び平面駐車場の推移



■低未利用地及び平面駐車場の分布

公共交通の徒歩圏には細かいものが多く分布しており、市街化区域外には、比較的大きいものが分布。



出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

■公共交通網と生活利便施設の分布

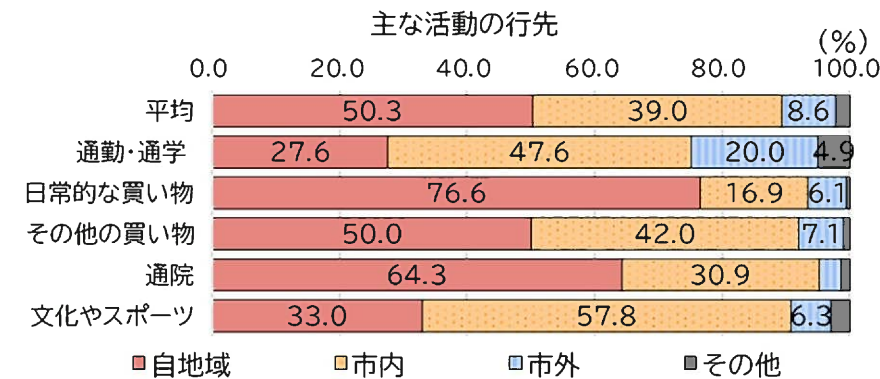
- ・富山港線の電停やあいの風とやま鉄道の東富山駅や新山口駅もあり、交通空白地域はあるものの、概ね人口の多いエリアをカバーしている
- ・生活利便施設は、市街化区域内の電停や駅などの周辺、または幹線道路沿いに位置している



出典：富山市資料

■主な活動の行先

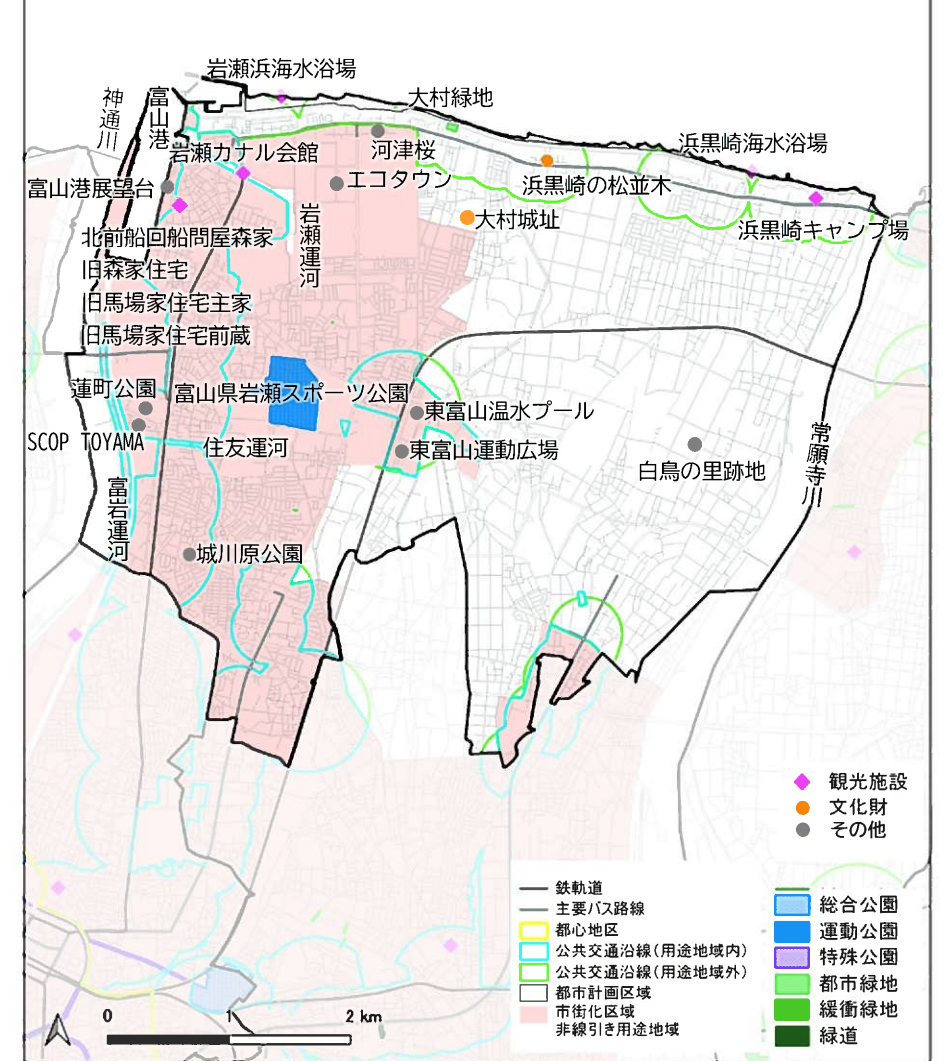
日常的な買い物や通院では約8割。通院は約6割が地域内に行っているが、通勤・通学は約3割程度。



出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

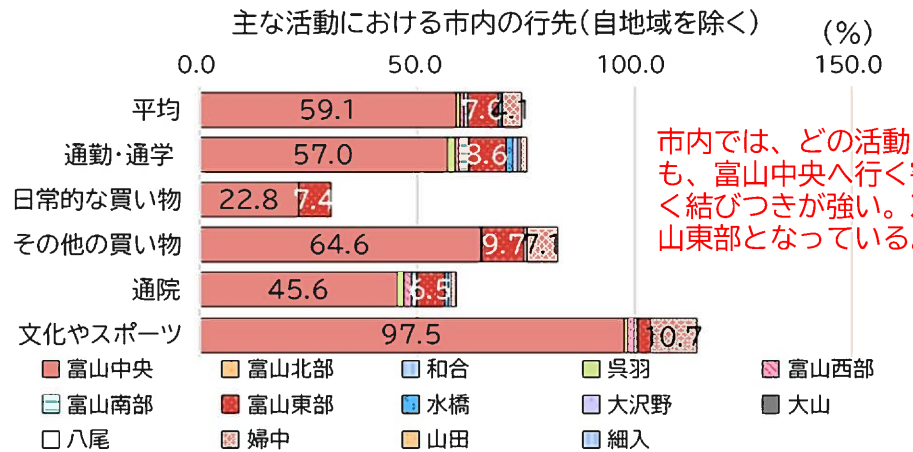
■主な地域資源の分布

- ・海岸沿いには、海水浴場やキャンプ場、スポーツ公園などのアクティビティがあるほか、富山港や、岩瀬運河、富岩運河、住友運河の3つの運河を有し、水辺環境活かした資源が複数ある
- ・岩瀬エリアには歴史的資源である文化財が複数立地している



出典：富山市資料

■主な活動における市内の行き先



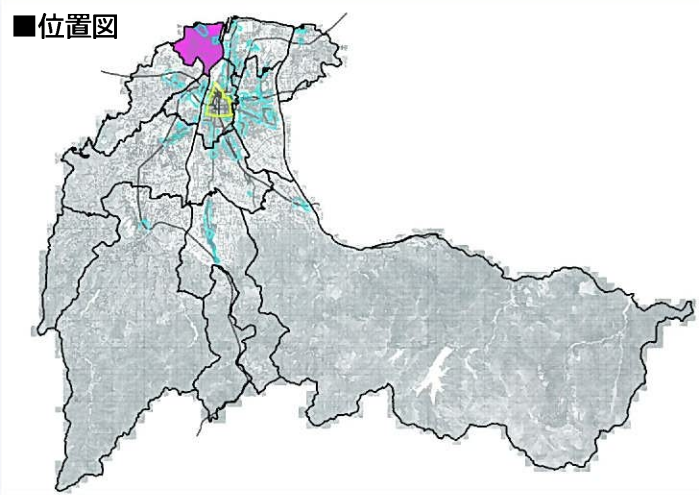
市内では、どの活動においても、富山中央へ行く割合が高く結びつきが強い。次いで富山東部となっている。

出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

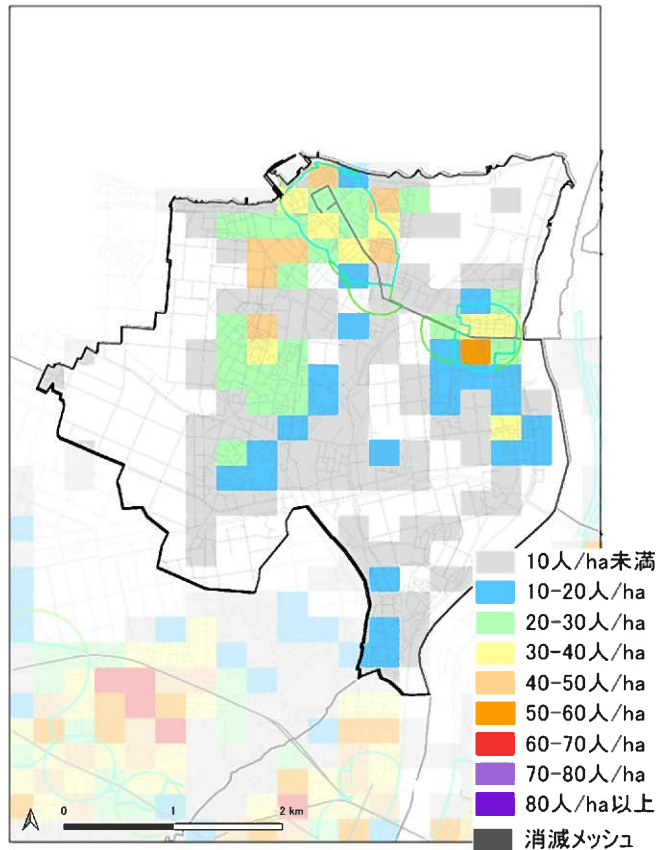
地区の概況

- ・和合地域は、市の北に位置し、日本海と神通川に面しており、臨海部には大規模工場と企業団地が立地しているほか、南側一帯は農地が広がり田園環境を有している。
- ・鉄軌道は通っていないものの、富山港線につながるフィーダーバス路線が四方まで通っている。
- ・地域内にスーパーが立地しておらず、買い物は地域外に行く人が多い。

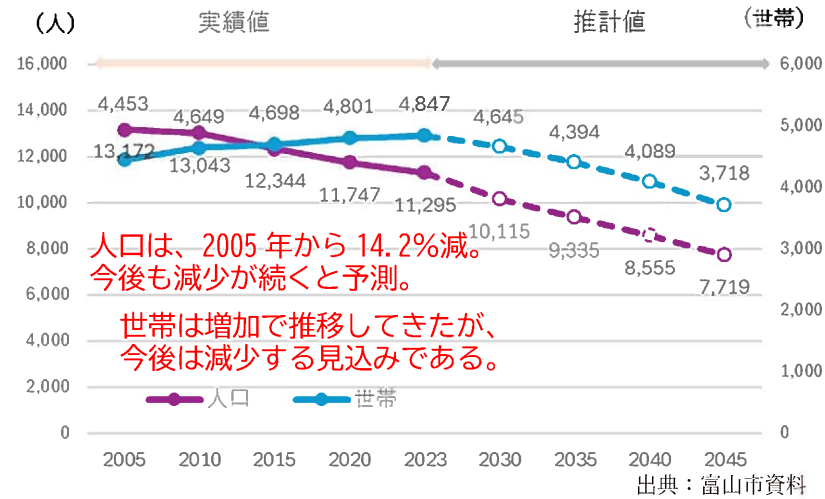
位置図



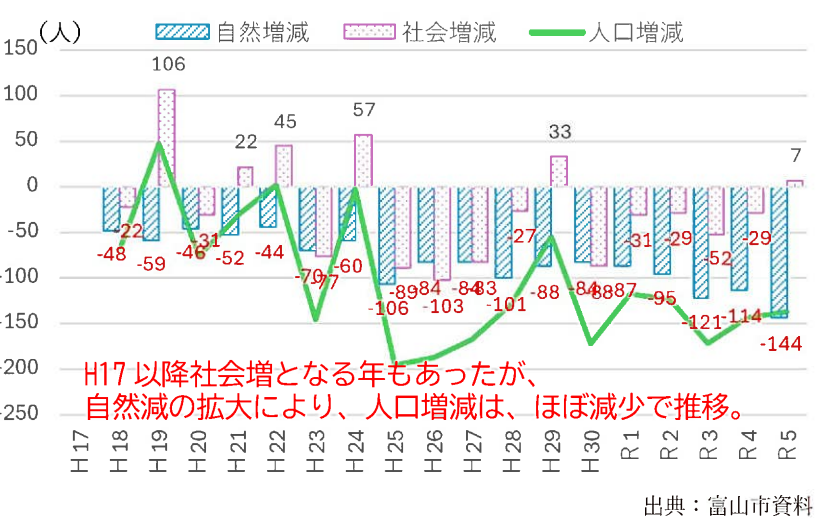
人口分布（2023 年）



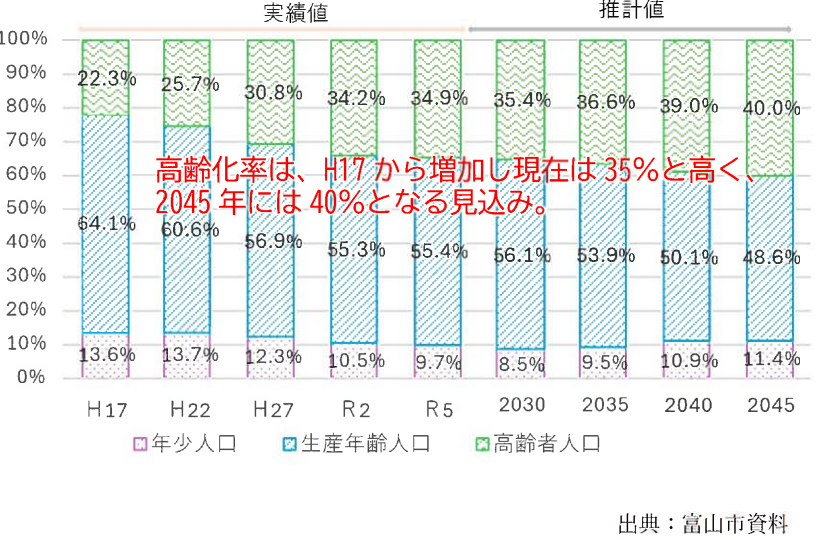
人口・世帯の推移と見通し



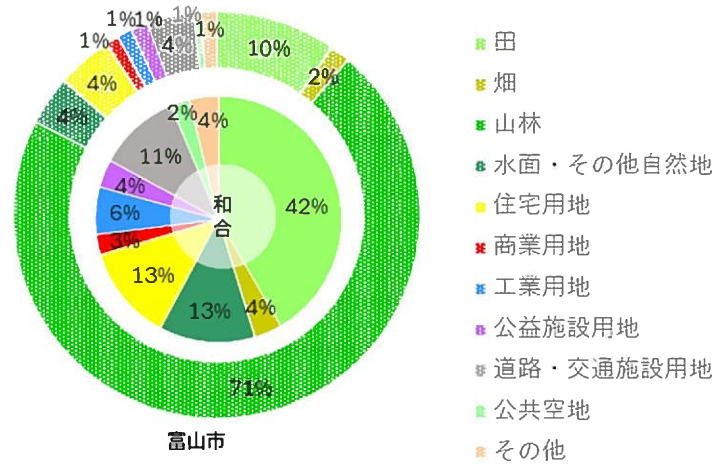
自然増減・社会増減・人口増減



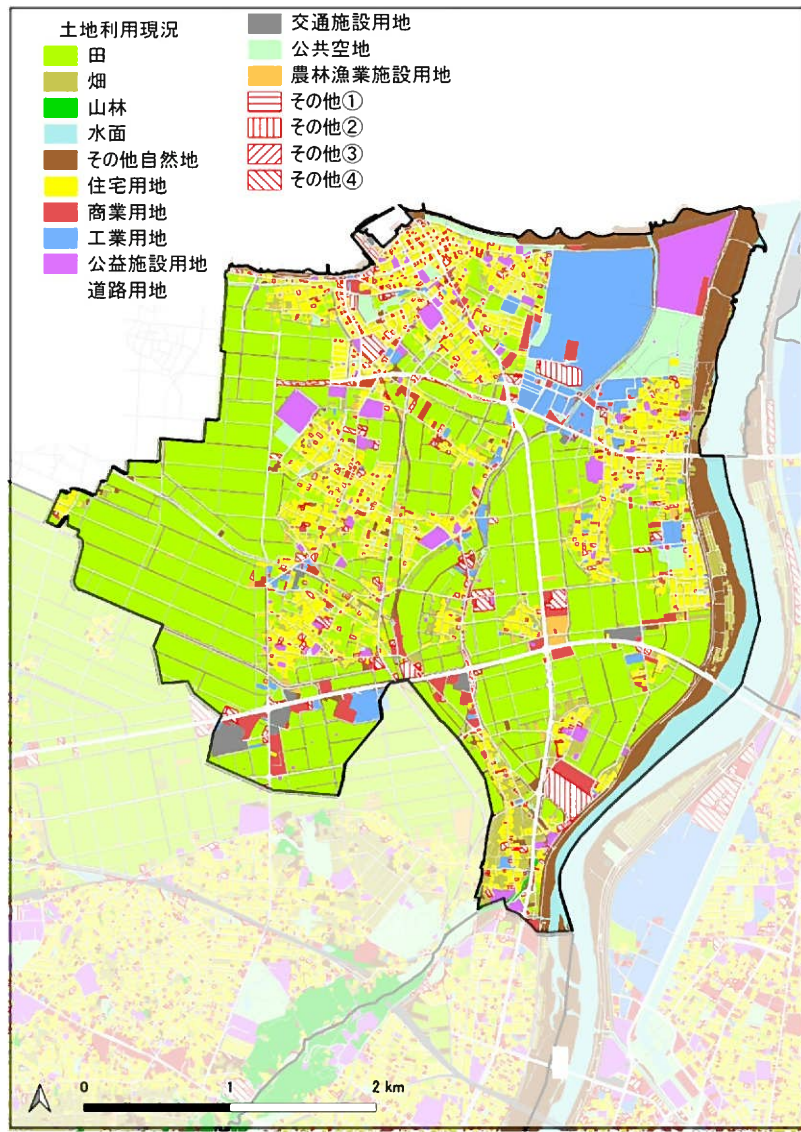
年齢3区分割合の推移と見通し



土地利用面積別構成比



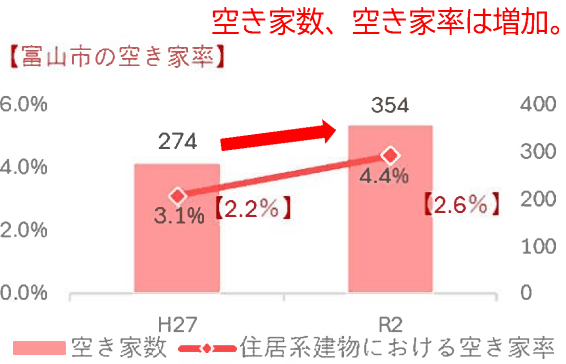
土地利用現況



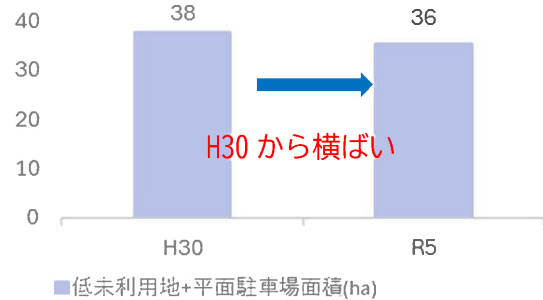
その他①: ゴルフ場
その他②: 太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③: 平面駐車場等
その他④: 上記以外

出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

■空き家数及び住居系建物における空き家率

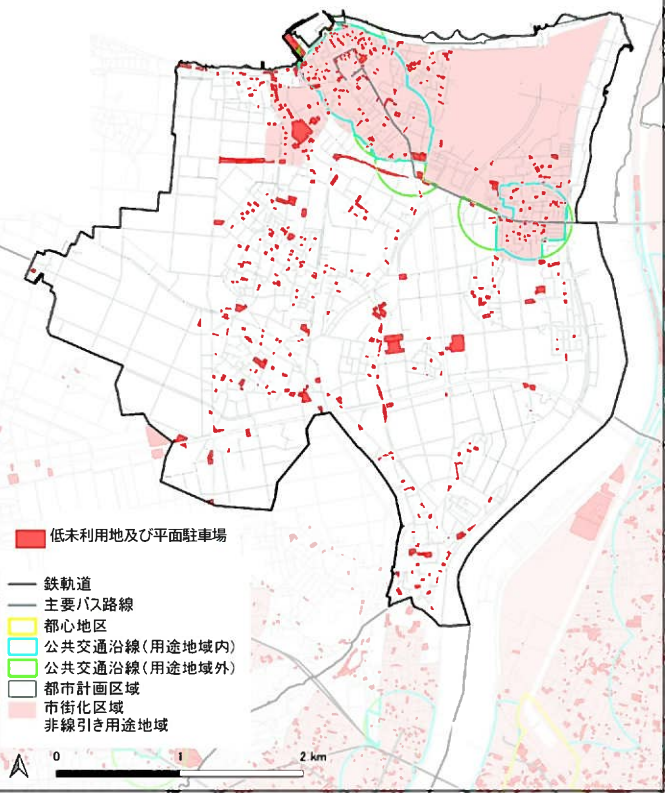


■低未利用地及び平面駐車場の推移



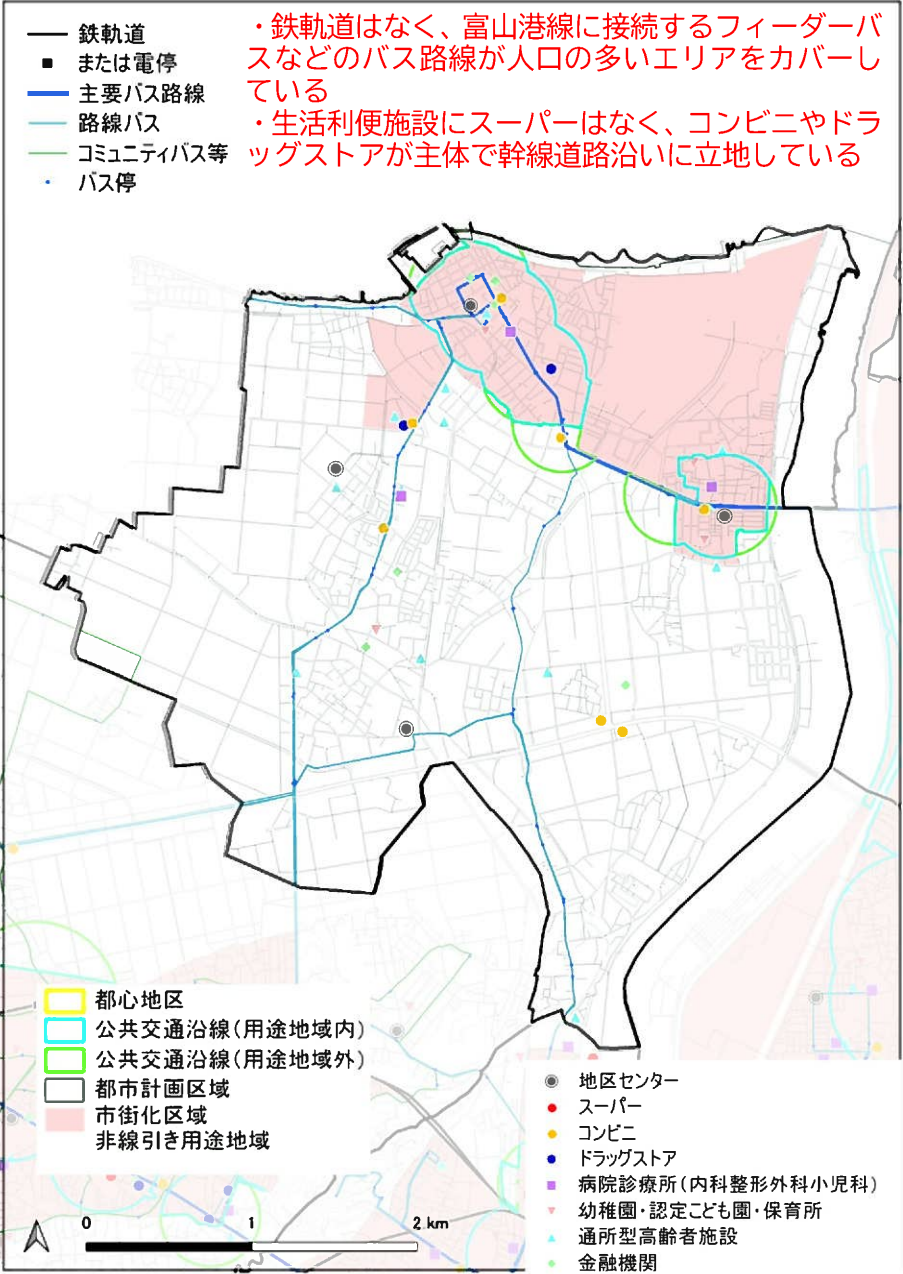
■低未利用地及び平面駐車場の分布

工業用地や公共用地が広がる北東エリア除き都市的土地利用を中心としたエリアに満遍なく分布。

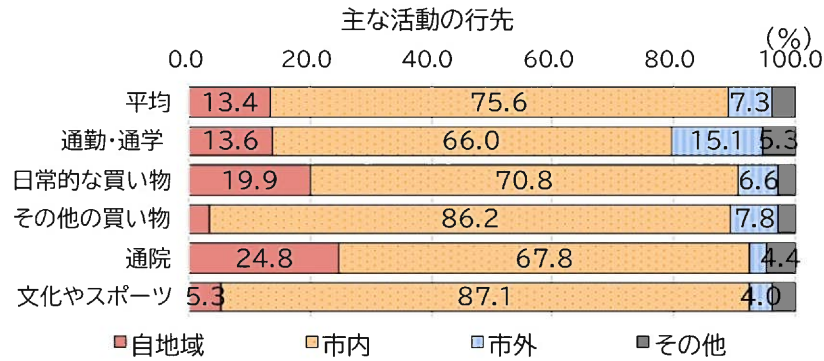


出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

■公共交通網と生活利便施設の分布



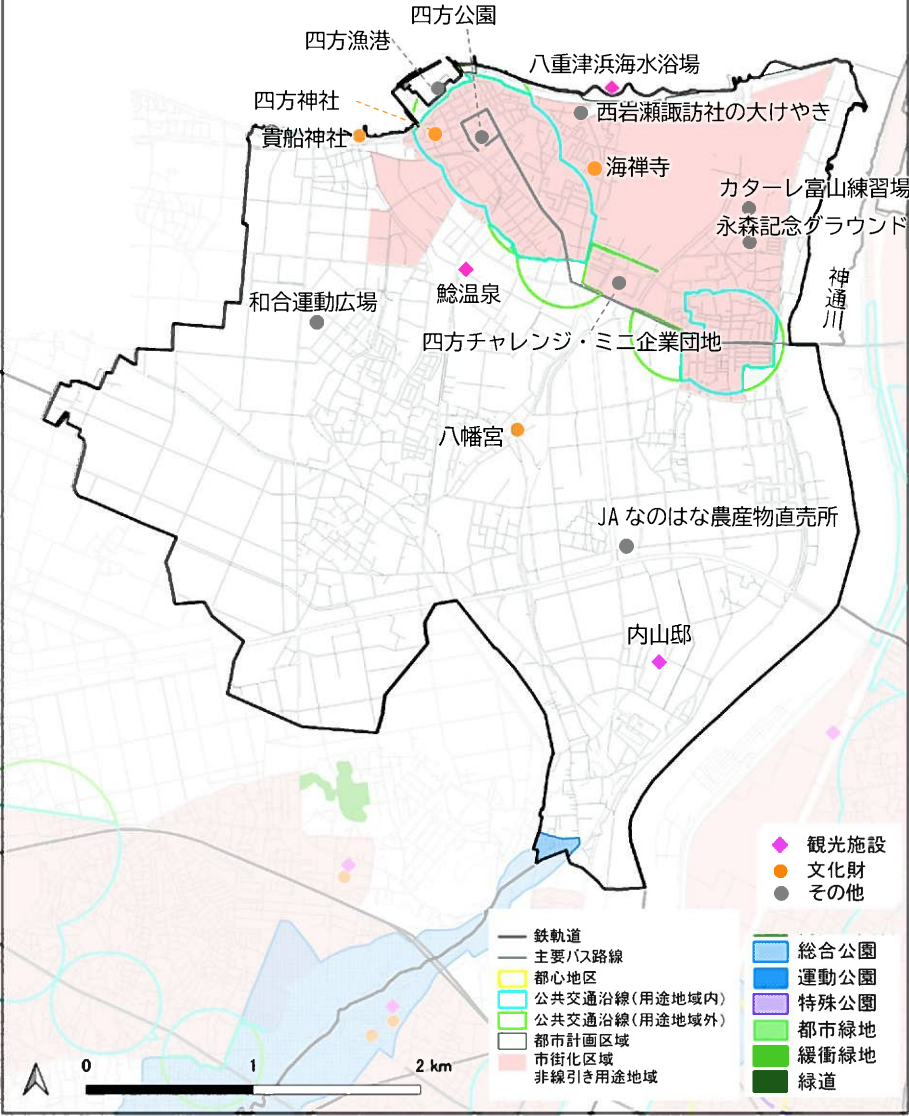
■主な活動の行先



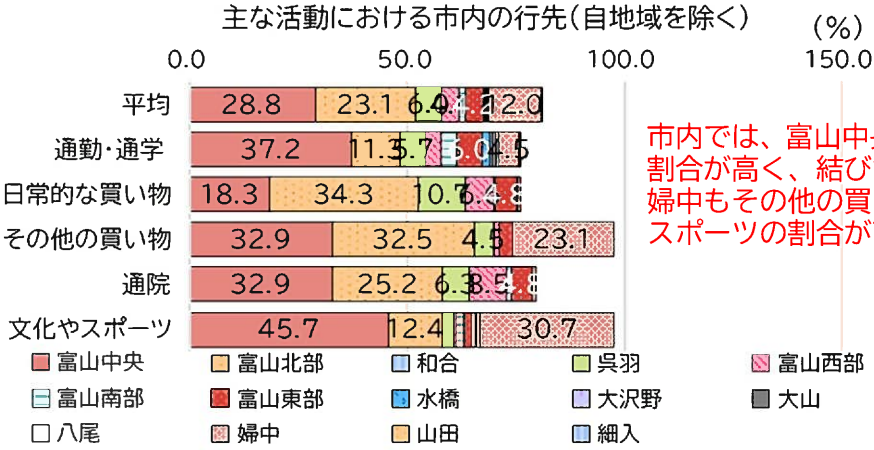
出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

■主な地域資源の分布

・海岸エリアには、海水浴やサーフィングが楽しめる海水浴場、またその周辺には寺社などの文化施設や街並みなどがある
・内陸には豪農屋敷の特色を残している文化財の内山邸や、周辺の農産物を取り扱う直売所、特色ある商店などがある



■主な活動における市内の行き先



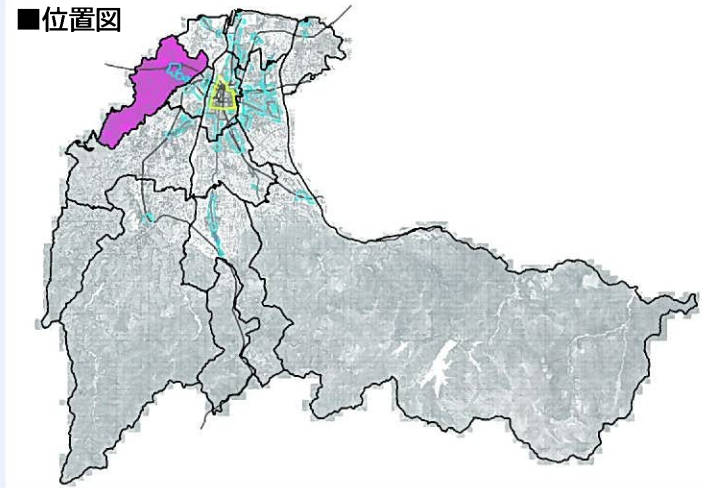
市内では、富山中央、富山北部割合が高く、結びつきが強い。婦中もその他の買い物、文化やスポーツの割合が高い。

出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

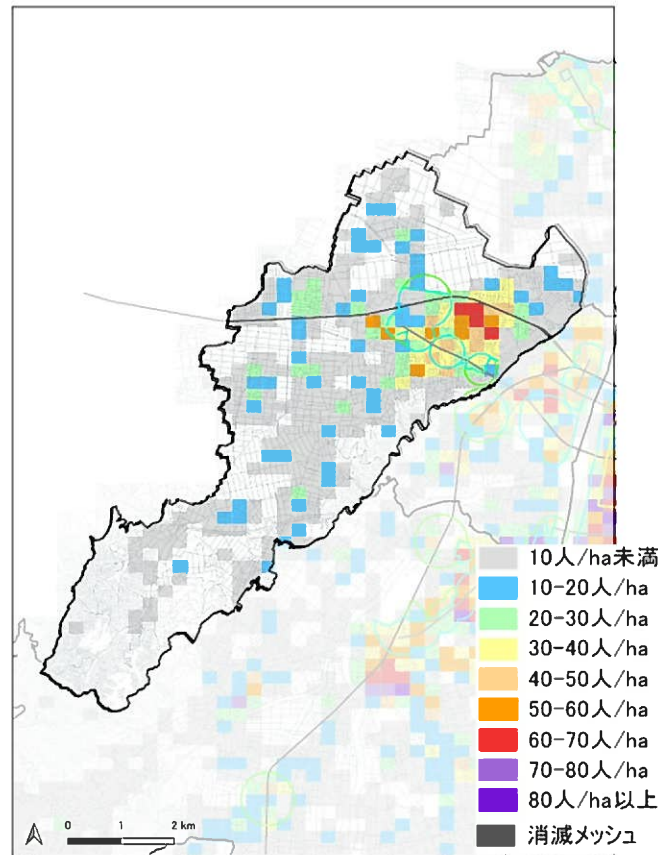
地区の概況

- ・呉羽地域は、市の西側に位置し、東側に呉羽丘陵を有する自然豊かな地域である。
- ・あいの風とやま鉄道の呉羽駅周辺では、近年大規模な住宅開発が行われ、駅北口改札が設置されるなど、居住環境整備も進められてきた。
- ・呉羽丘陵では、フットパスなどの事業など、市内外の多くの人が自然を身近に親しむレクリエーション拠点としての整備が進んでいる。

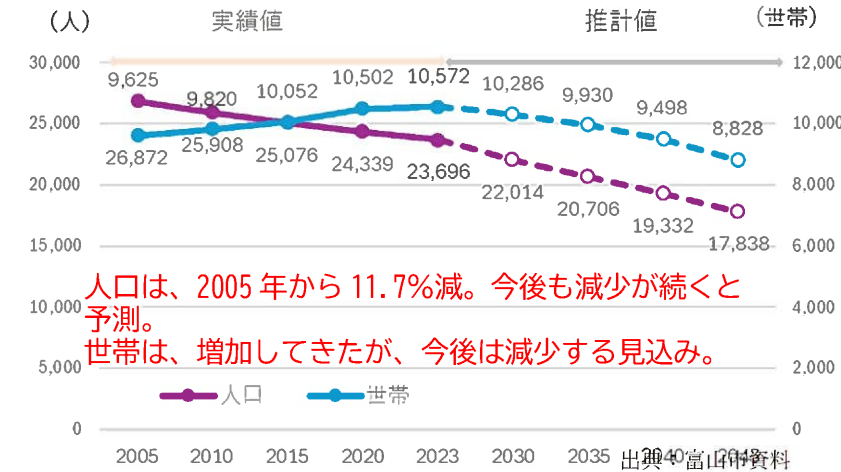
■位置図



■人口分布（2023 年）

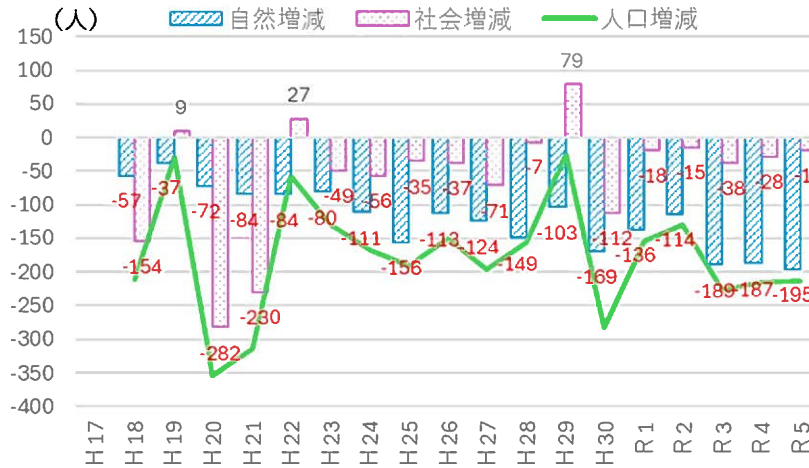


■人口・世帯の推移と見通し



人口は、2005 年から 11.7% 減。今後も減少が続くと予測。
世帯は、増加してきたが、今後は減少する見込み。

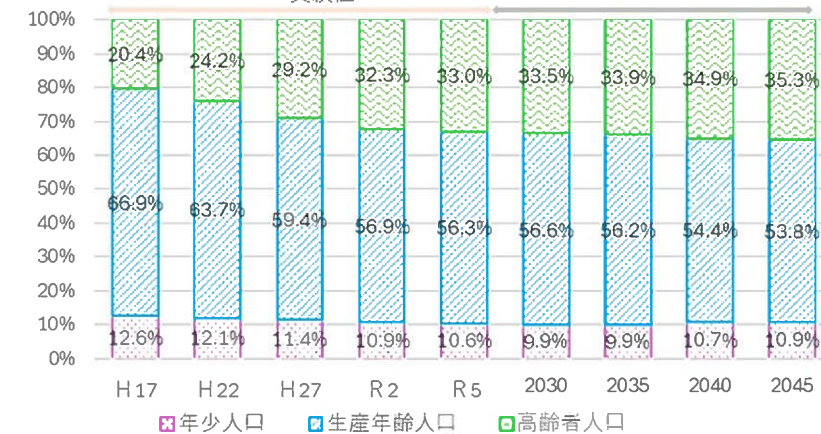
■自然増減・社会増減・人口増減



社会増減は H22 や H29 に増加となっている以外は社会減であり、人口減で推移。

出典：富山市資料

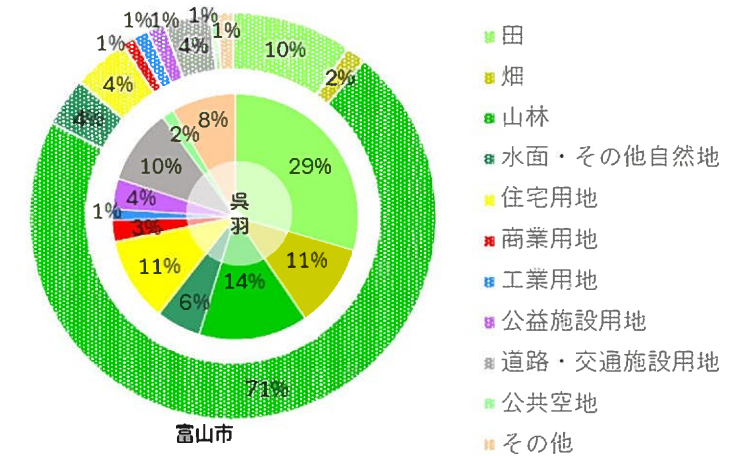
■年齢3区分割合の推移と見通し



高齢化率は、H17 から増加し現在は 33% であるが、概ね現在の水準を維持し、2045 年は 35% となる見込み。

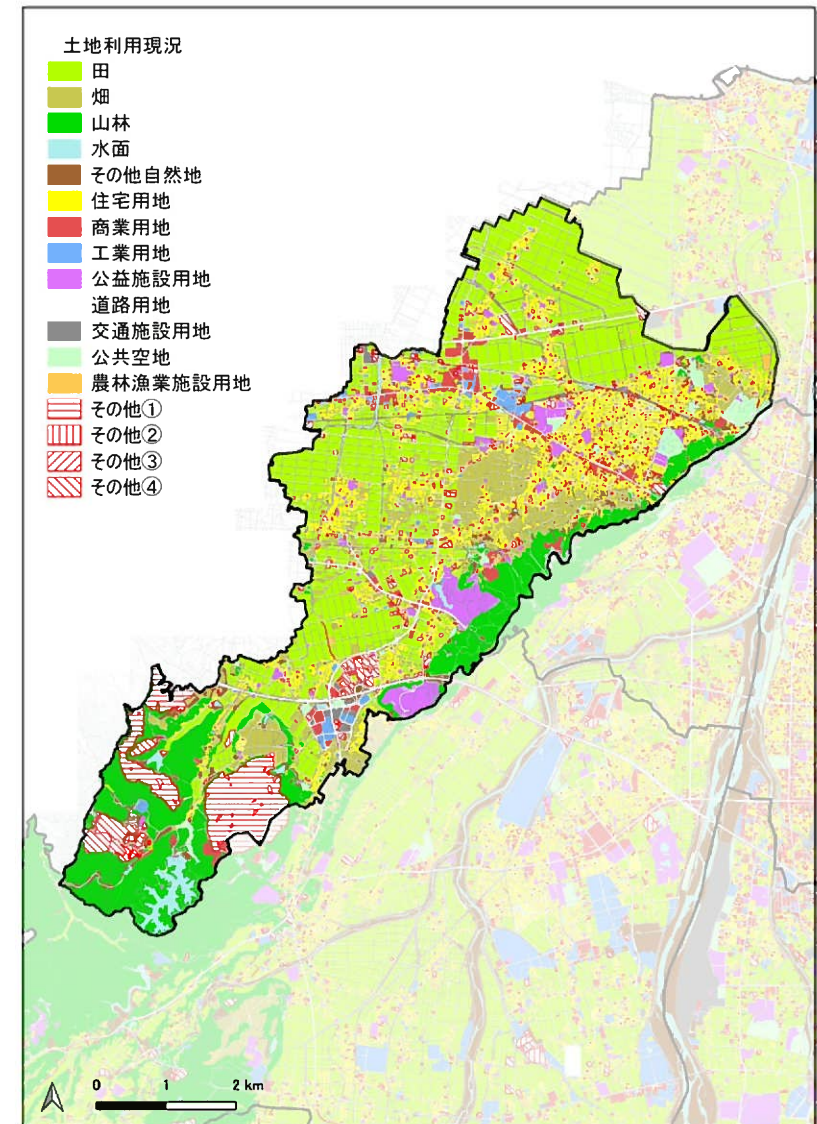
出典：富山市資料

■土地利用面積別構成比



■土地利用現況

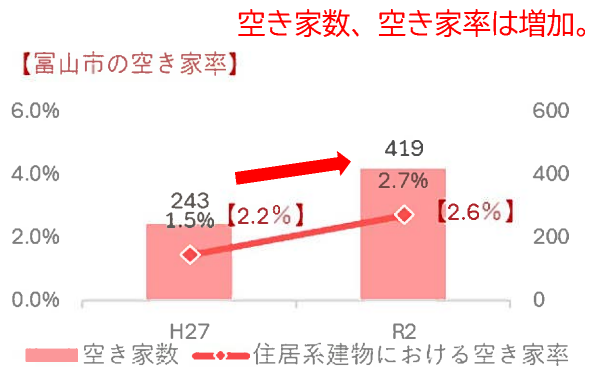
都市的土地利用は 39%。そのうち、住宅や商業などの土地利用は 19% 程度である。山林や田畑、水面などの自然的土地利用が 61% であり、そのうち、田畑は 40% である。



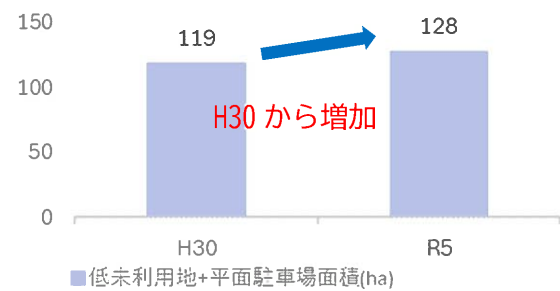
その他①: ゴルフ場
その他②: 太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③: 平面駐車場等
その他④: 上記以外

出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

■空き家数及び
住居系建物における空き家率

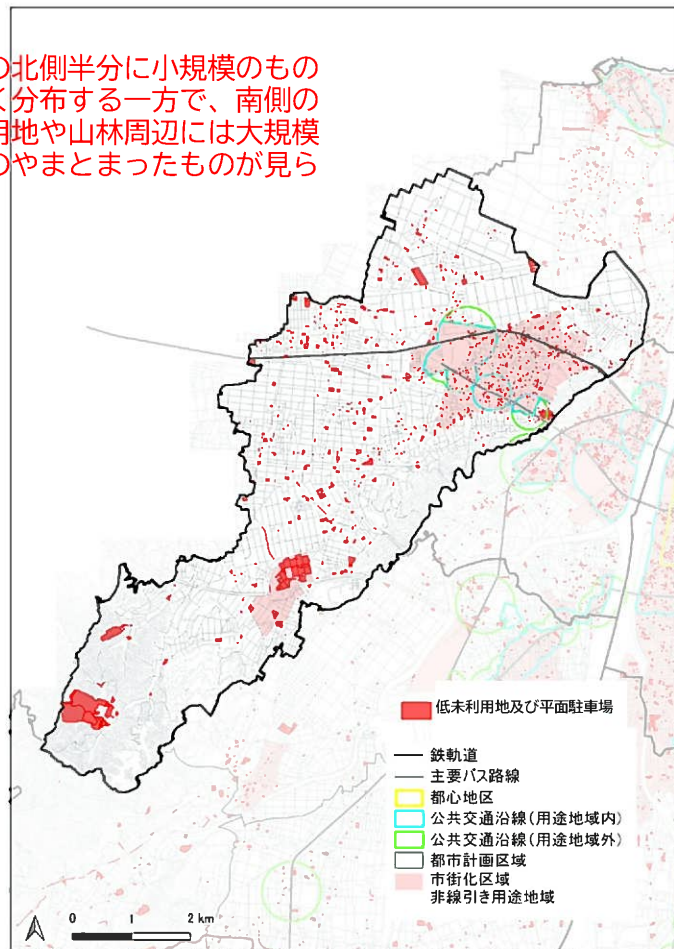


■低未利用地及び平面駐車場の推移



■低未利用地及び平面駐車場の分布

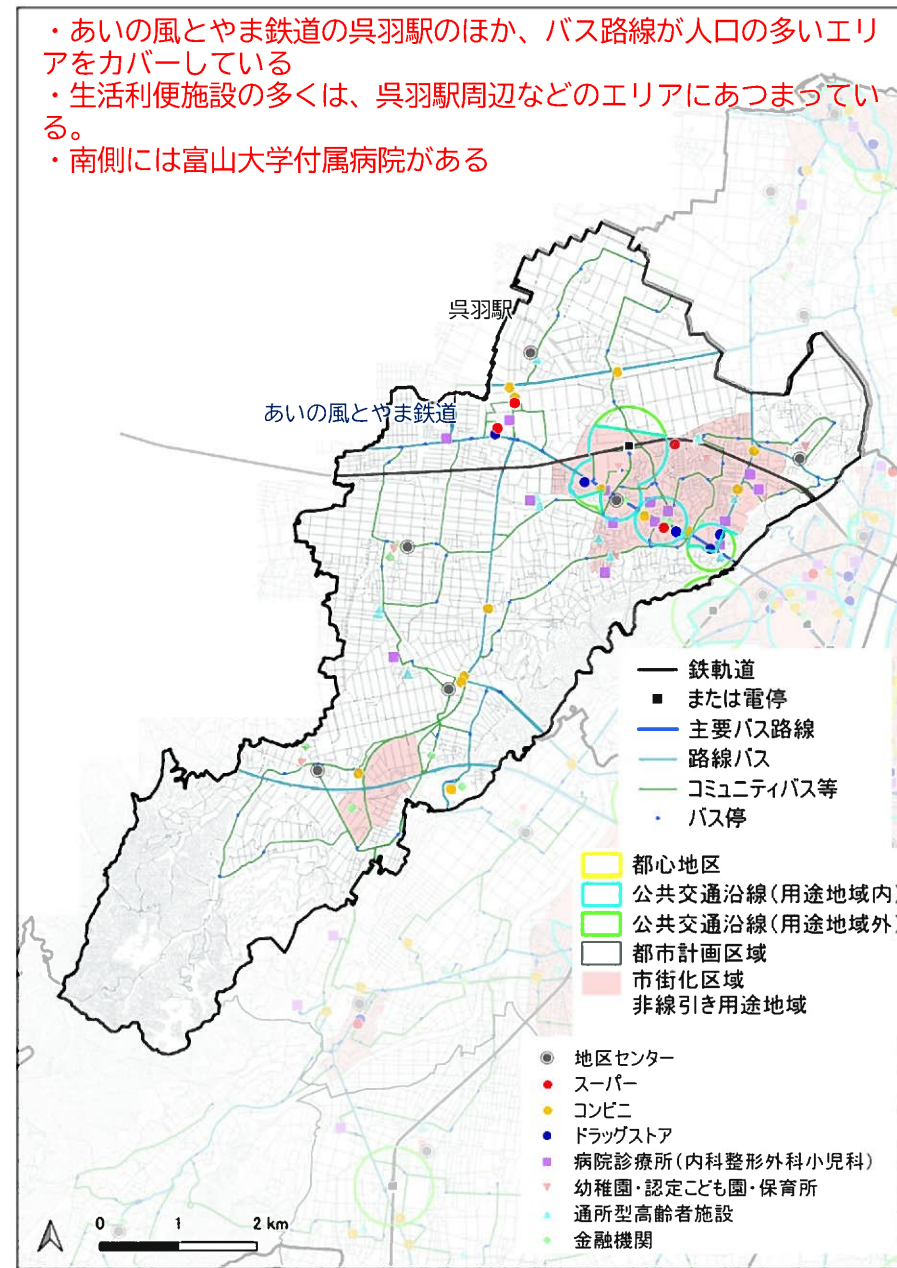
地域の北側半分に小規模のものが多く分布する一方で、南側の工業用地や山林周辺には大規模なものやまとまったものが見られる。



出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

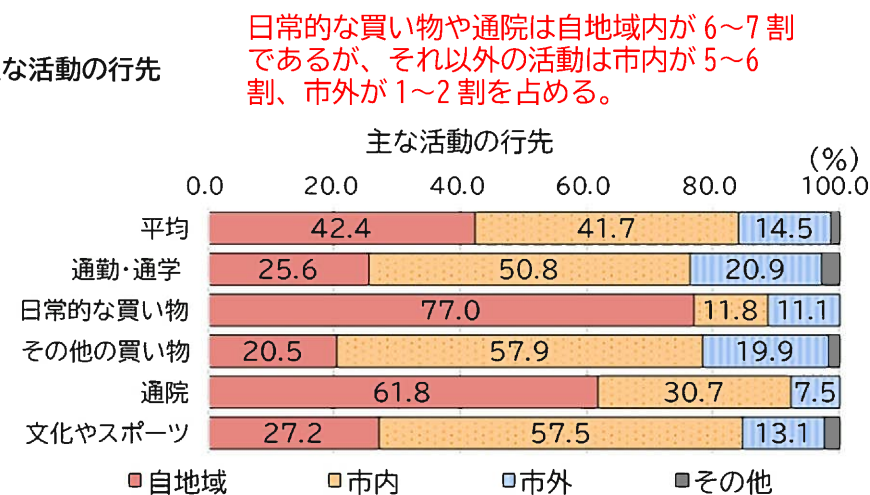
■公共交通網と生活利便施設の分布

- ・あいの風とやま鉄道の呉羽駅のほか、バス路線が人口の多いエリアをカバーしている
- ・生活利便施設の多くは、呉羽駅周辺などのエリアにあつまっている。
- ・南側には富山大学付属病院がある



出典：富山市資料

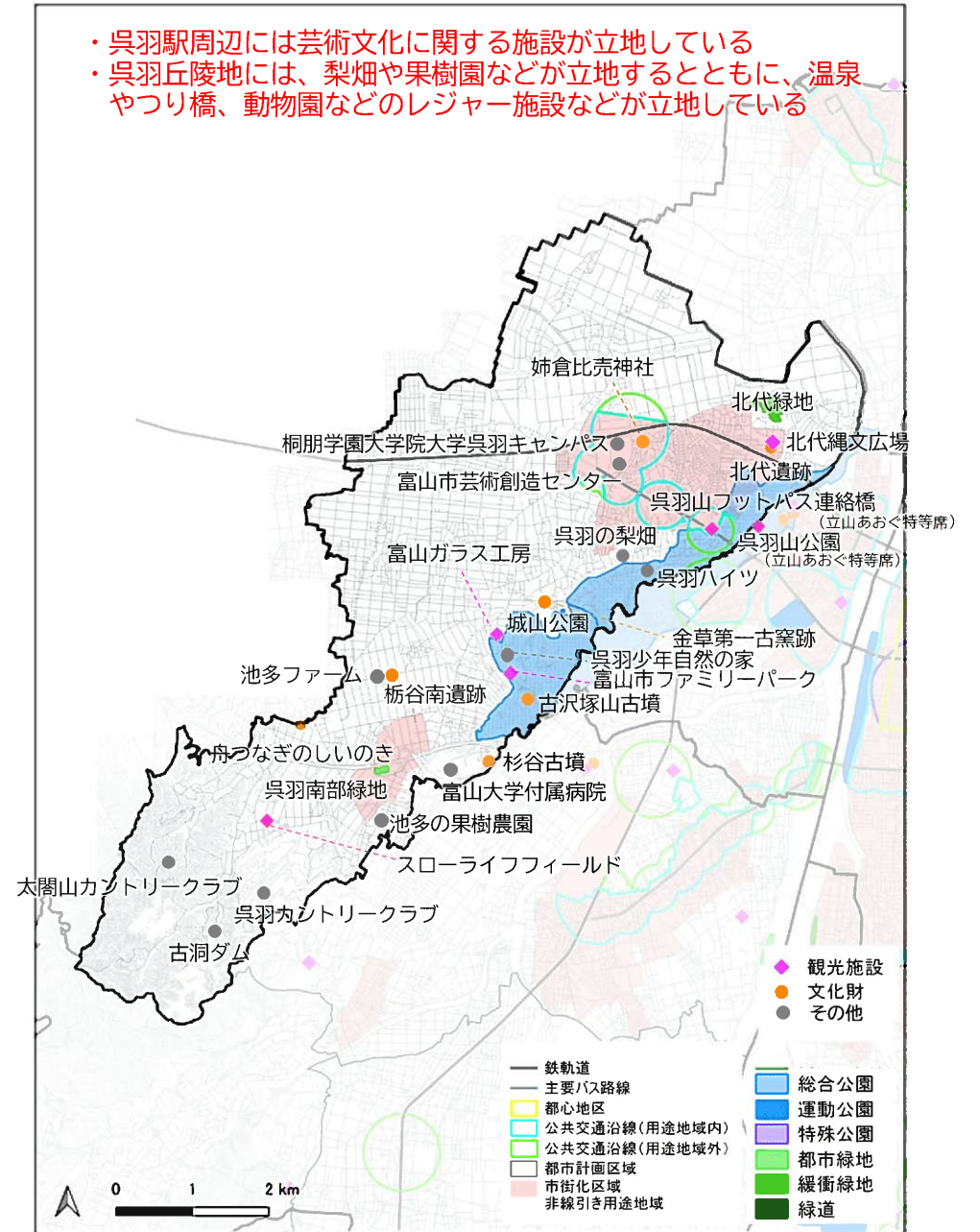
■主な活動の行先



出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

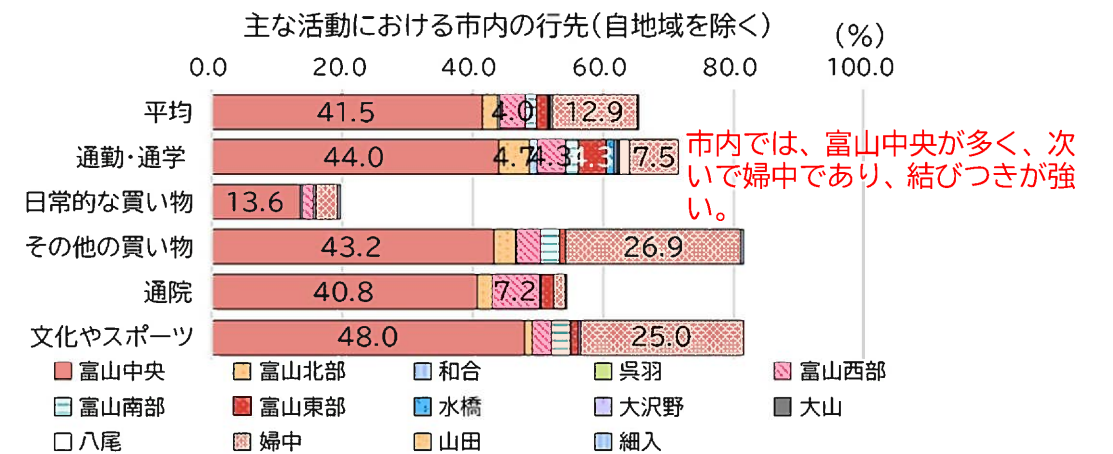
■主な地域資源の分布

- ・呉羽駅周辺には芸術文化に関する施設が立地している
- ・呉羽丘陵地には、梨畑や果樹園などが立地するとともに、温泉やつり橋、動物園などのレジャー施設などが立地している



出典：富山市資料

■主な活動における市内の行き先

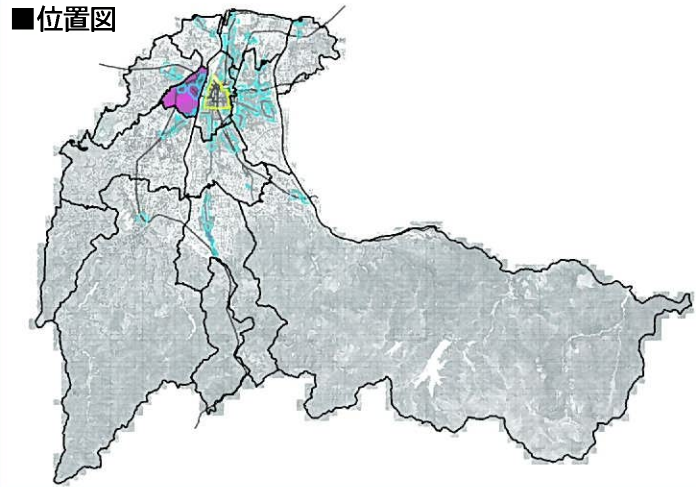


出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

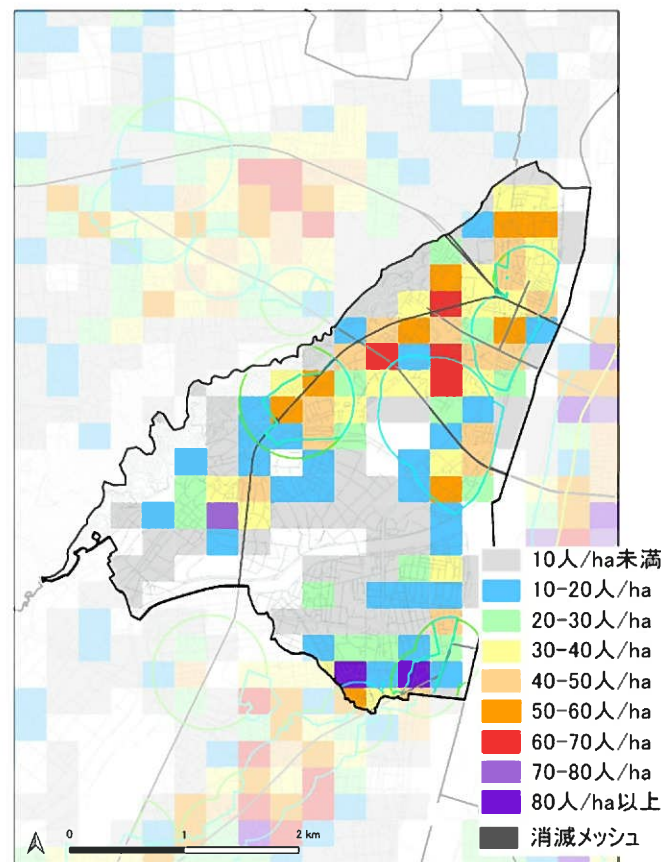
地区の概況

- ・富山西部地域は、神通川を挟んで市の中心である富山中央地域に隣接し、道路だけでなく市内電車のＪＲ高山本線の駅・電停や、バス路線の公共交通でも富山駅へのアクセスがある利便性の高いエリアである。
- ・富山大学のほか、水墨美術館が立地しているほか、呉羽丘陵における緑地環境や自然景観、民族芸術村や文化財等の施設があり、学術文化や交流機能が充実している。

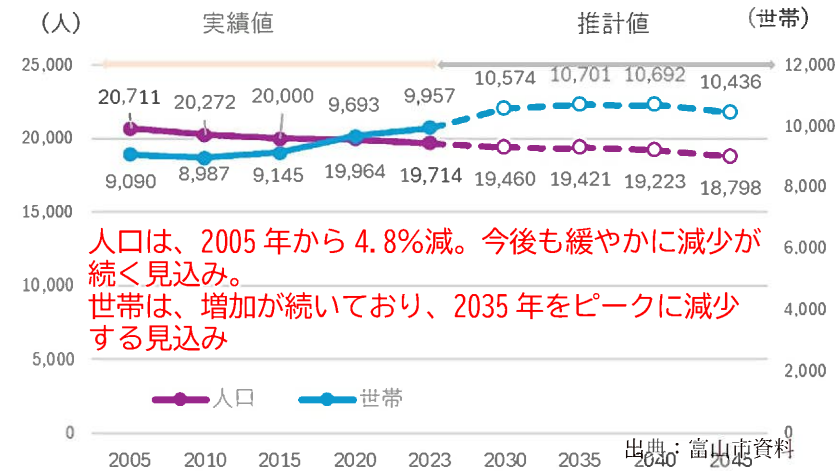
■位置図



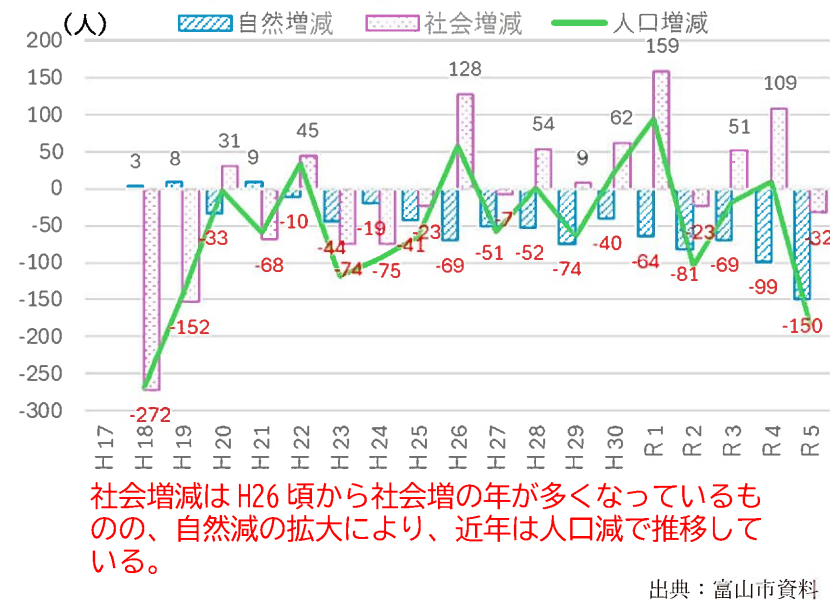
■人口分布（2023 年）



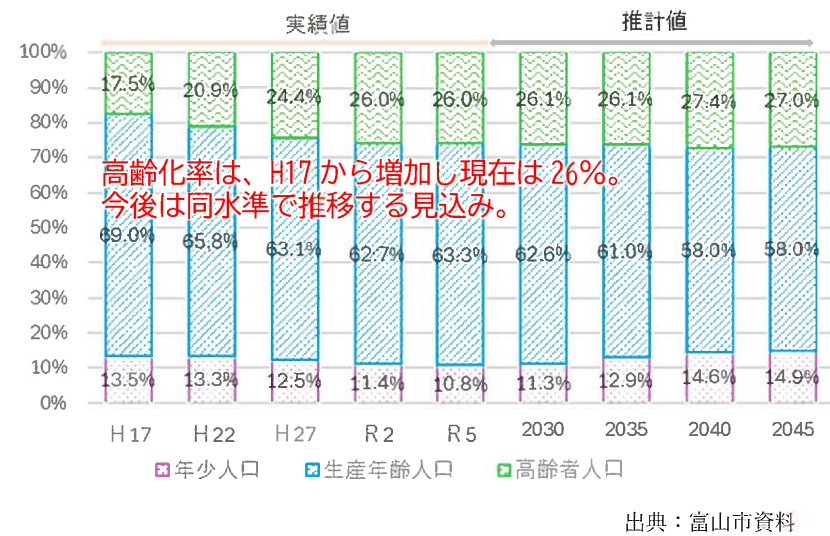
■人口・世帯の推移と見通し



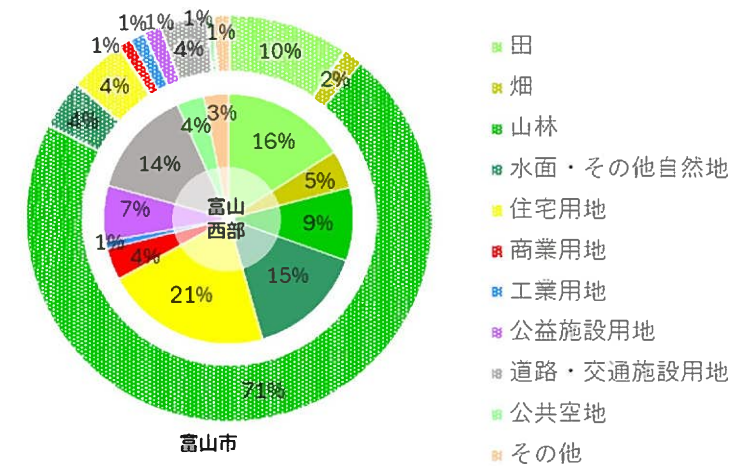
■自然増減・社会増減・人口増減



■年齢3区分割合の推移と見通し

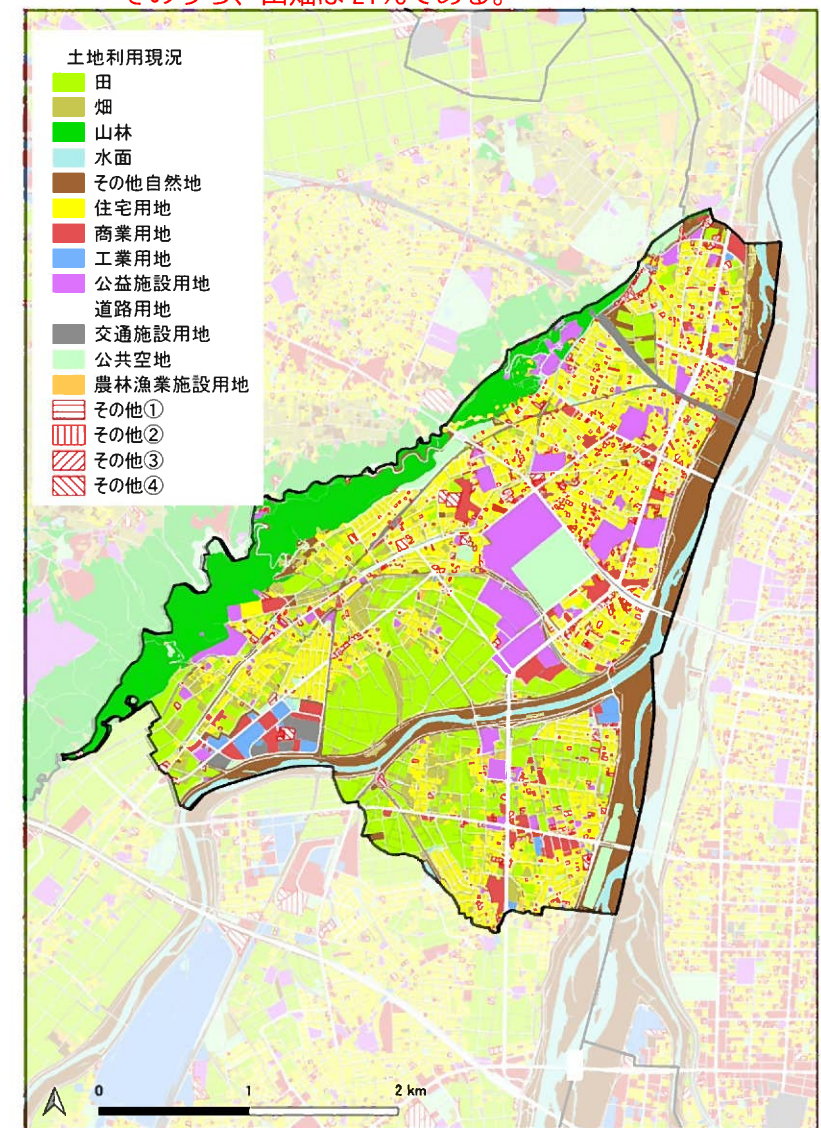


■土地利用面積別構成比



■土地利用現況

都市的土地利用は54%。そのうち、住宅や商業などの土地利用は33%程度である。山林や田畑、水面などの自然的土地利用が46%であり、そのうち、田畑は21%である。

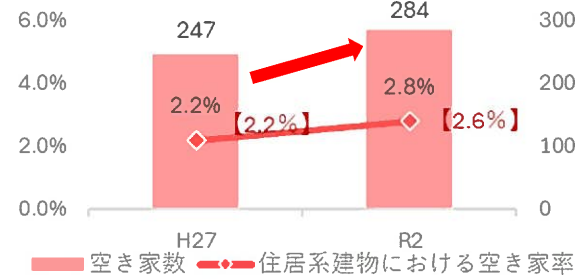


其他①: ゴルフ場 其他②: 太陽光発電システムを直接整備している土地
其他③: 平面駐車場等 其他④: 上記以外

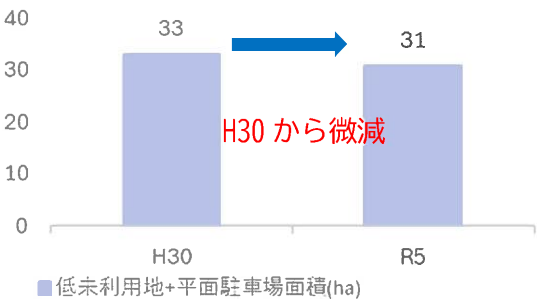
出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

■空き家数及び住居系建物における空き家率

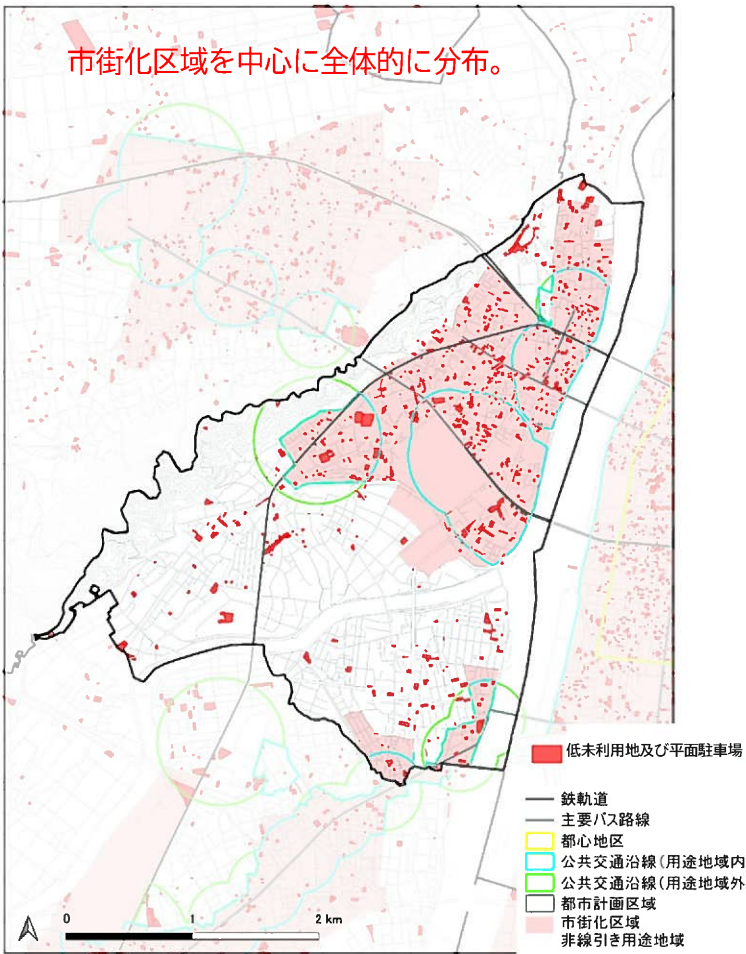
【富山市の空き家率】 空き家数、空き家率は増加。



■低未利用地及び平面駐車場の推移

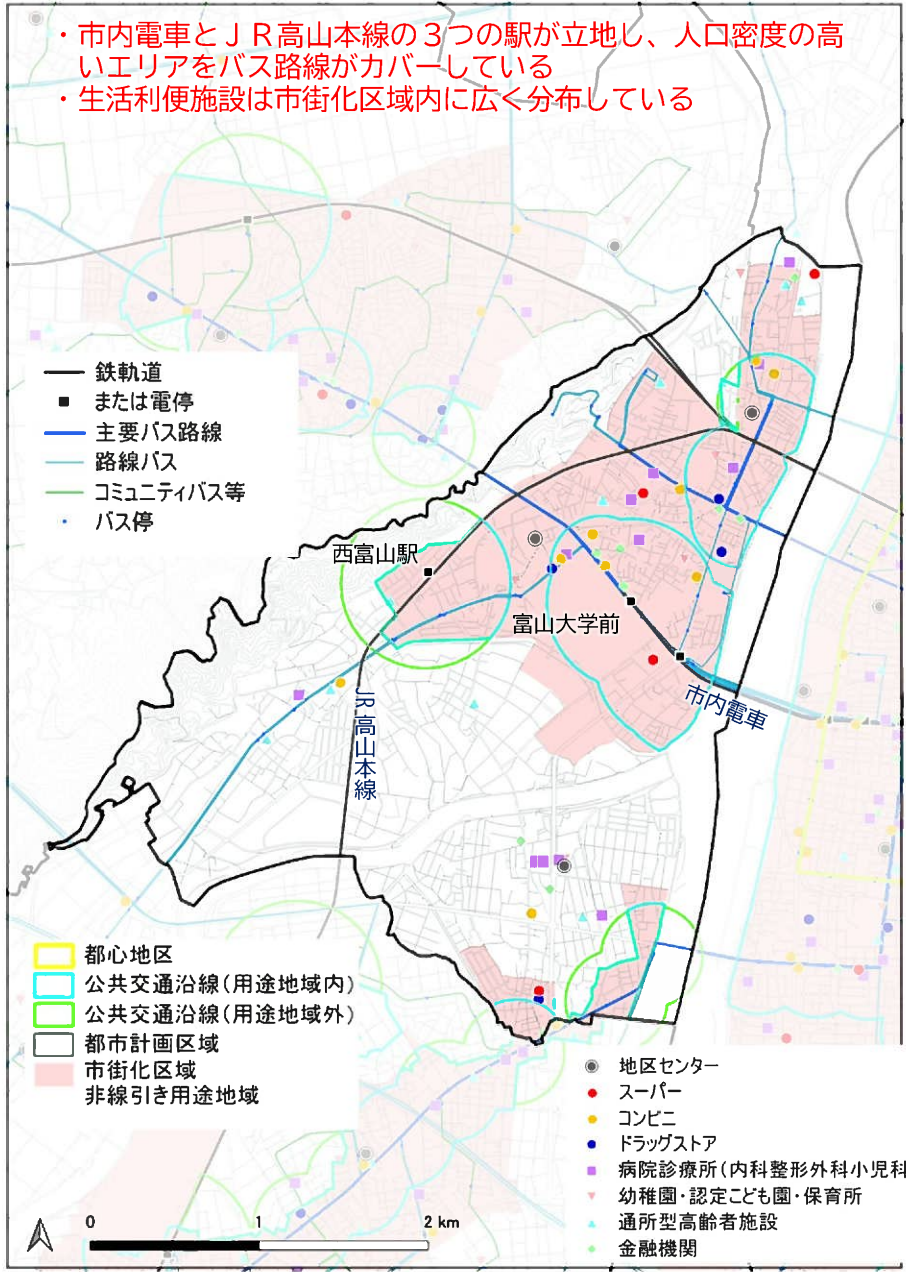


■低未利用地及び平面駐車場の分布



出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

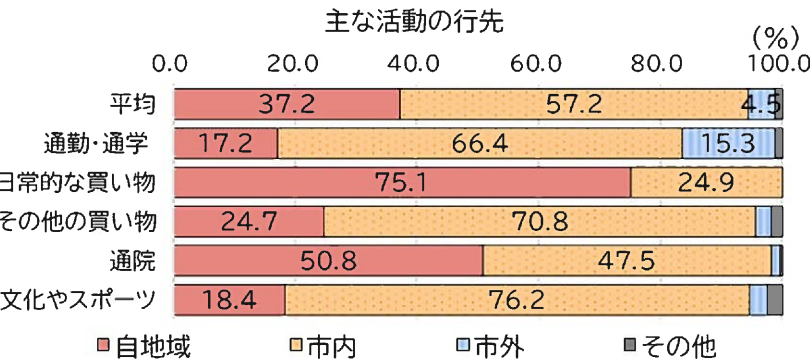
■公共交通網と生活利便施設の分布



出典：富山市資料

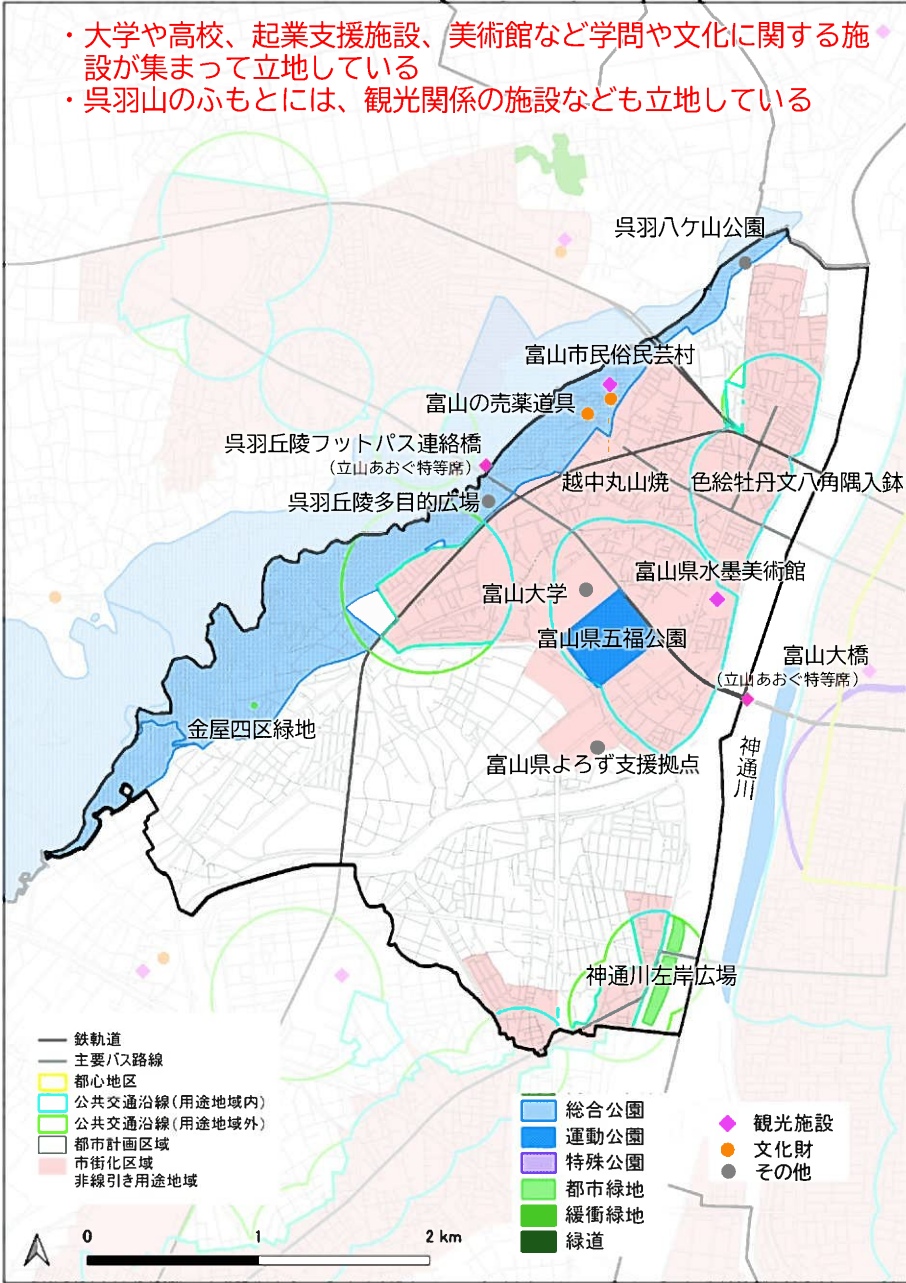
■主な活動の行先

日常的な買い物や通院では約８割、通院が５割が地域内に行っているが、通勤・通学やその他の買い物は約２割程度。



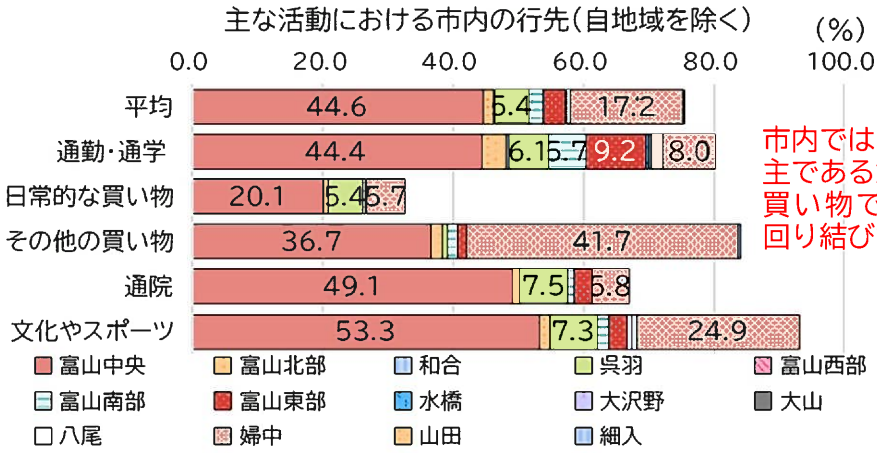
出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

■主な地域資源の分布



出典：富山市資料

■主な活動における市内の行き先

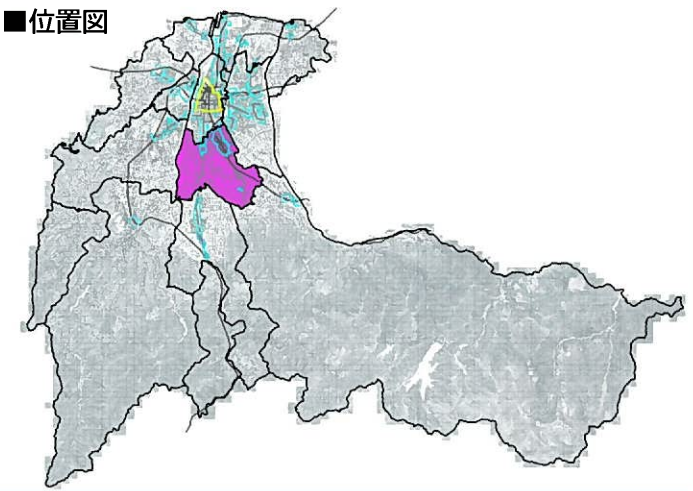


出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

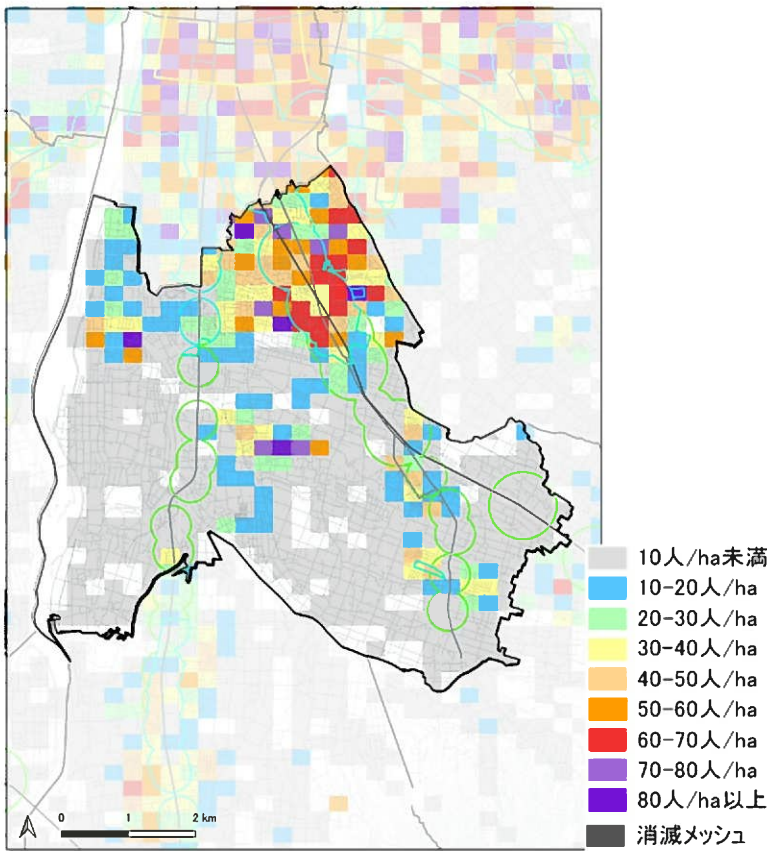
地区の概況

- ・富山南部地域は、富山中央地域の南側、市の中央付近に位置し、北陸自動車道の富山 IC、富山空港などの広域交通網の拠点が位置する地域である。
- ・公共交通は、不二越上滝線の駅が複数立地するほか、南北に走る国道 41 号には運行頻度の高いバス路線も通っており、富山駅へのアクセスがある利便性の高いエリアである。
- ・北側は住宅地が広がるが、南側は、農用地域も広く、農地も多く残っている。

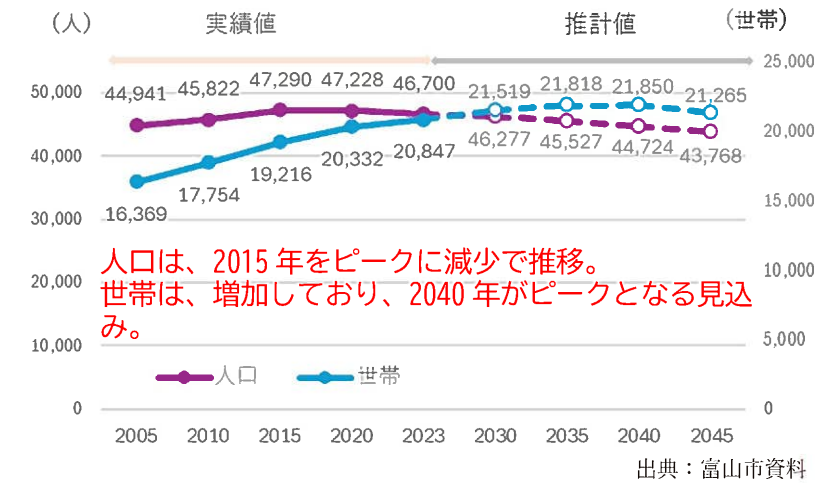
■位置図



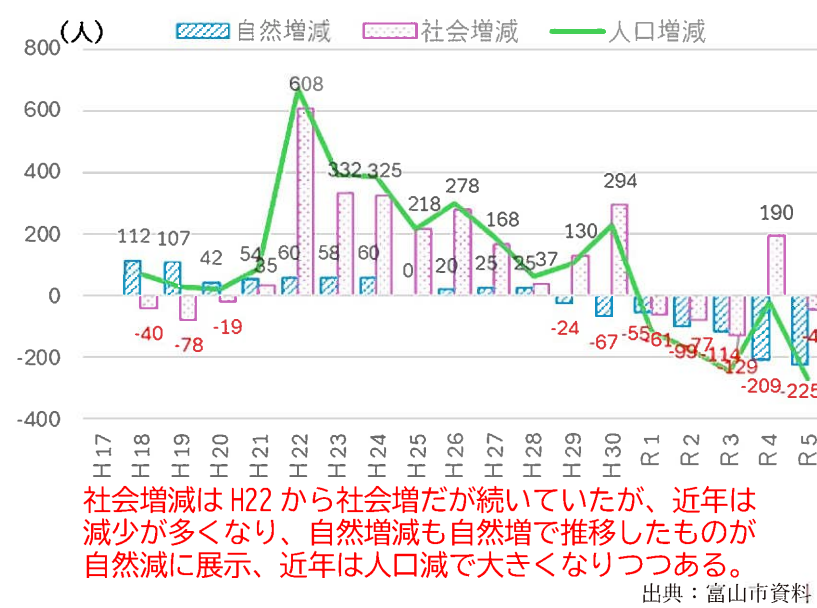
■人口分布（2023 年）



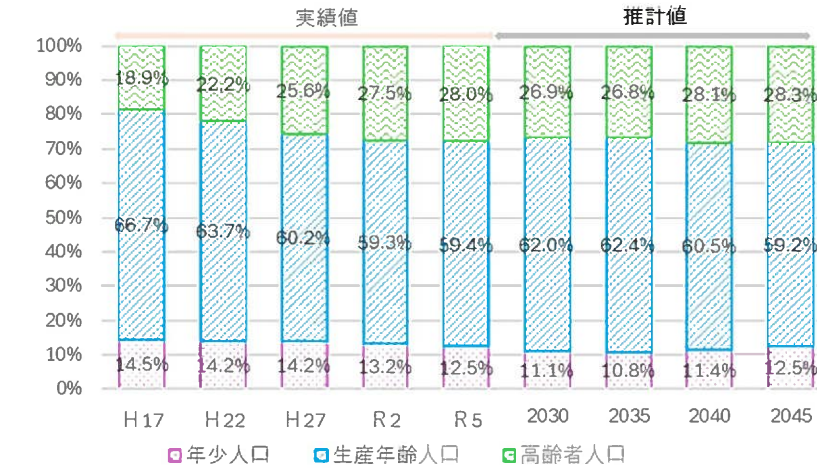
■人口・世帯の推移と見通し



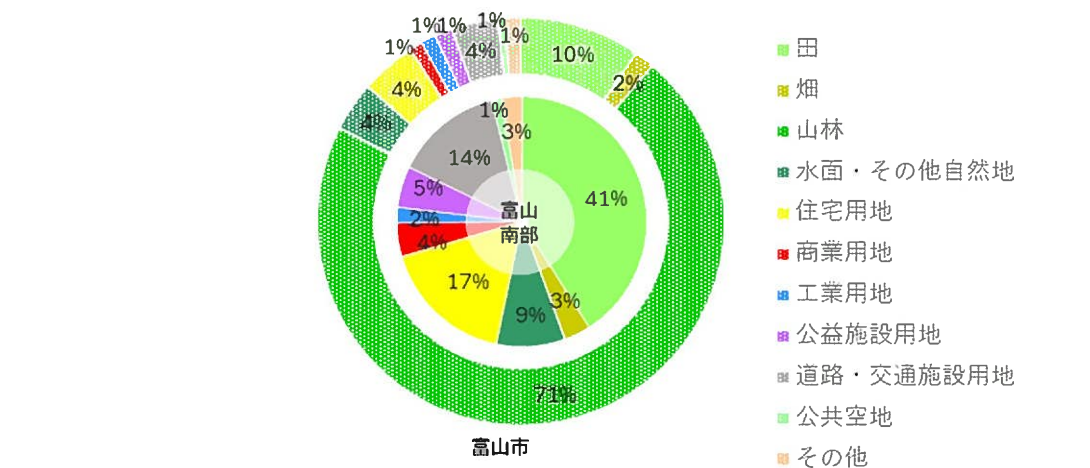
■自然増減・社会増減・人口増減



■年齢3区分割合の推移と見通し

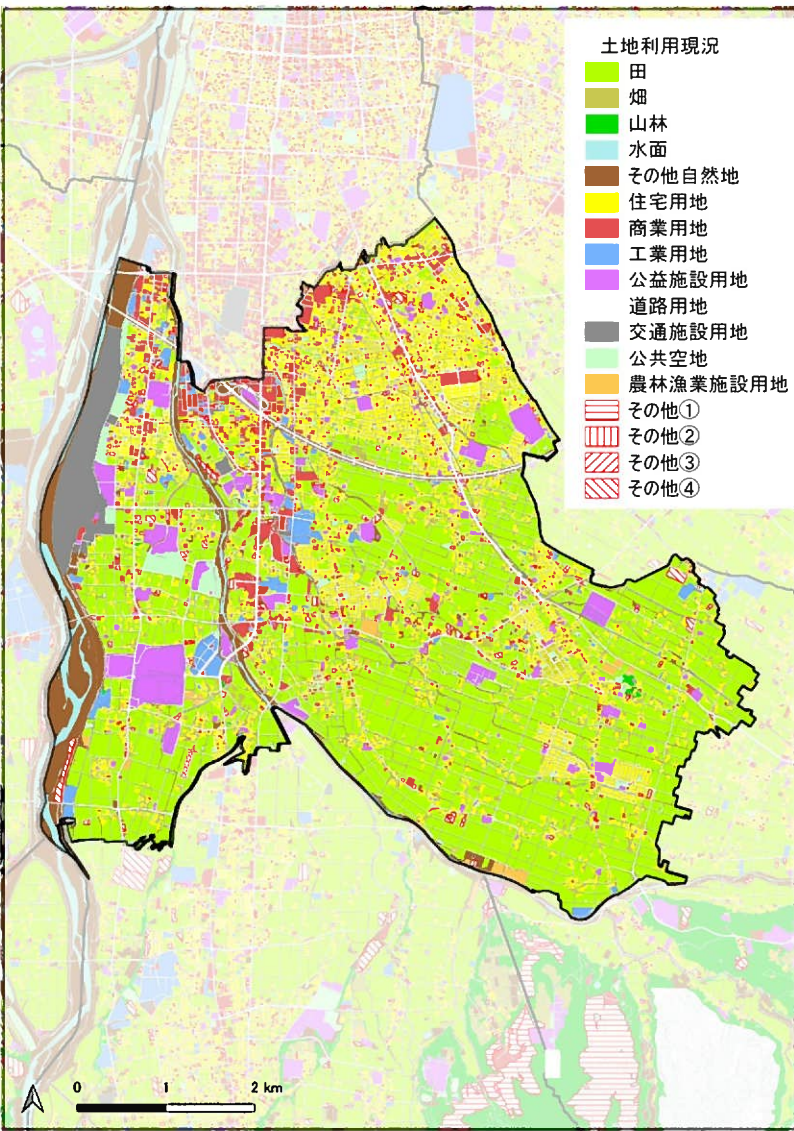


■土地利用面積別構成比



■土地利用現況

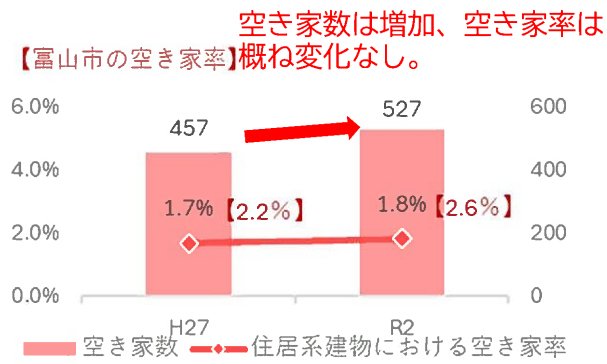
都市的土地利用は47%。そのうち、住宅や商業などの土地利用は29%程度である。山林や田畑、水面などの自然的土地利用が53%であり、そのうち、田畑は44%である。



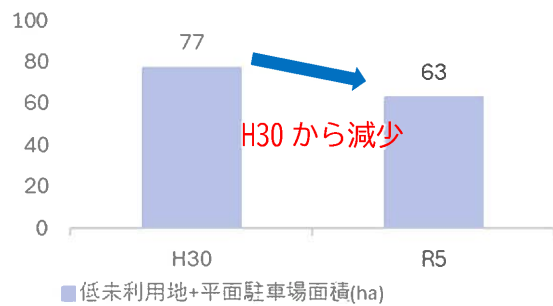
その他①：ゴルフ場
その他②：太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③平面駐車場等
その他④上記以外

出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

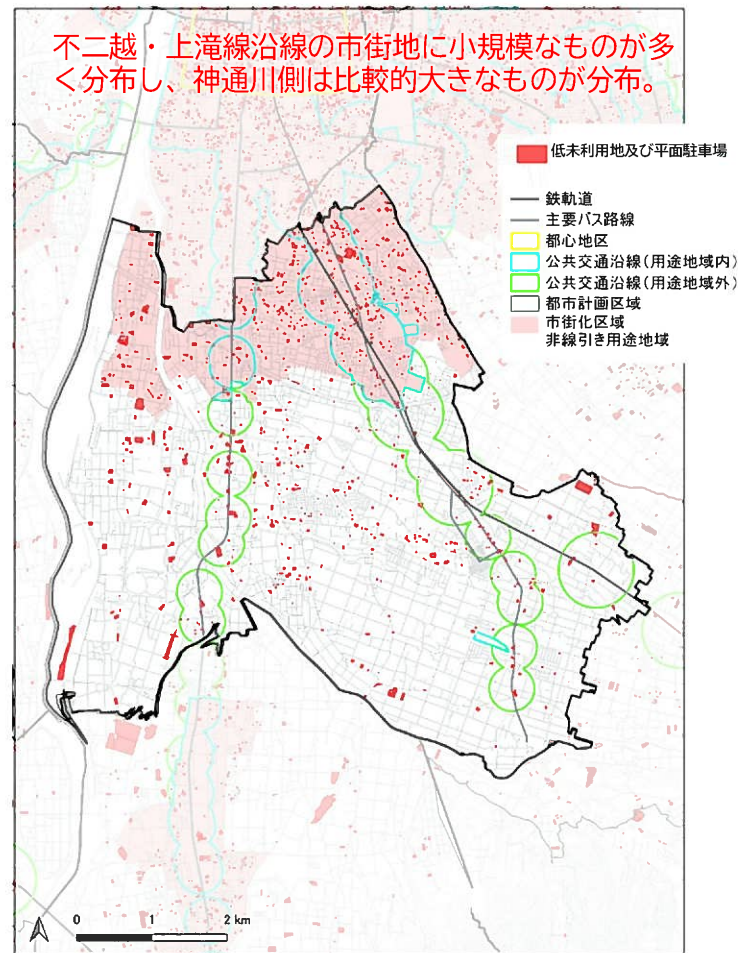
■空き家数及び
住居系建物における空き家率



■低未利用地及び平面駐車場の推移

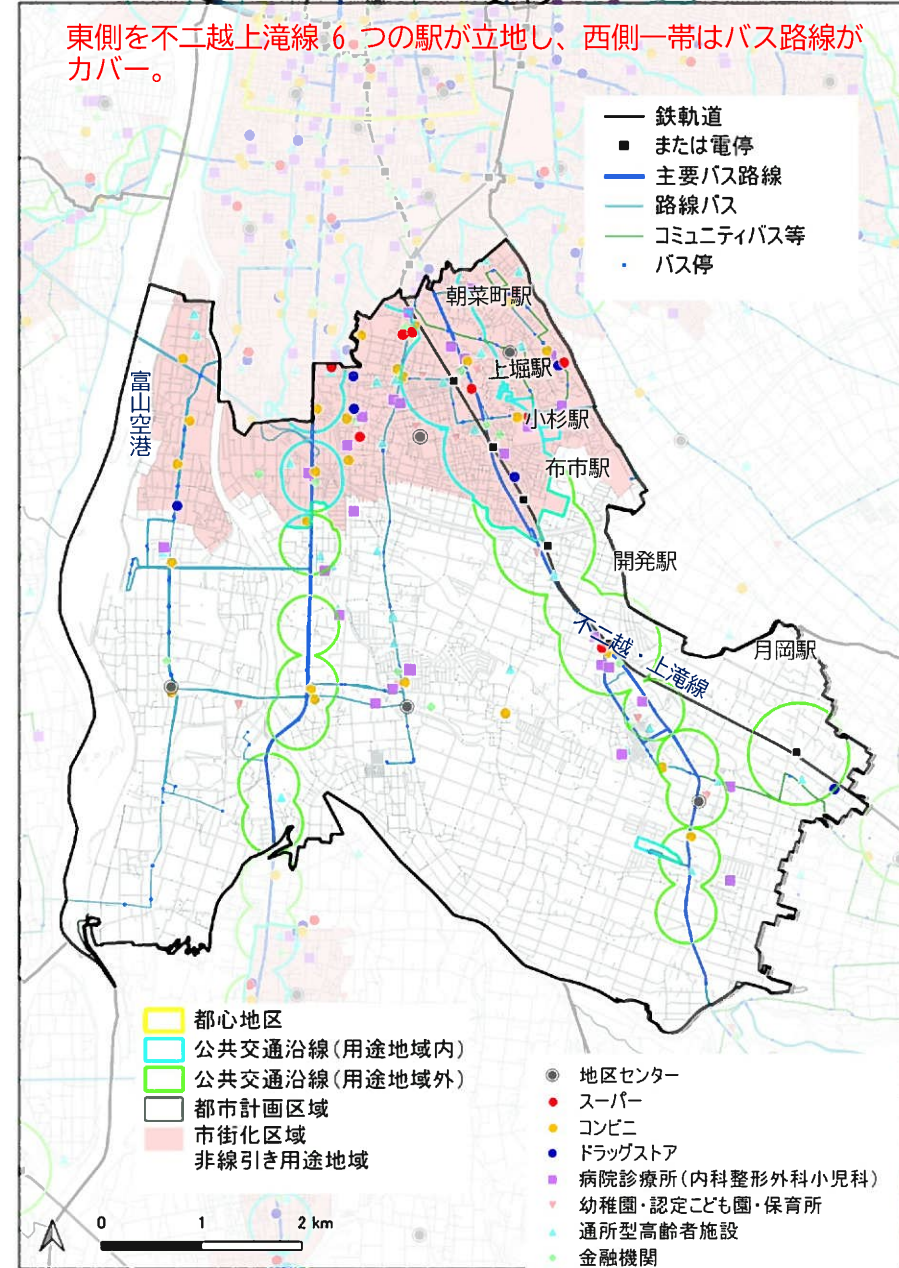


■低未利用地及び平面駐車場の分布



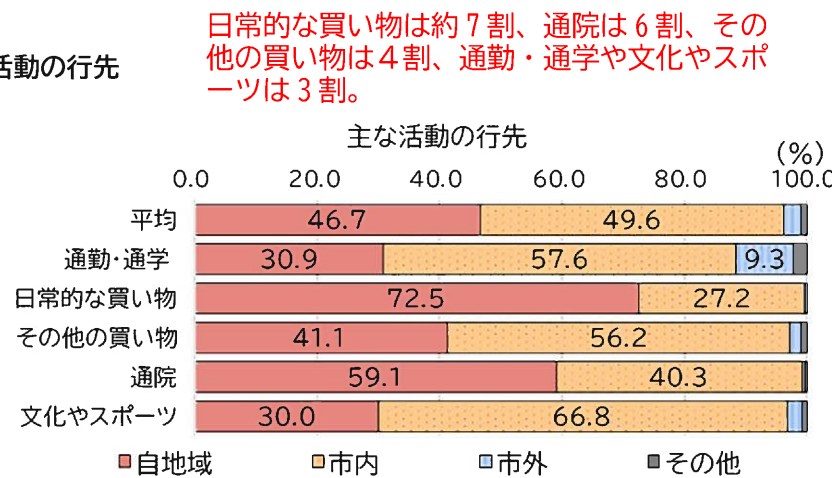
出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

■公共交通網と生活便利施設の分布



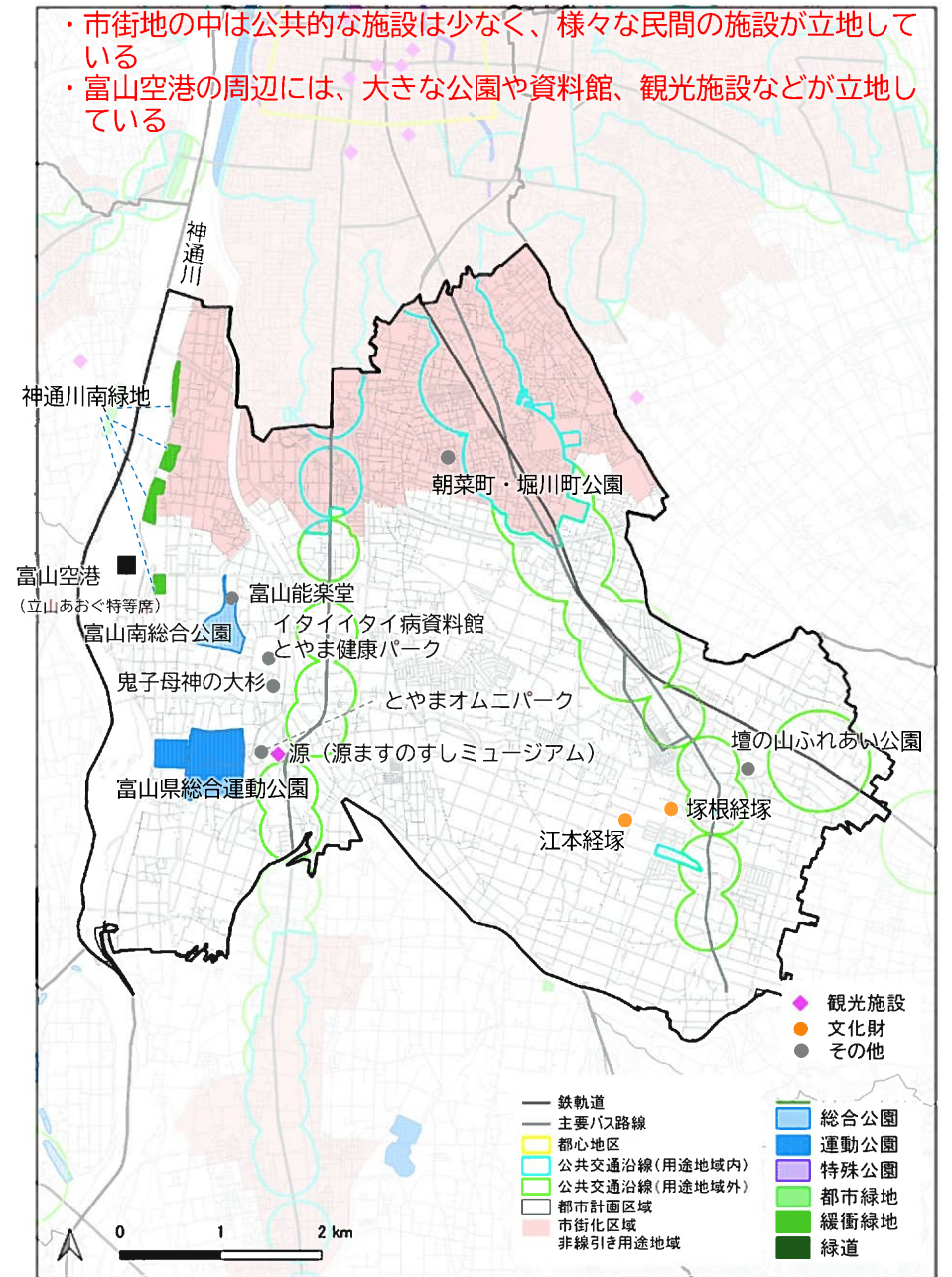
出典：富山市資料

■主な活動の行先



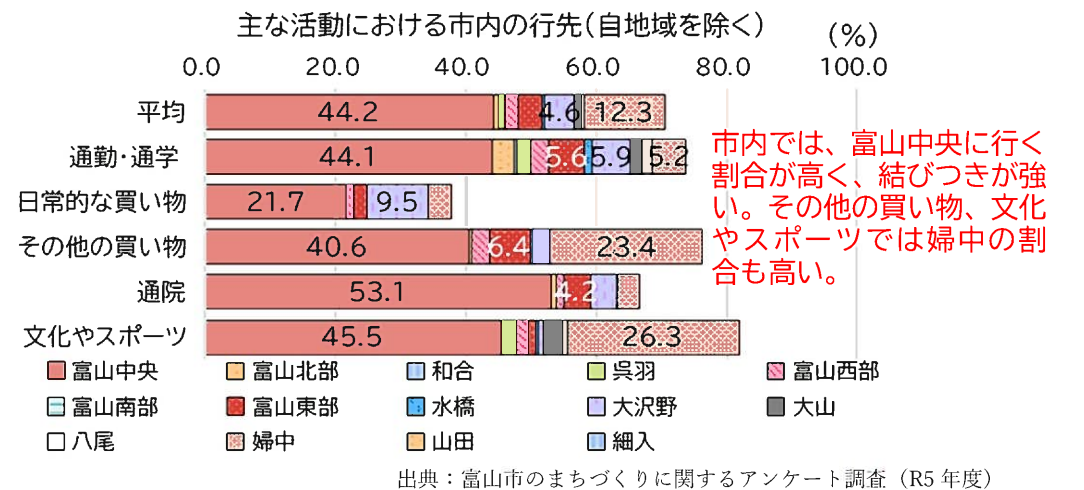
出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5 年度）

■主な地域資源の分布



出典：富山市資料

■主な活動における市内の行き先

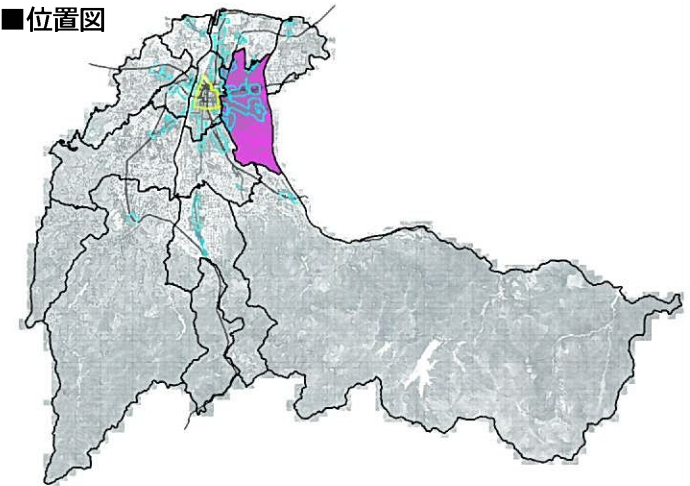


出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5 年度）

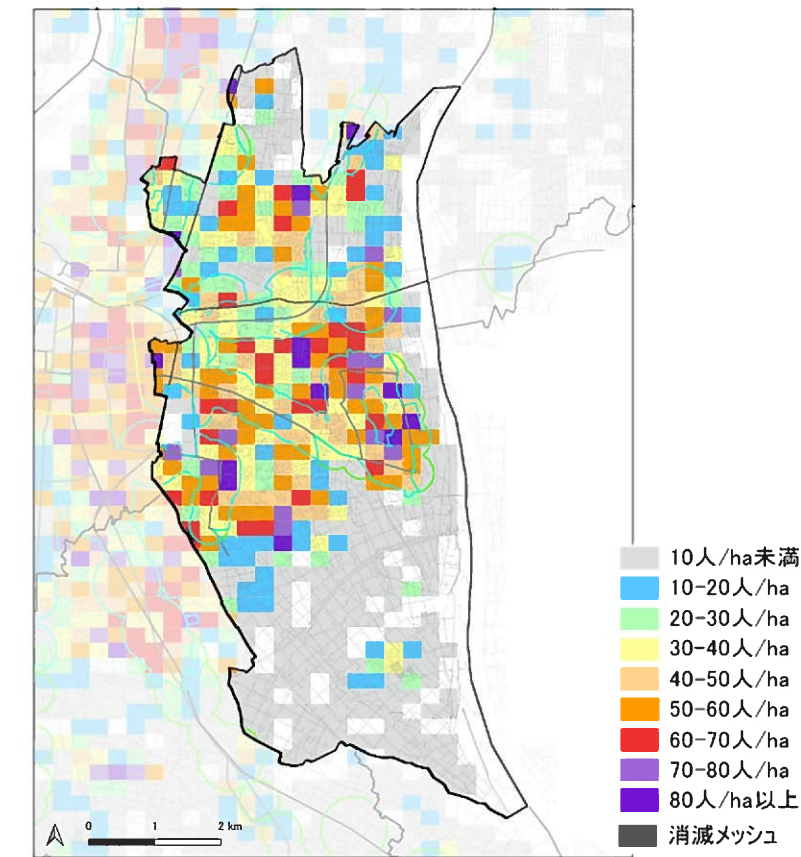
地区の概況

- ・富山東部地域は、市の東側に位置し、西は富山中央地域に隣接し、東は常願寺川に面している。
- ・不二越上滝線と立山線の2路線の鉄道が通り、藤ノ木方面など運行頻度の高いバス路線が走るほか、高速道路のスマートICや道路整備も進んでおり、交通ネットワークのよいエリアである。
- ・土地区画整理事業も数多く進められ基盤整備が進んでいることもあり、住宅需要も高く、近年においても社会増であり、若い世代の転入も多い。
- ・大規模な公園等の地域資源は少ないものの、豊富な公園や生活利便施設があり、良好な住環境が整っている。

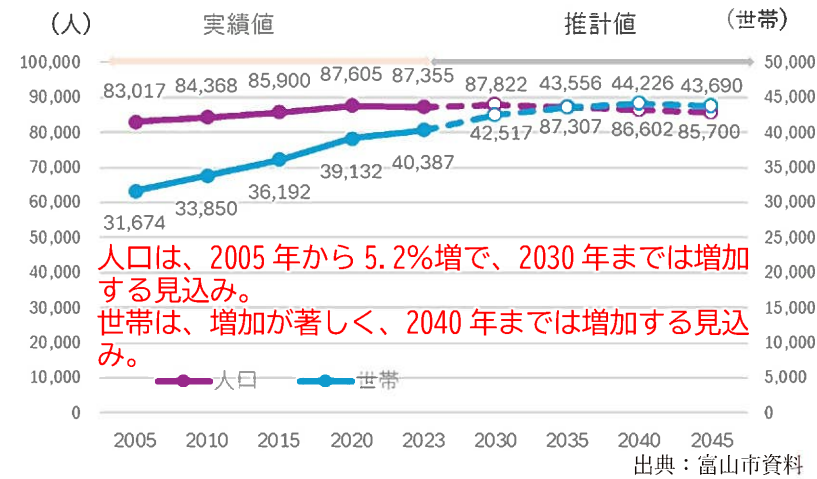
■位置図



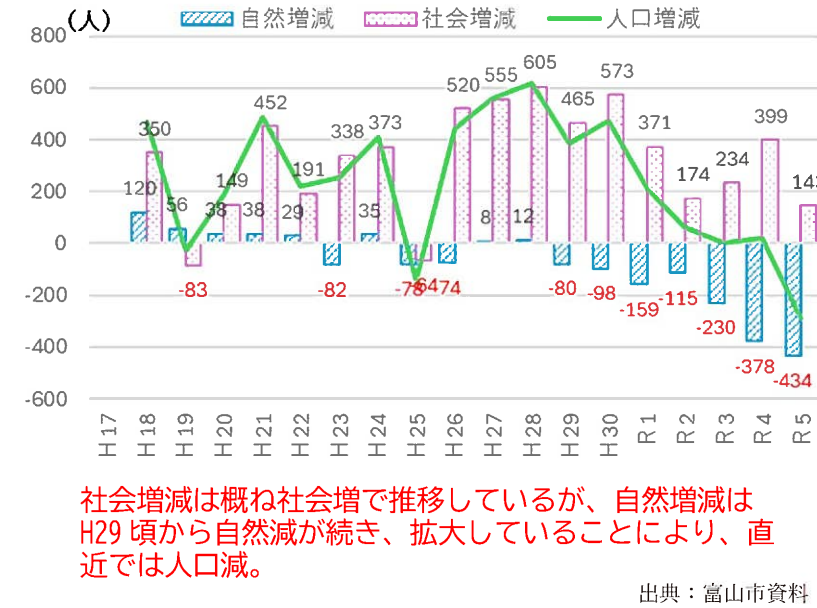
■人口分布（2023年）



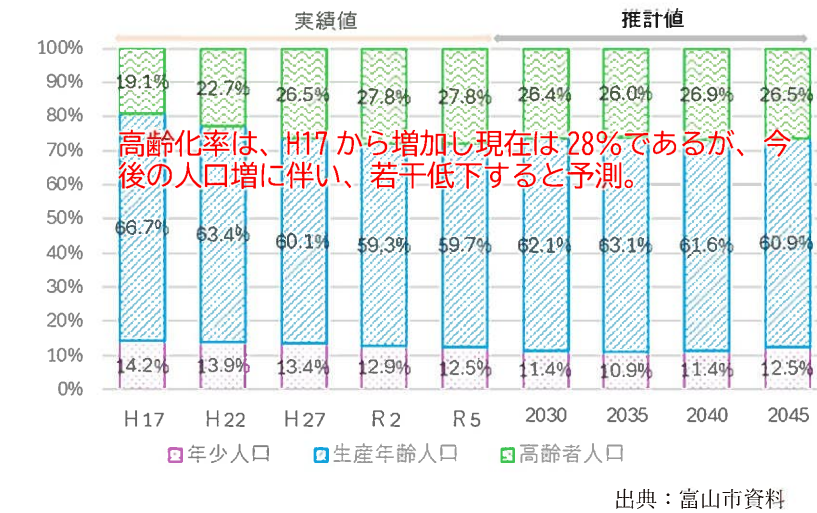
■人口・世帯の推移と見通し



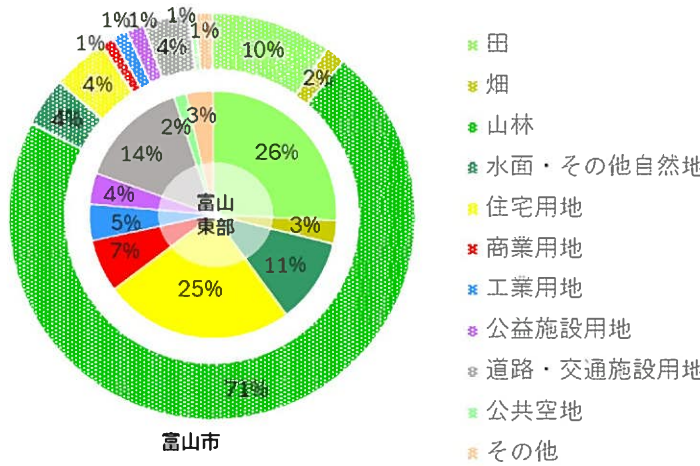
■自然増減・社会増減・人口増減



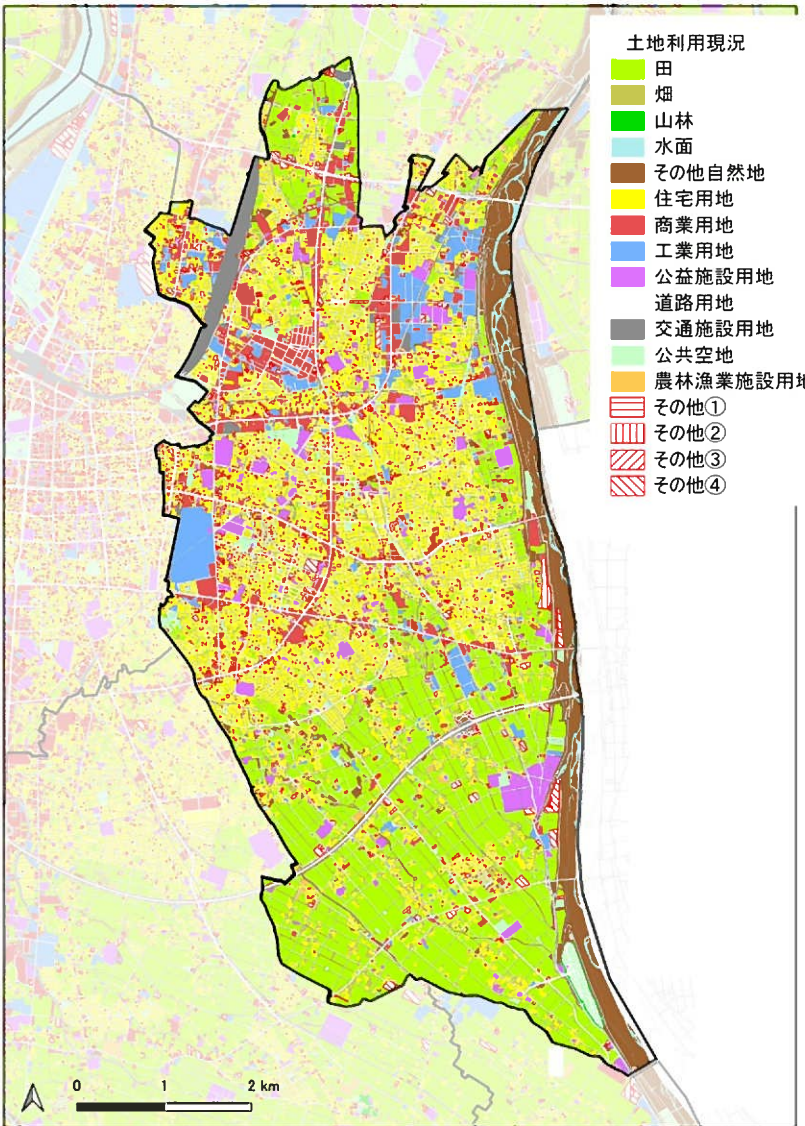
■年齢3区分割合の推移と見通し



■土地利用面積別構成比



■土地利用現況

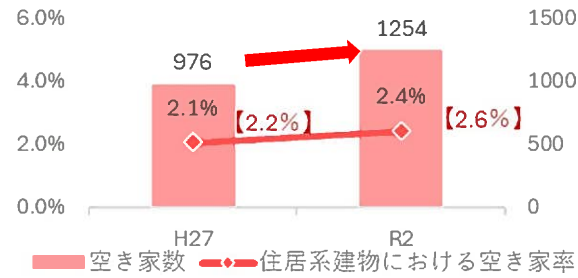


その他①:ゴルフ場
その他②:太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③平面駐車場等
その他④上記以外

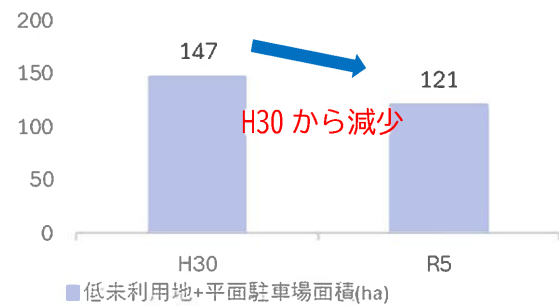
出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

■空き家数及び住居系建物における空き家率

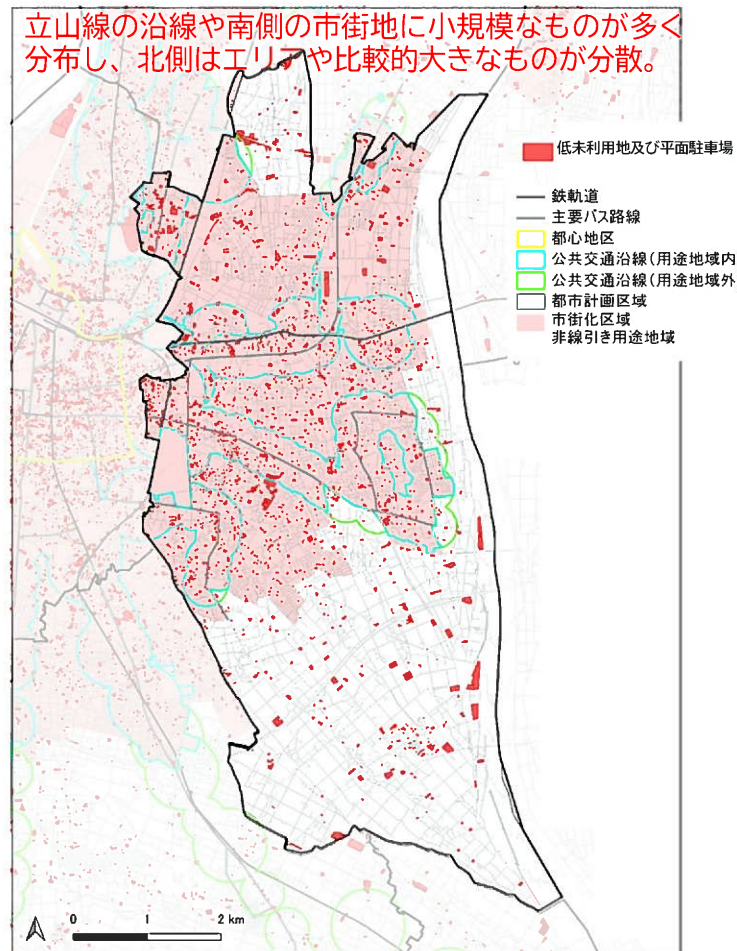
【富山市の空き家率】 空き家数、空き家率は増加。



■低未利用地及び平面駐車場の推移

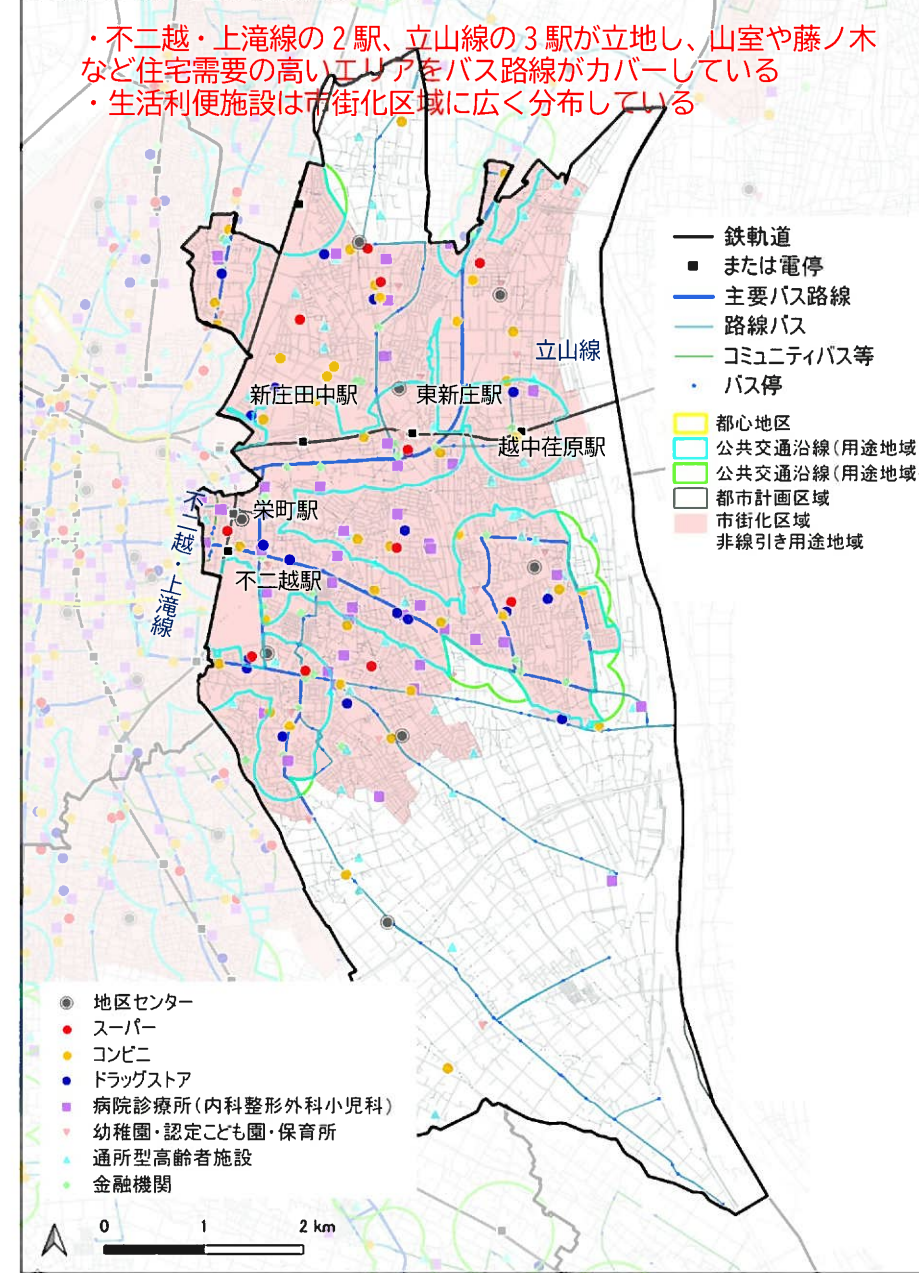


■低未利用地及び平面駐車場の分布



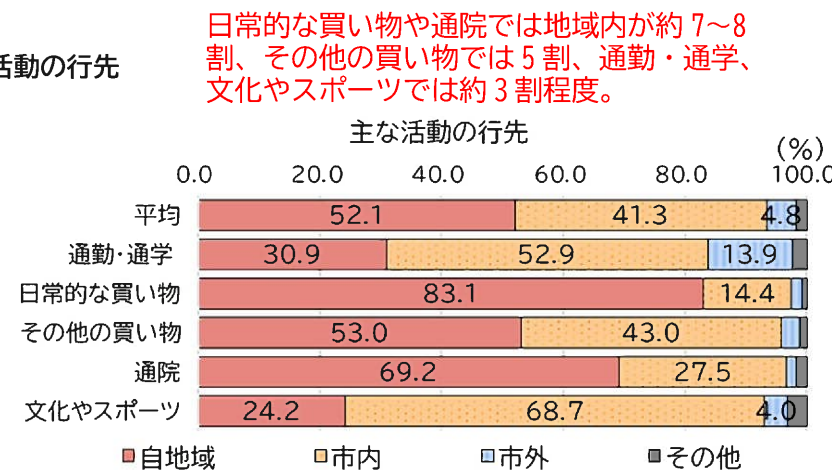
出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

■公共交通網と生活利便施設の分布



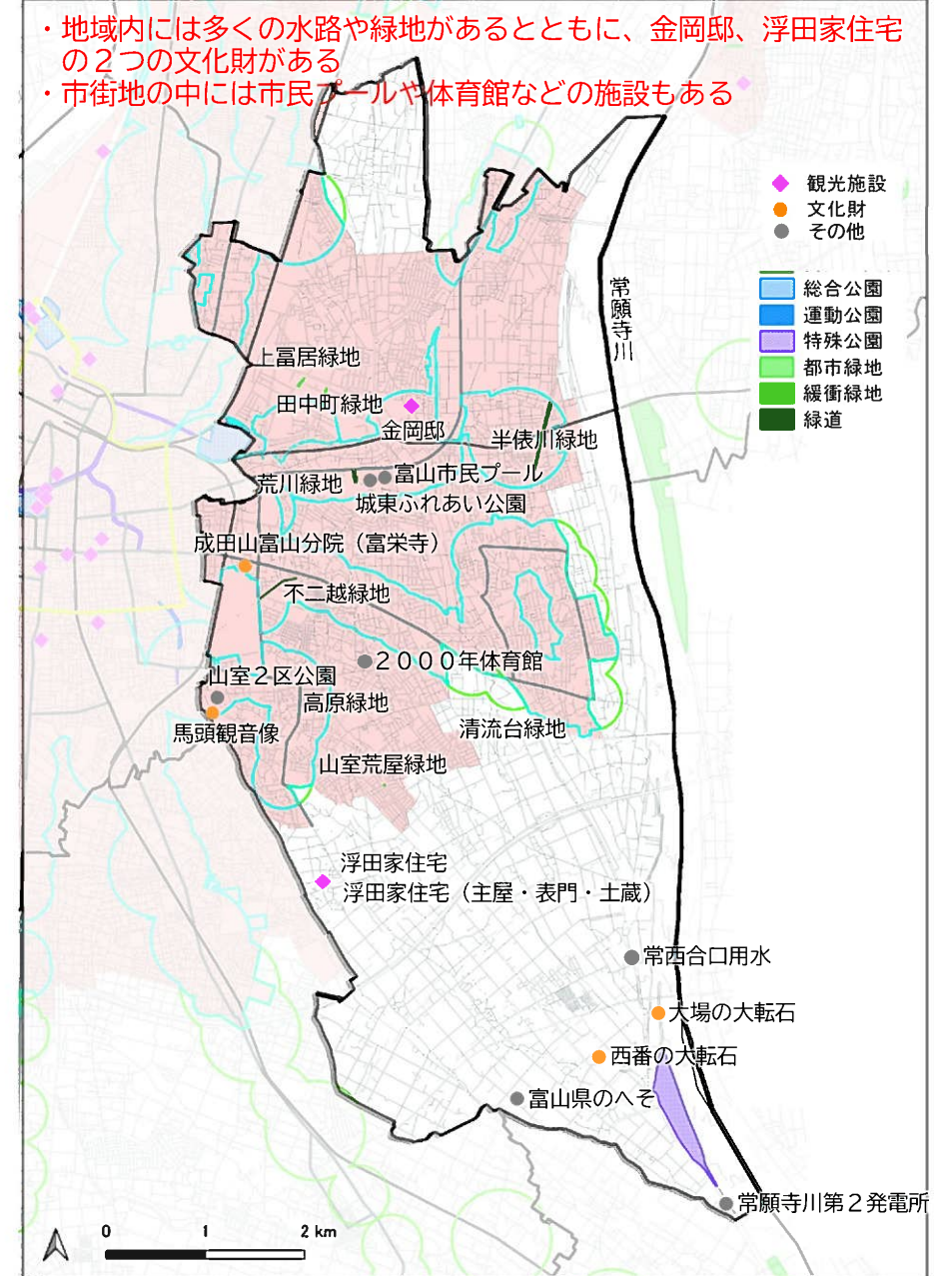
出典：富山市資料

■主な活動の行先



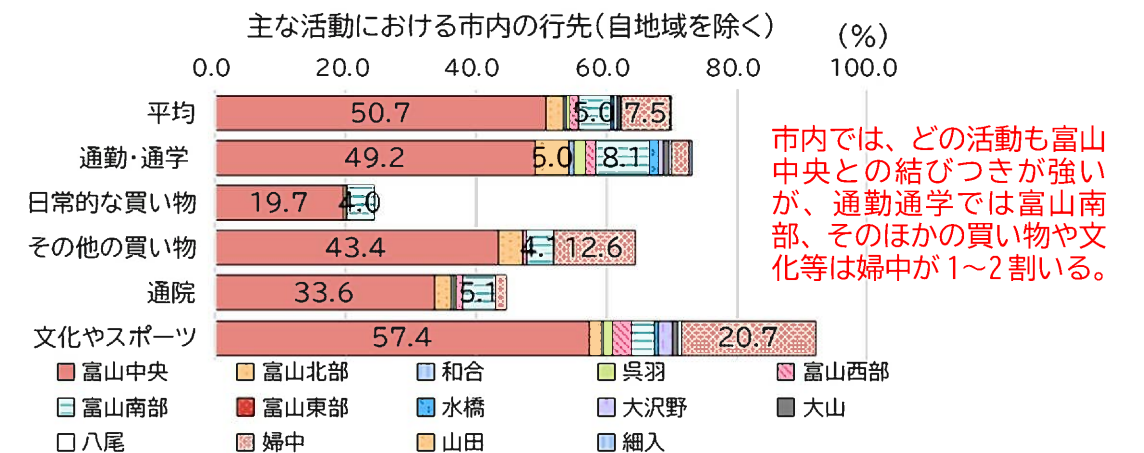
出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

■主な地域資源の分布



出典：富山市資料

■主な活動における市内の行き先

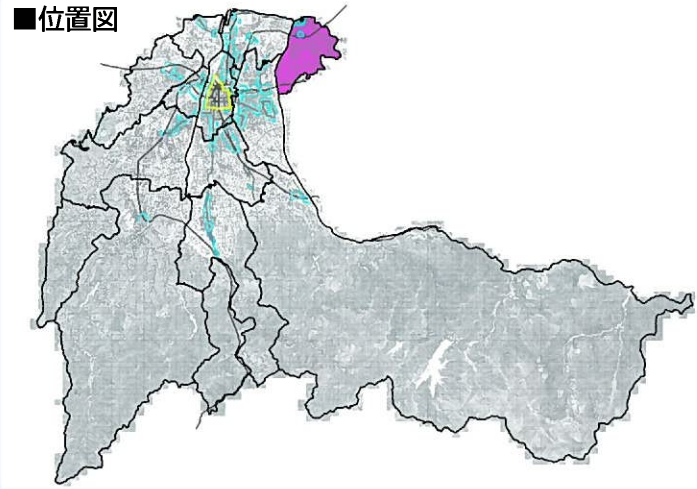


出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

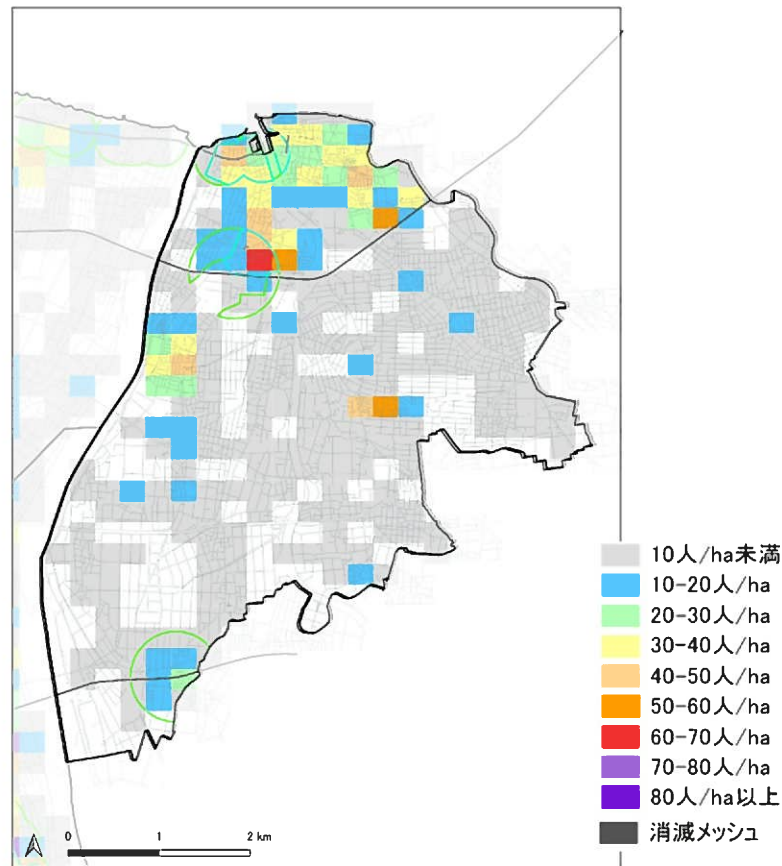
地区の概況

- ・水橋地域は、市の北東に位置し、常願寺川を挟んで富山北部、富山東部地域、他自治体では滑川市に隣接している。
- ・北側は日本海に面し、古くから漁港の町として栄えた地域であり、フィッシャリーナでは、海の様々なアクティビティを楽しむことができる地域である。
- ・公共交通は、あいの風とやま鉄道の水橋駅のほか、フィーダーバス路線により、富山港線の岩瀬浜までアクセスができる。

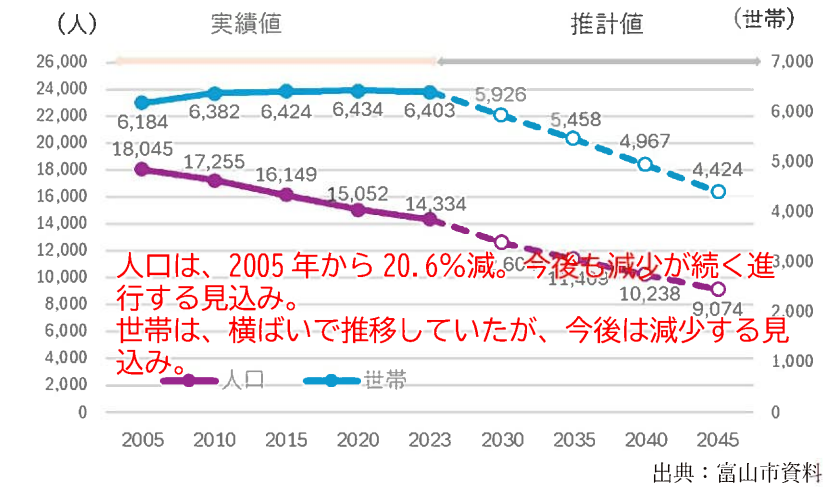
■位置図



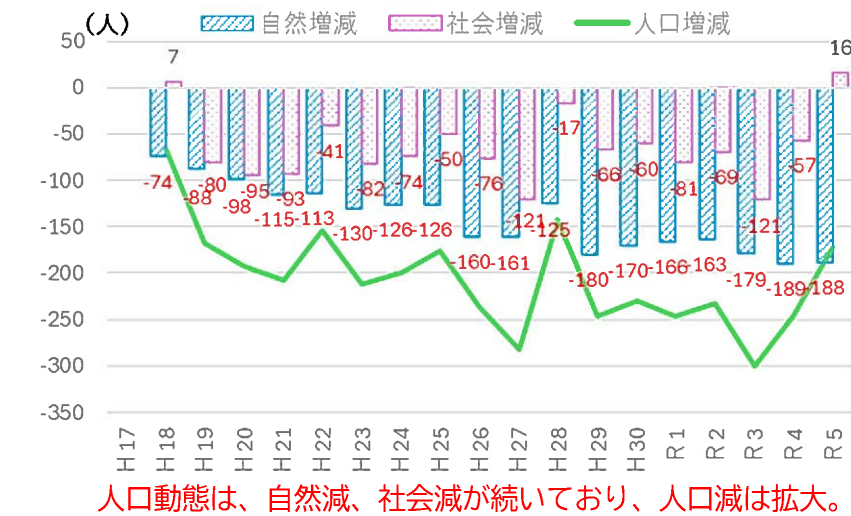
■人口分布（2023 年）



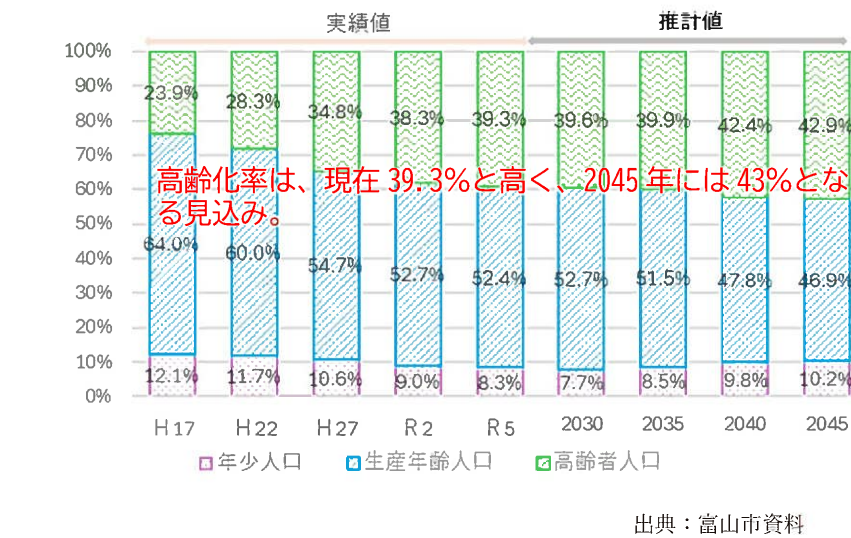
■人口・世帯の推移と見通し



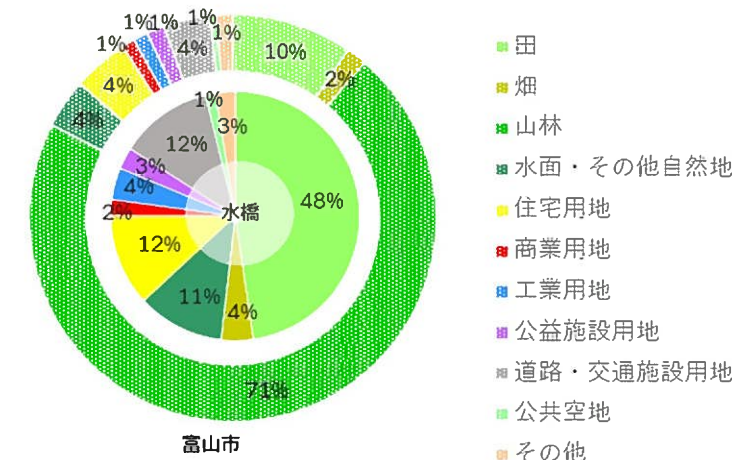
■自然増減・社会増減・人口増減



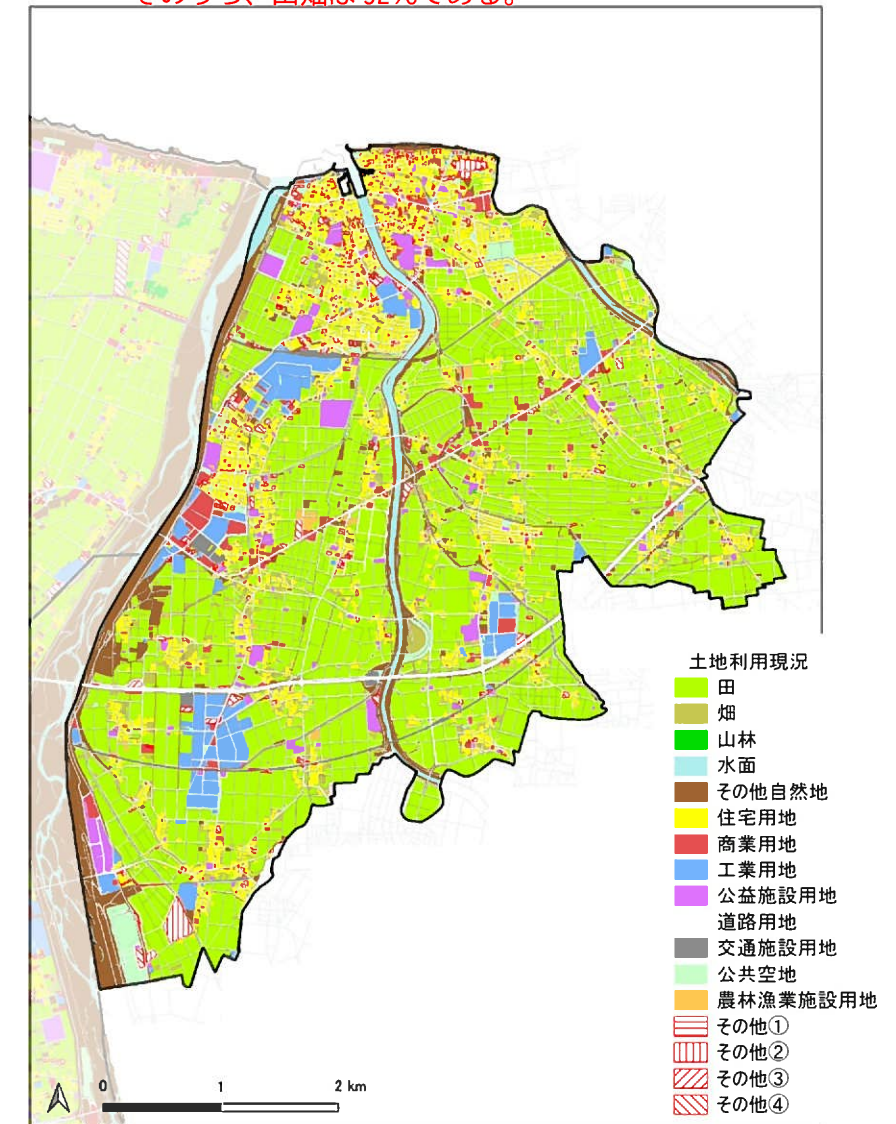
■年齢3区分割合の推移と見通し



■土地利用面積別構成比



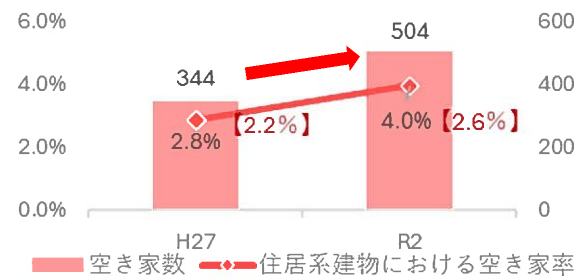
■土地利用現況



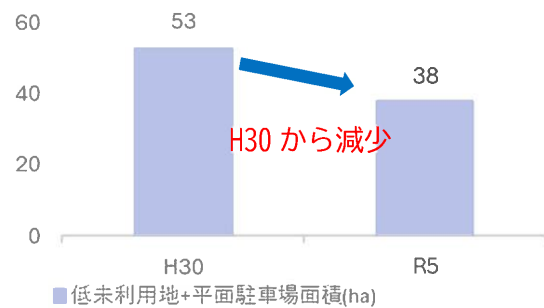
出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

■空き家数及び
住居系建物における空き家率

【富山市の空き家率】 空き家数、空き家率は増加。

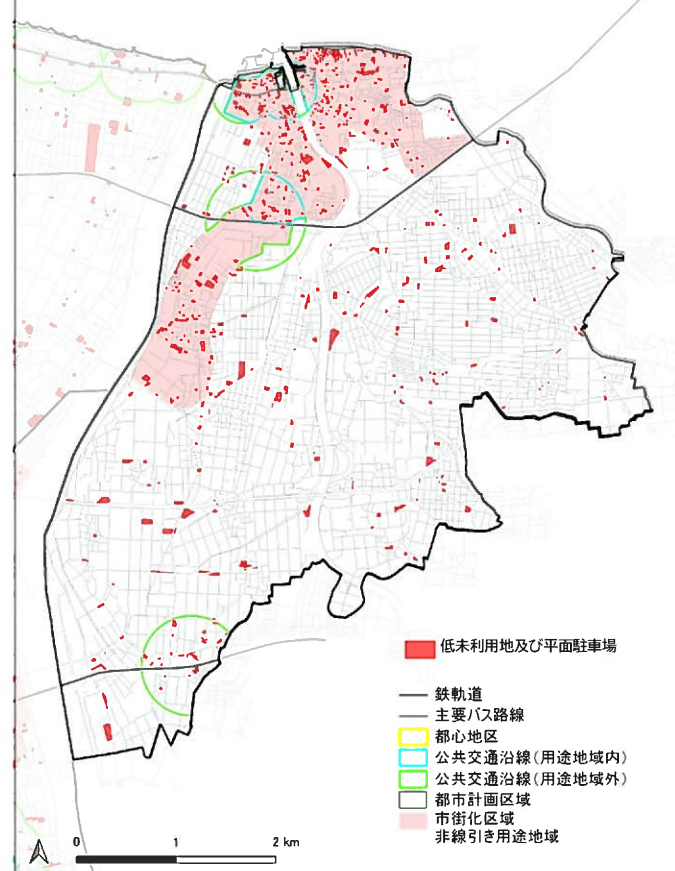


■低未利用地及び平面駐車場の推移



■低未利用地及び平面駐車場の分布

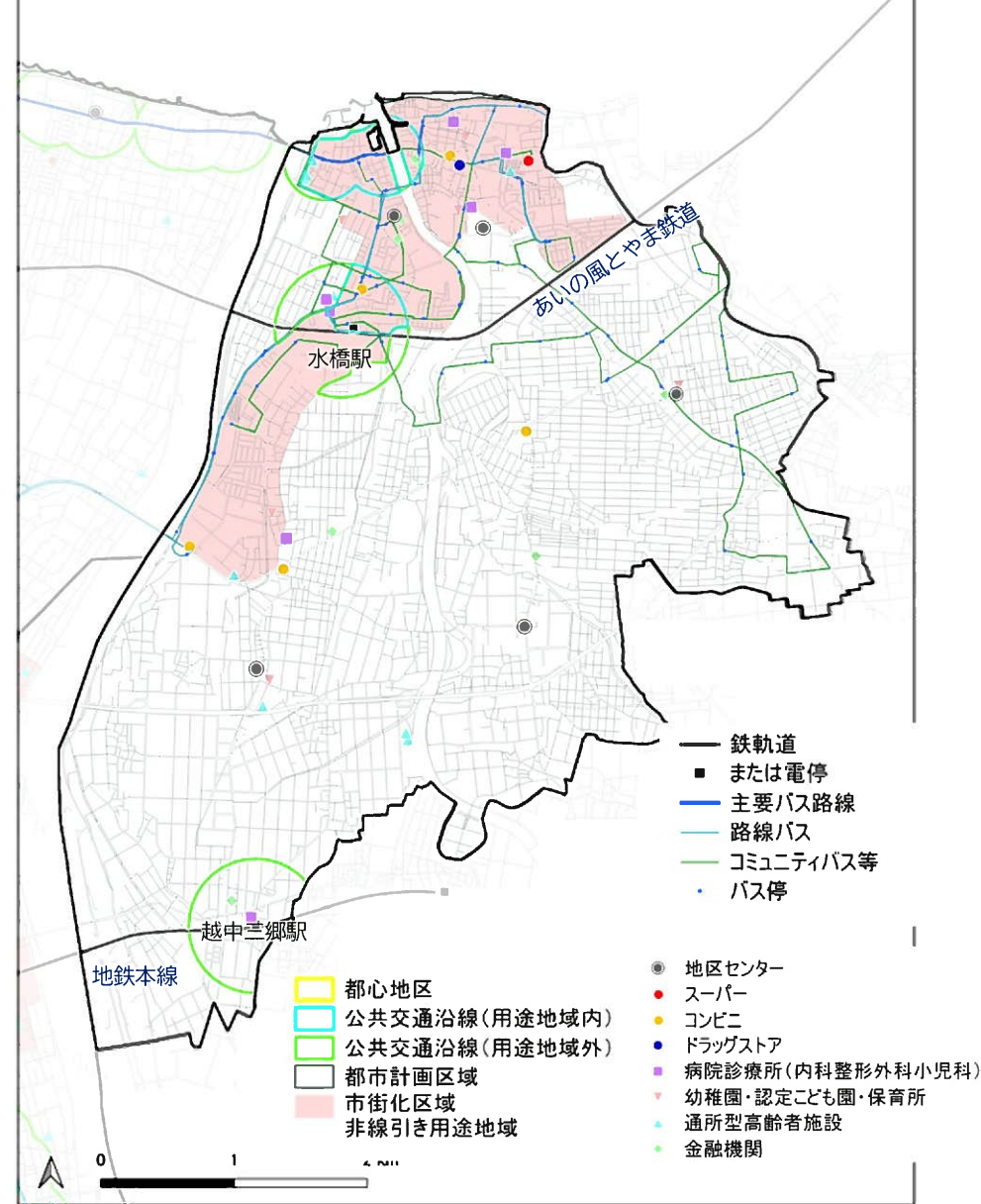
地域全体に分布しており、特に海岸エリアが密集。



出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

■公共交通網と生活便利施設の分布

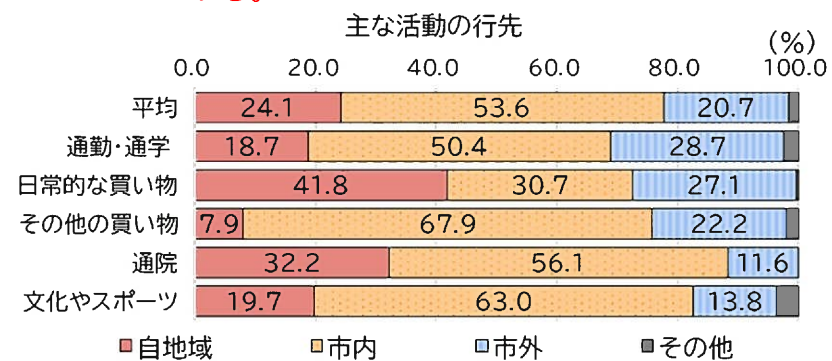
あいの風とやま鉄道の水橋駅とバス路線が、地域の市街地をカバー。



出典：富山市資料

■主な活動の行先

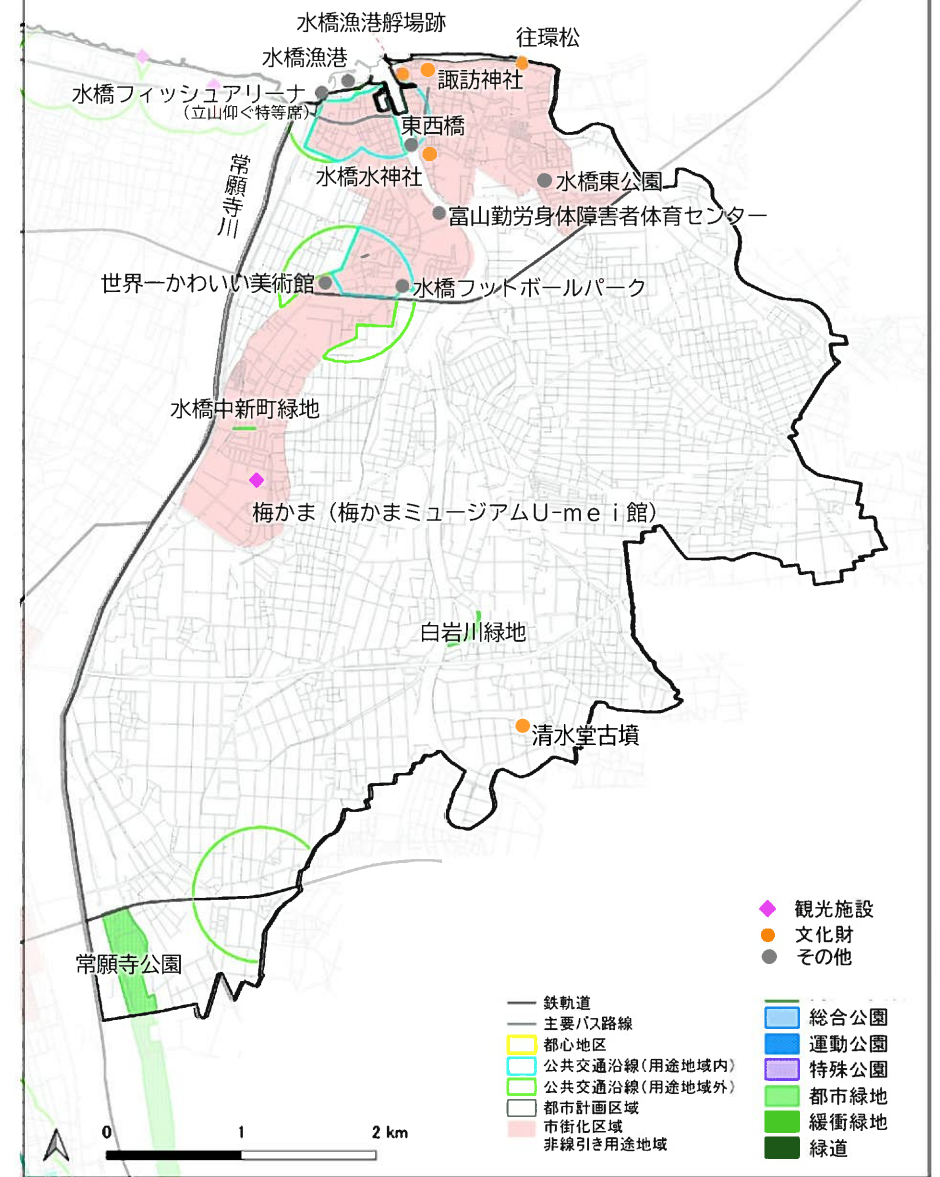
通勤・通学は、市内が多いが市外も3割ほどあり、日常的な買い物も3割が市外へ行っている。



出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

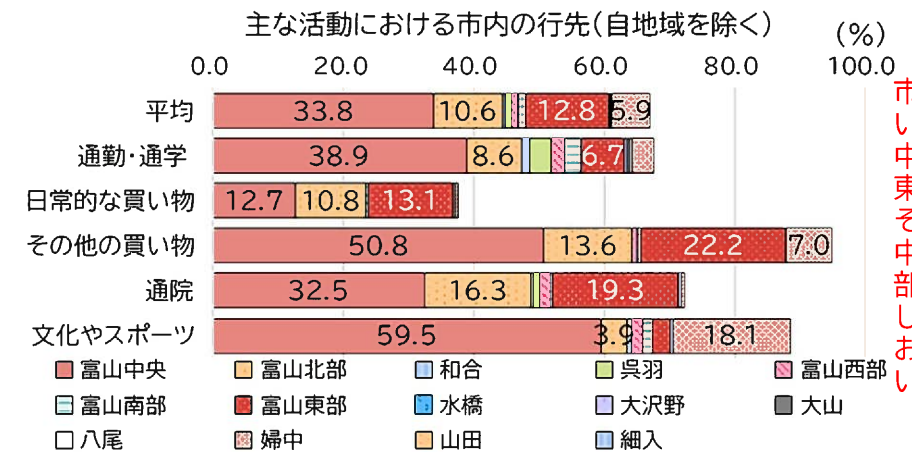
■主な地域資源の分布

- ・沿岸部には漁港を中心に寺社や史跡などの施設が立地している
- ・市街地の中には体育館やグラウンドなども立地している
- ・魚介に関する観光施設も立地している



出典：富山市資料

■主な活動における市内の行き先



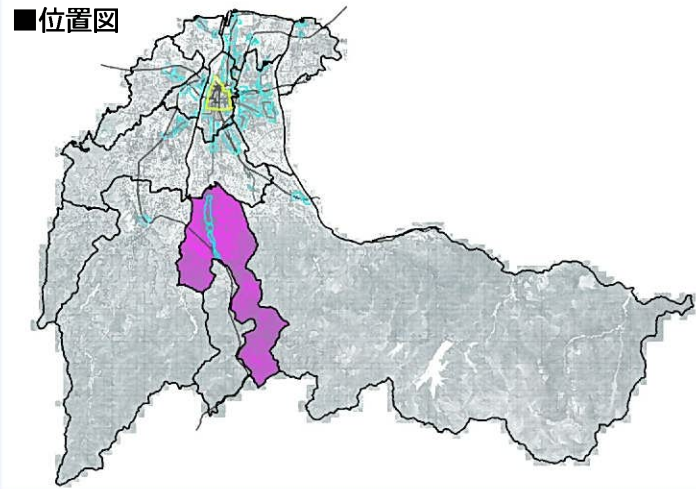
出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

市内では、日常的な買い物においては、富山中央、富山北部、富山東部が同程度である。その他の活動は富山中央が多いが、富山東部や富山北部が均衡しており、生活行動における結びつきが強い。

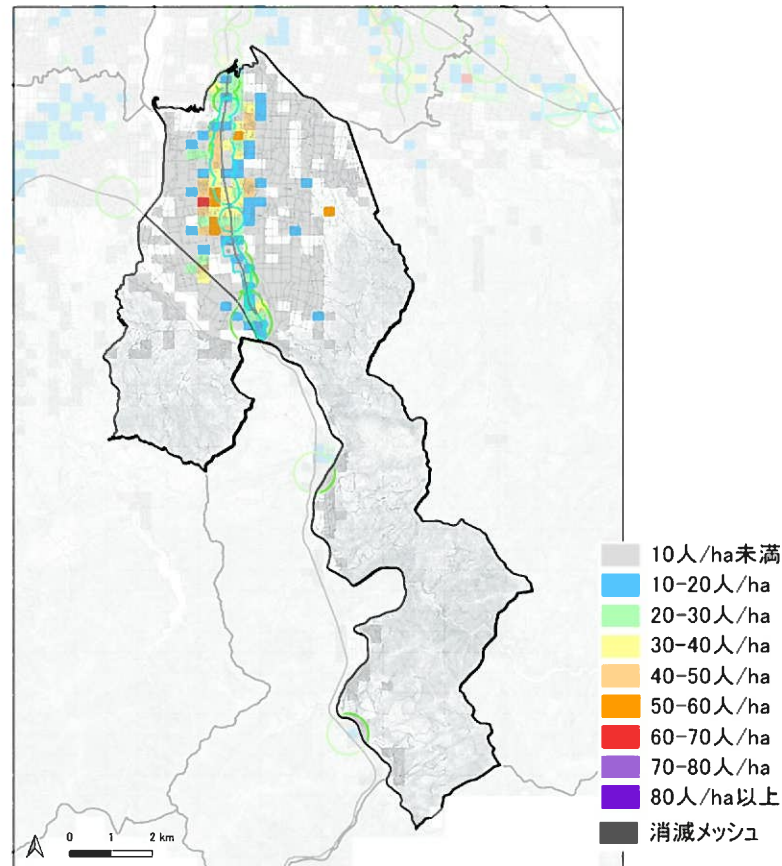
地区の概況

- ・大沢野地域は、市の南に位置し、富山南部、八尾、細入、大山地域と隣接している。
- ・南側は山地、北側は段丘の地形であり、神通川に沿って、南北に長い地域である。
- ・市街地は北側平野部であり、南側は豊かな森林が広がっており、国道 41 号を通るバス路線は運行頻度が高く、JR 高山本線の笹津駅があり、富山市中心部へも直接アクセスが可能である。

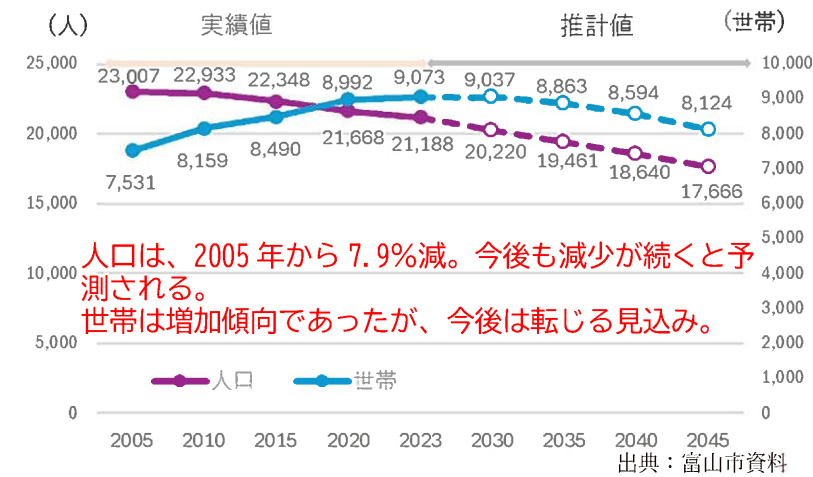
■位置図



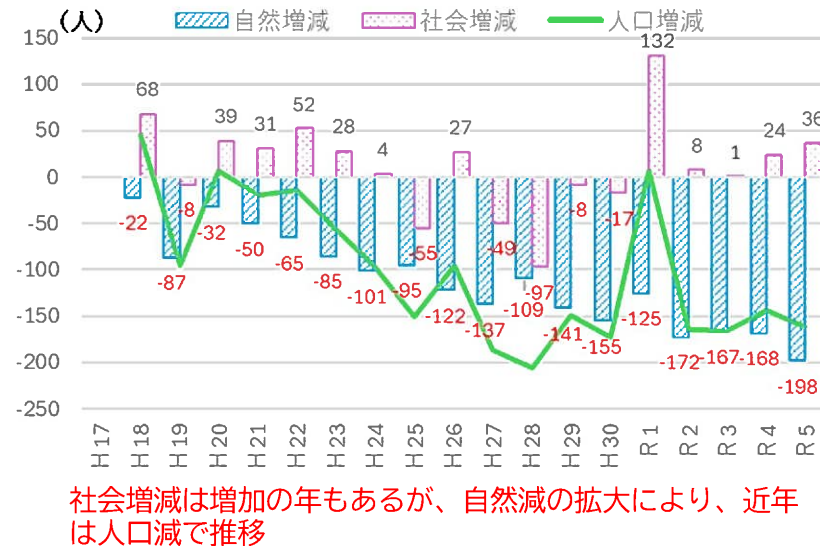
■人口分布（2023 年）



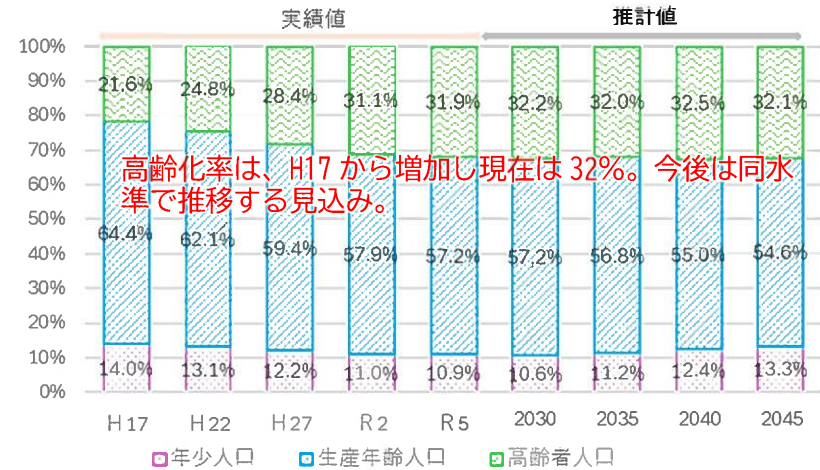
■人口・世帯の推移と見通し



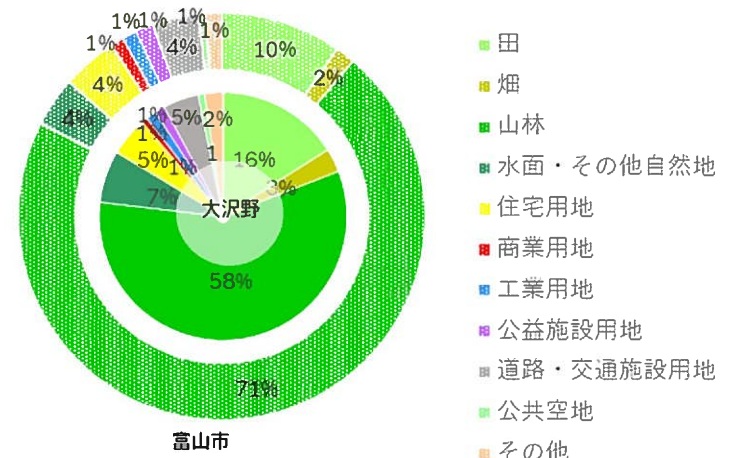
■自然増減・社会増減・人口増減



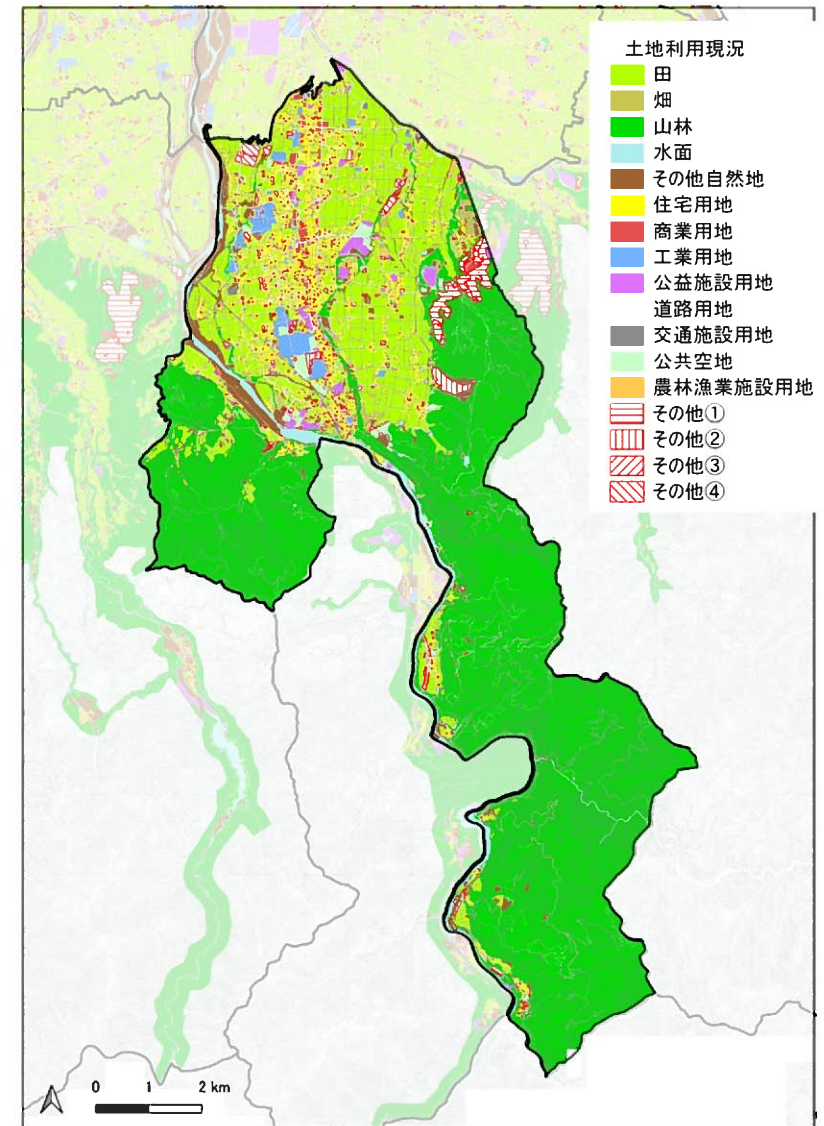
■年齢3区分割合の推移と見通し



■土地利用面積別構成比



■土地利用現況

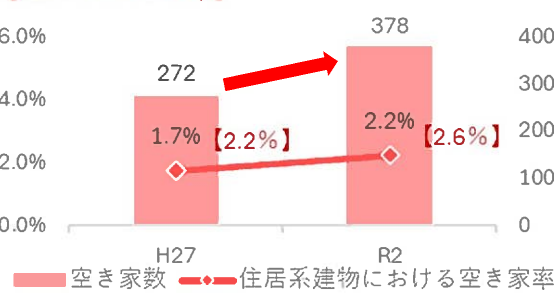


その他①: ゴルフ場
その他②: 太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③: 平面駐車場等
その他④: 上記以外

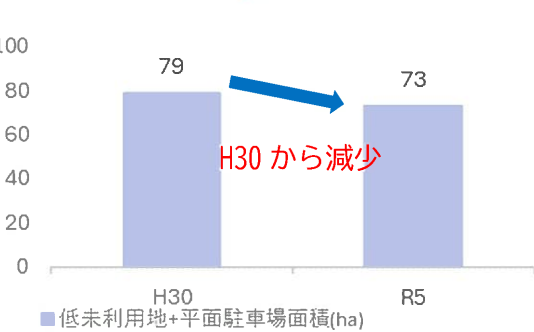
出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

■空き家数及び住居系建物における空き家率

【富山市の空き家率】 空き家数、空き家率は増加。

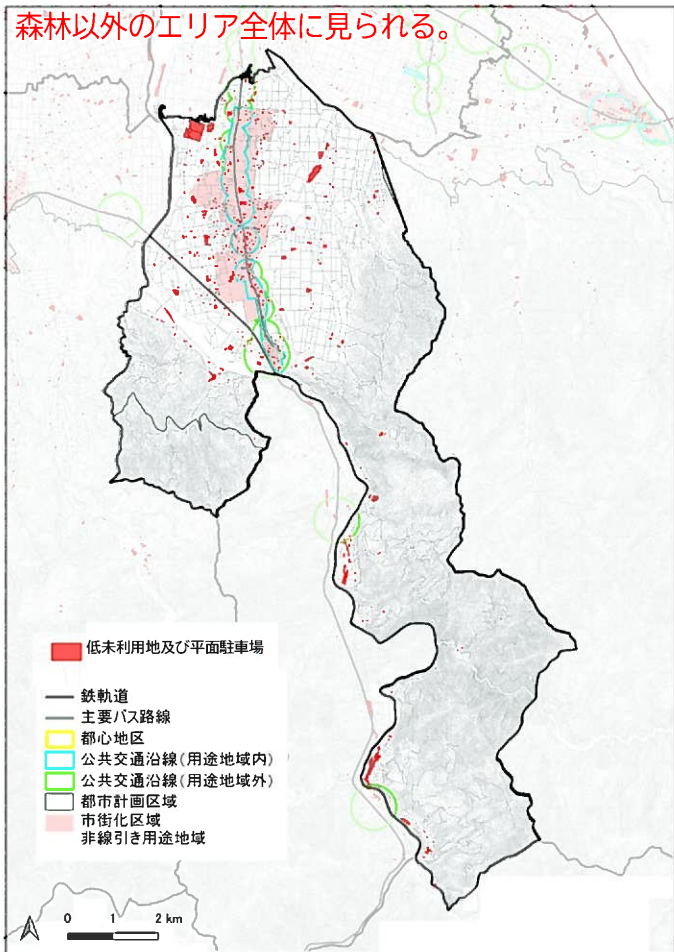


■低未利用地及び平面駐車場の推移



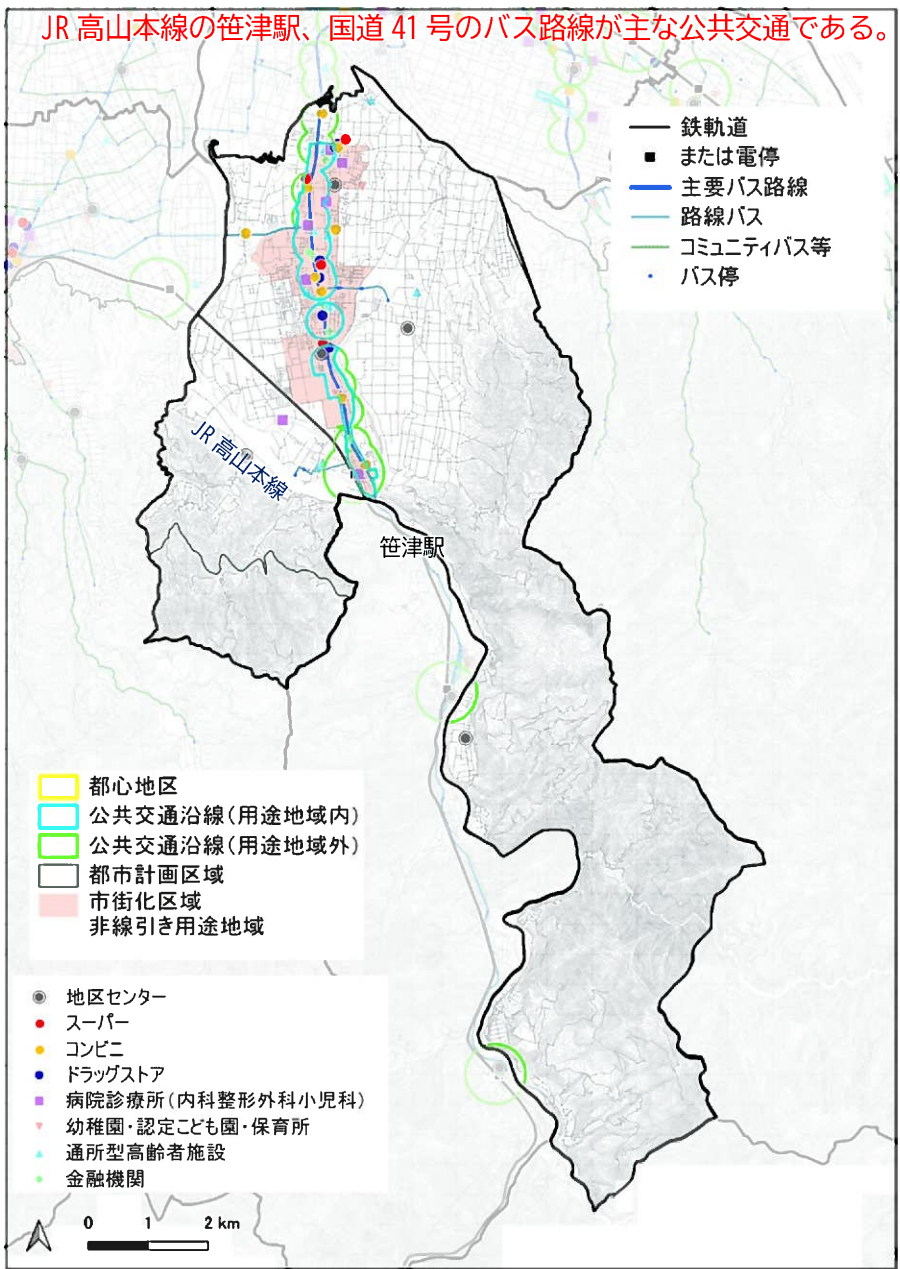
■低未利用地及び平面駐車場の分布

森林以外のエリア全体に見られる。



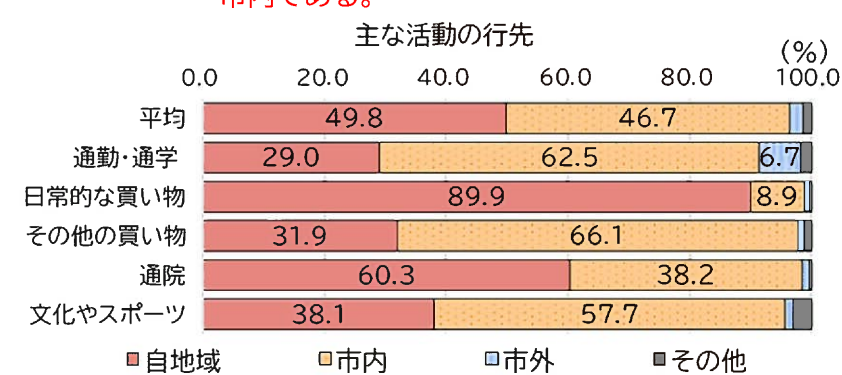
出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

■公共交通網と生活便利施設の分布



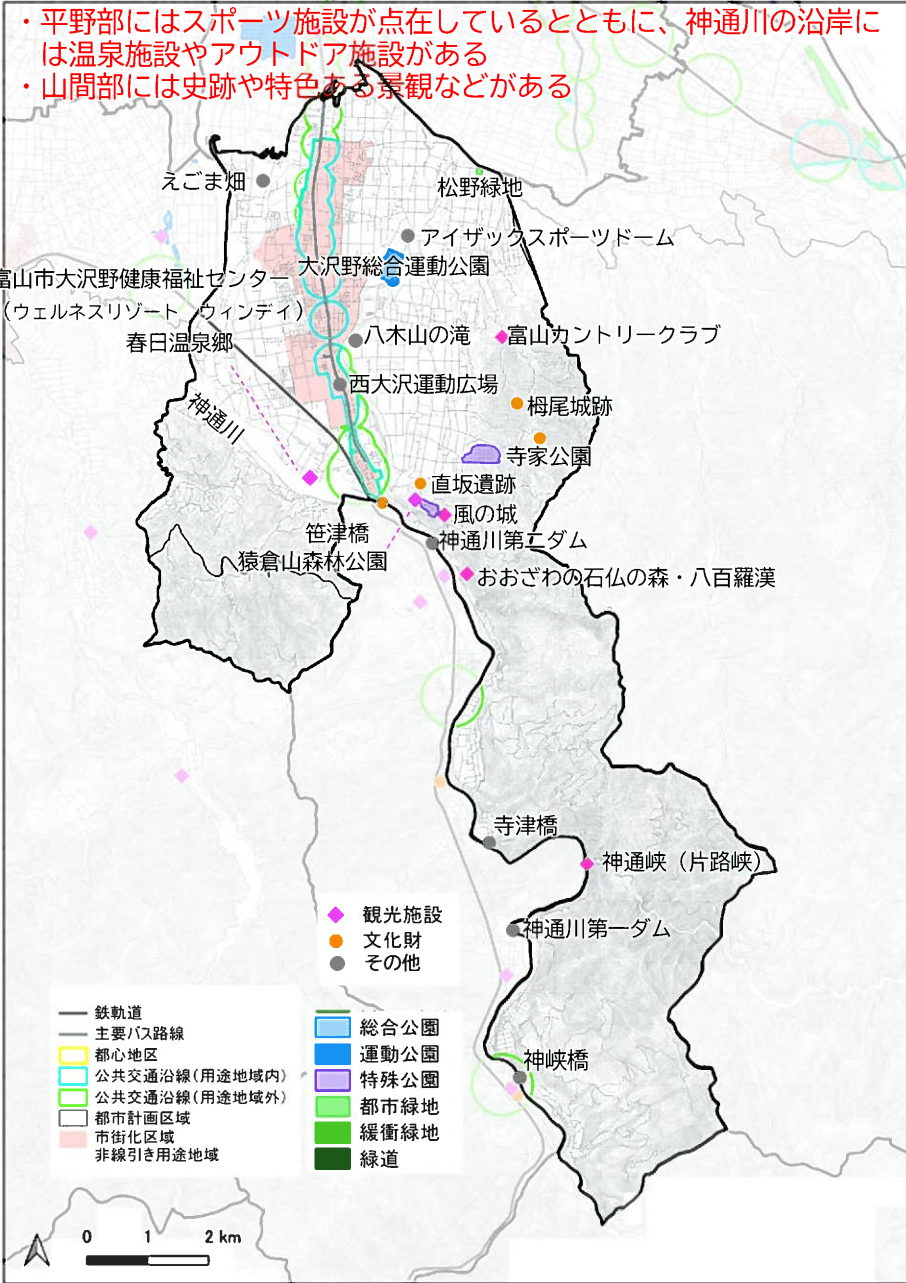
出典：富山市資料

■主な活動の行先



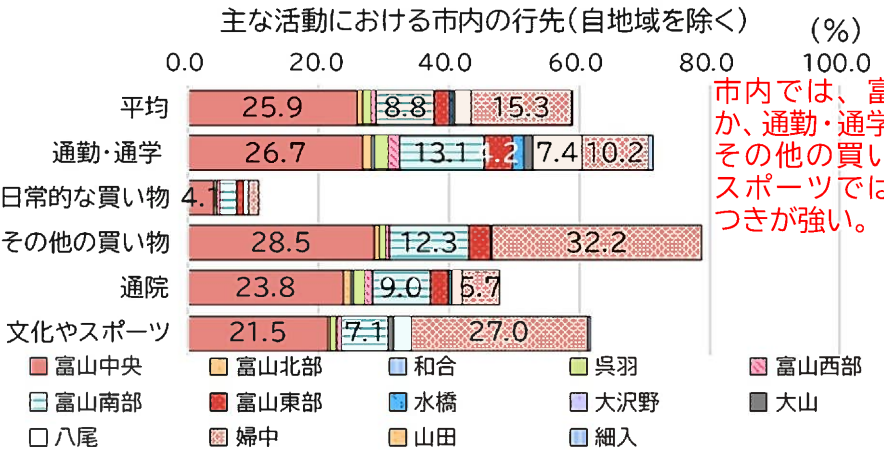
出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

■主な地域資源の分布



出典：富山市資料

■主な活動における市内の行き先



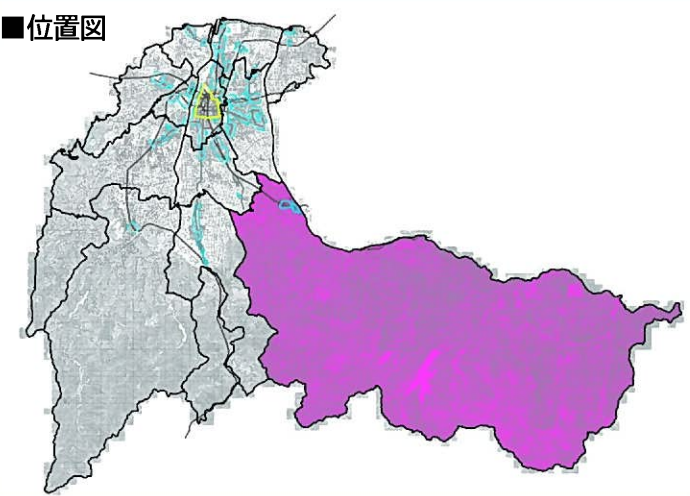
出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

市内では、富山中央のほか、通勤・通学で富山南部、その他の買い物や文化やスポーツでは婦中と結びつきが強い。

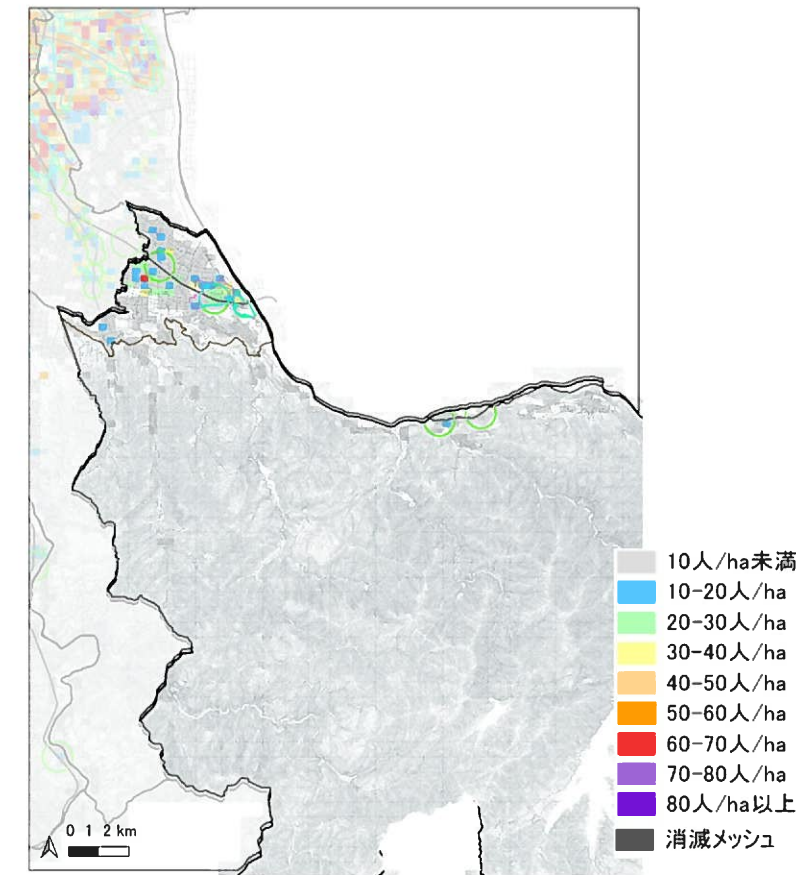
地区の概況

- ・大山地域は、南東に位置し、富山南部、富山東部、大沢野地域他自治体の立山と隣接しており、14 地域の中で最も広く、東西に大きく広がり、中部山岳国立公園などの自然公園など大部分が山間の自然豊かな地域である。
- ・可住地は限られて、市街地は北西の平野部であり、常願寺川に沿っていくつかの集落が見られる。
- ・公共交通は上滝不二越線の駅やバス路線が市街地エリアを通っている。山間では、豊かな自然を活かしスキー場などの観光資源が有している。

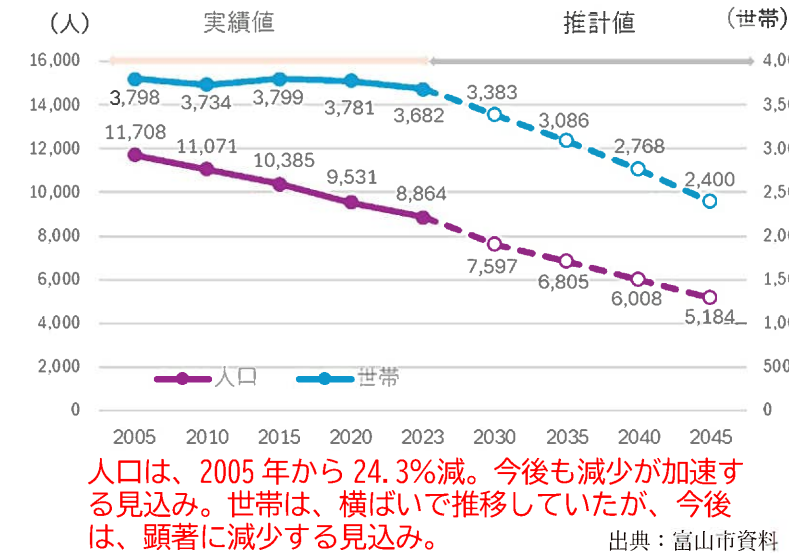
位置図



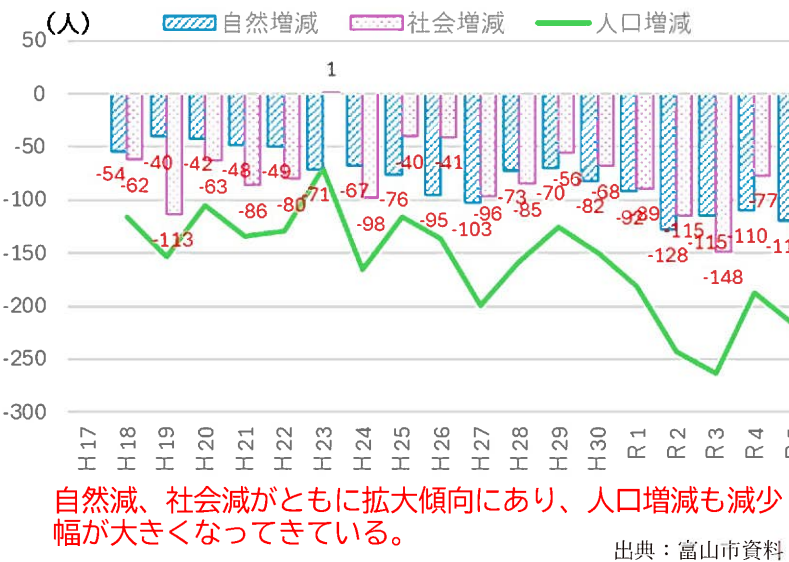
人口分布（2023 年）



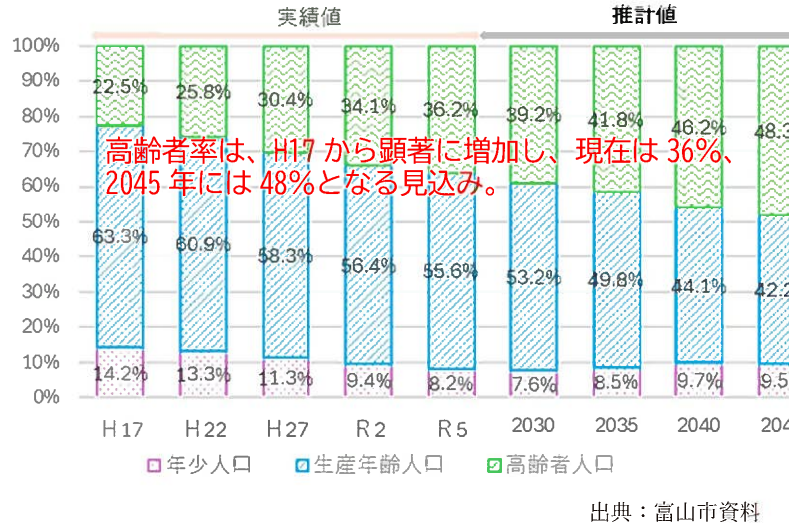
人口・世帯の推移と見通し



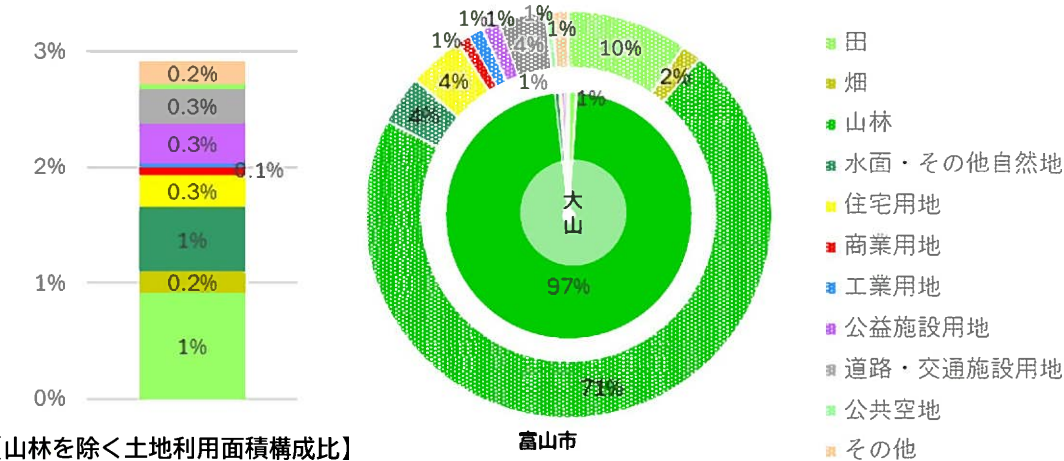
自然増減・社会増減・人口増減



年齢3区分割合の推移と見通し

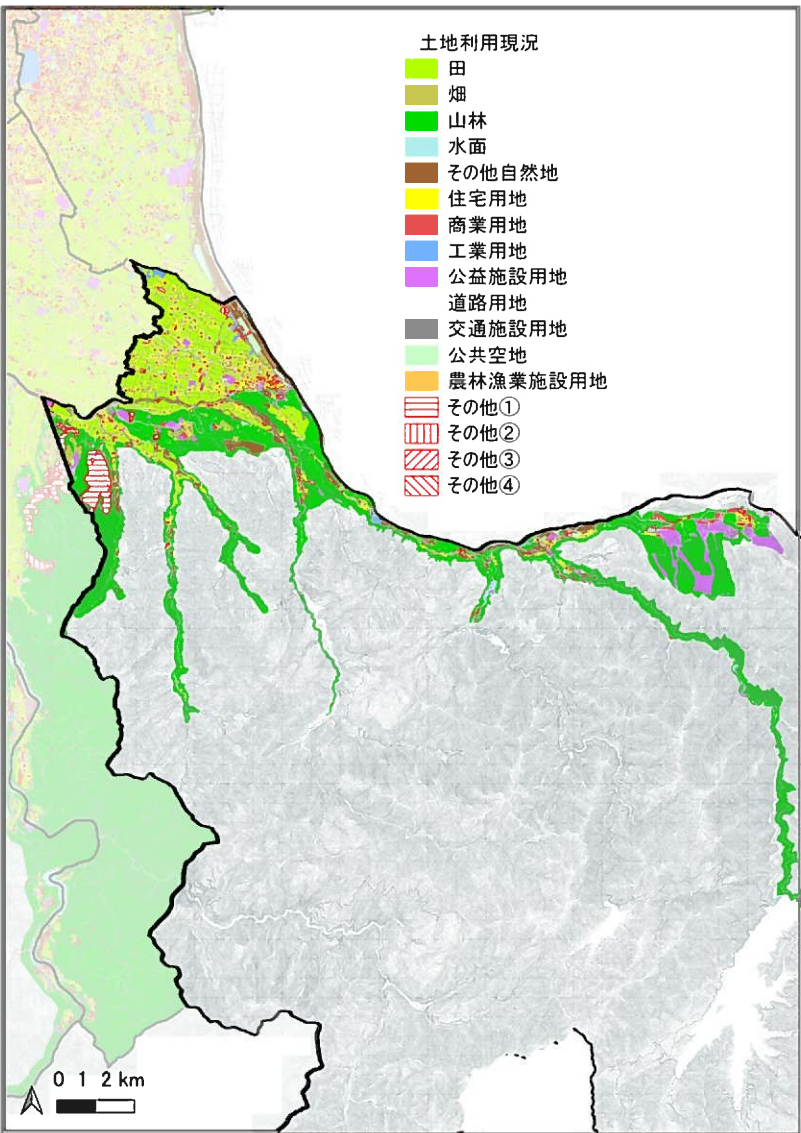


土地利用面積別構成比



土地利用現況

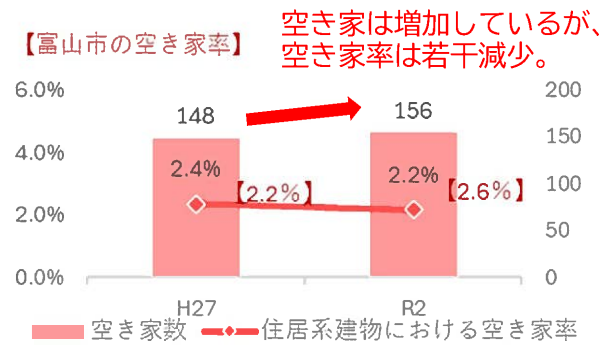
山林や田畑、水面などの自然的土地利用が 98%を占め、都市的土地利用は 2%程度である。



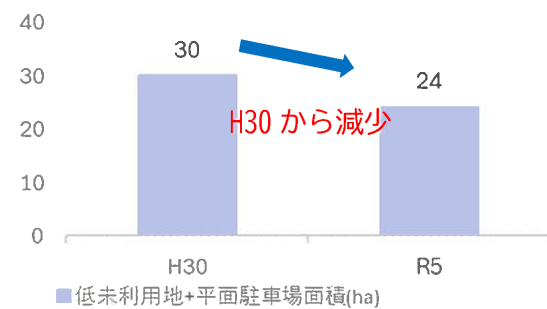
その他①:ゴルフ場
その他②:太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③平面駐車場等
その他④上記以外

出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

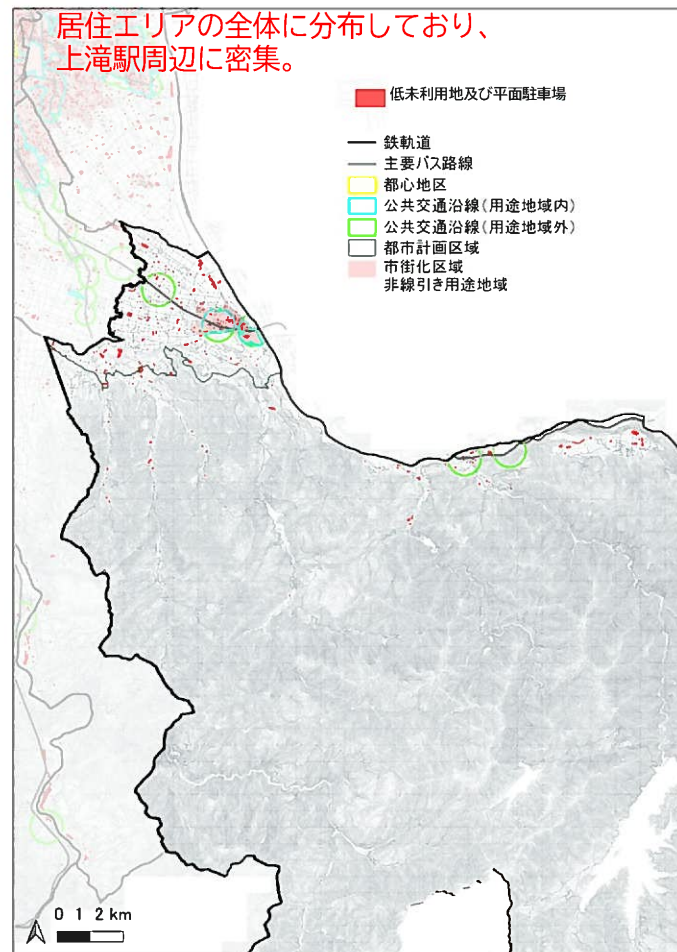
■空き家数及び
住居系建物における空き家率



■低未利用地及び平面駐車場面積

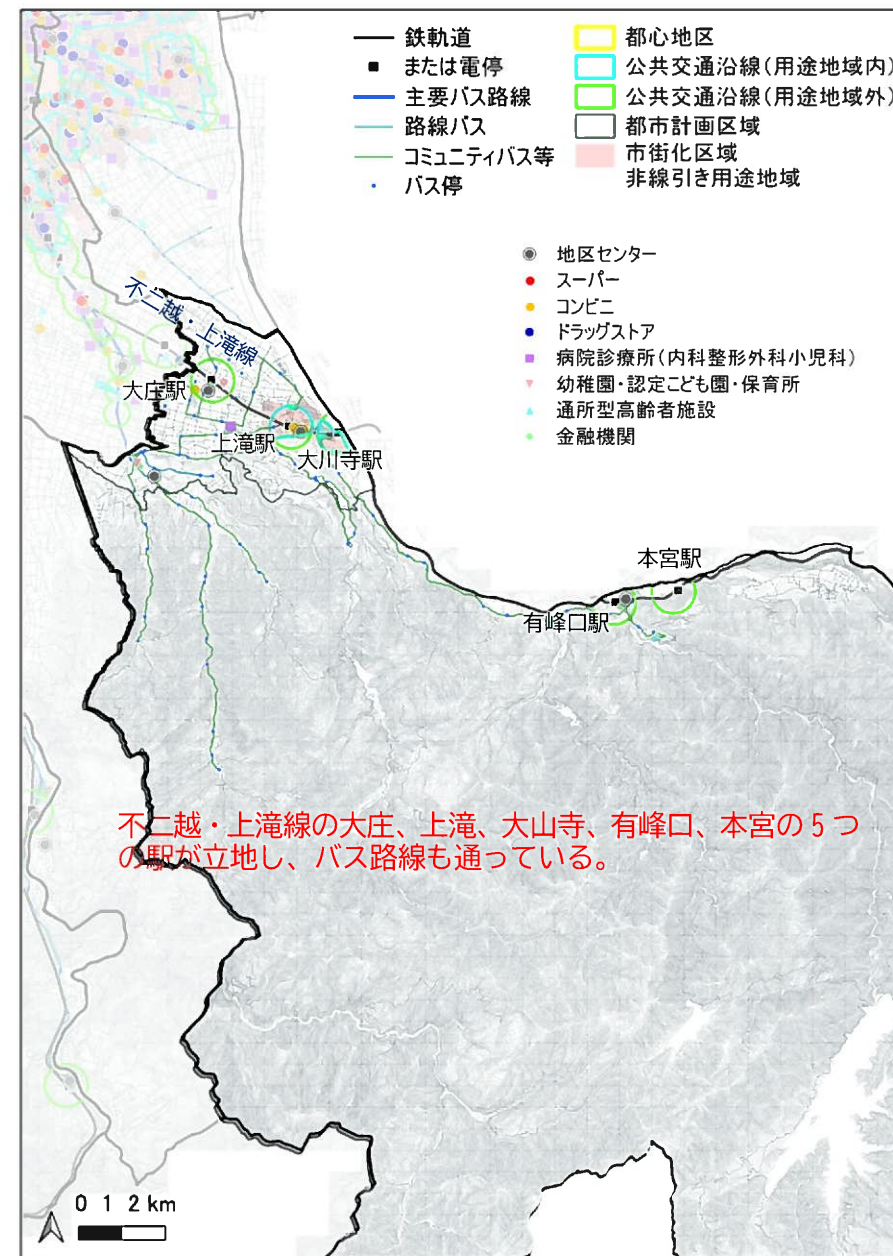


■低未利用地及び平面駐車場の分布



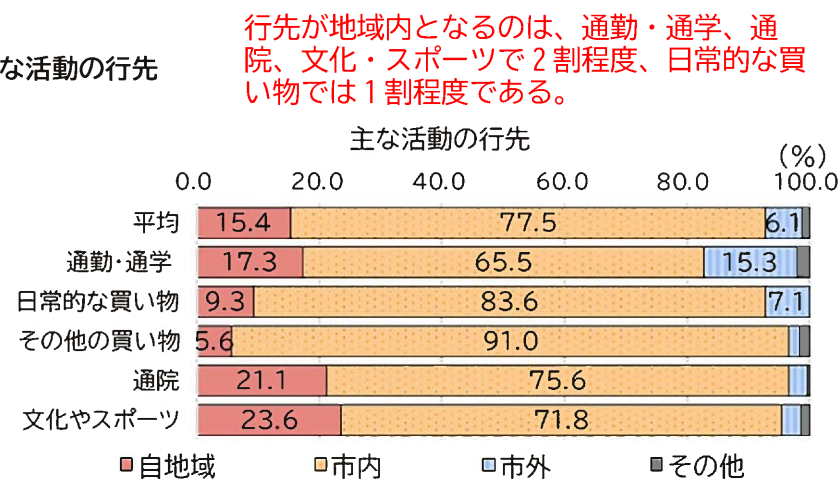
出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

■公共交通網と生活利便施設の分布



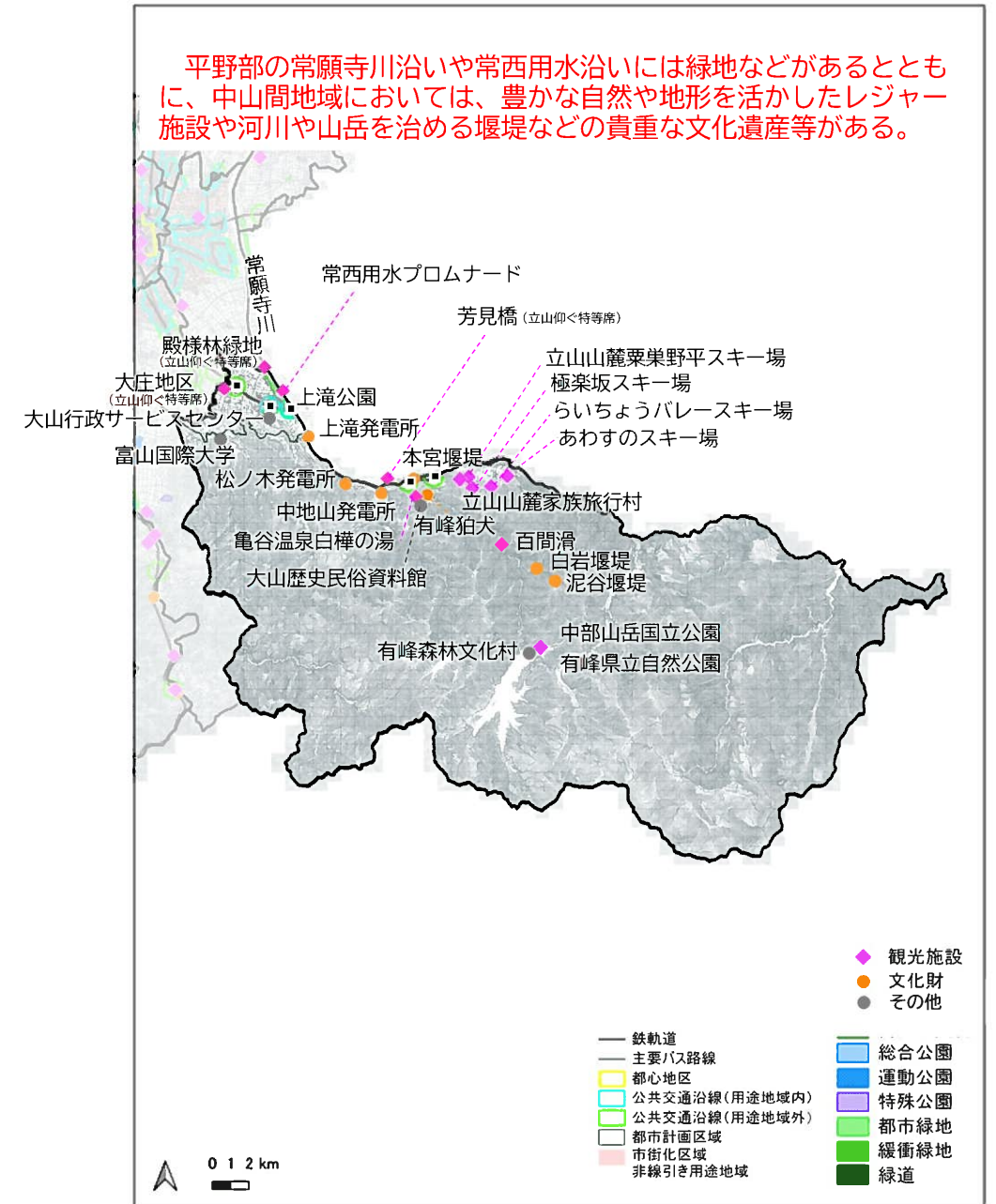
出典：富山市資料

■主な活動の行先



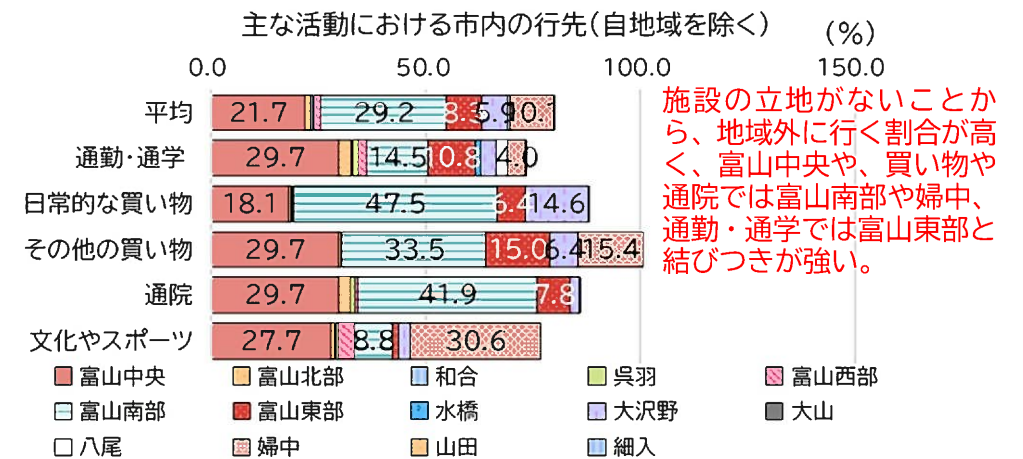
出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

■主な地域資源の分布



出典：富山市資料

■主な活動における市内の行き先

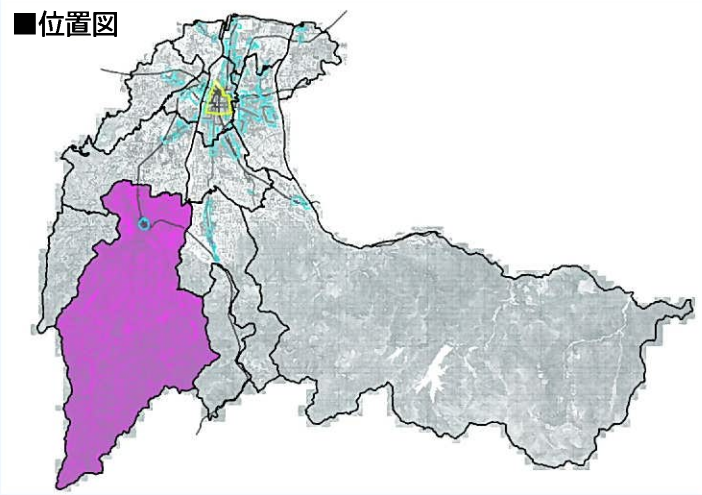


出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

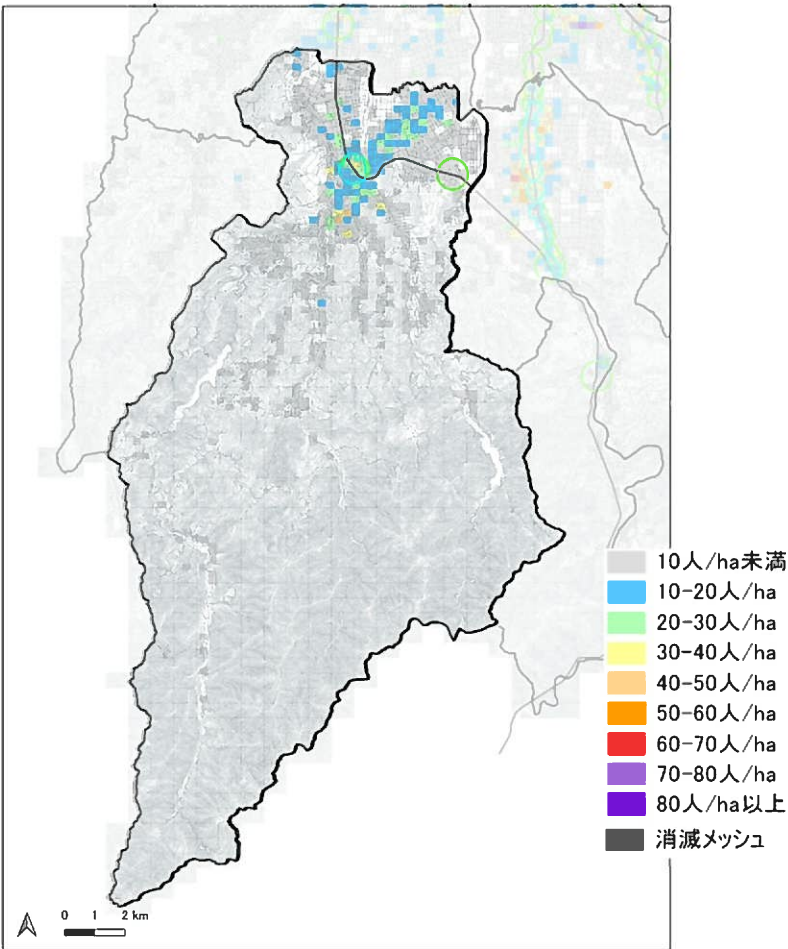
地区の概況

- ・八尾地域は、市の南に位置し、大沢野、婦中、山田、細入地域や、他自治体では、南砺市や岐阜県飛騨市に隣接している。
- ・広く森林地域が広がっているが、北側を平野は、農地と住宅地が混在した地域である。
- ・「越中八尾おわら風の盆」が全国的にも有名であり、曳山祭は県の有形民族文化財に指定されており、八尾町周辺歴史的街並みのほか、資料館等の施設が立地している。
- ・ＪＲ高山本線の越中八尾駅、東八尾駅のほか、富山地方鉄道などのバス路線も充実している。

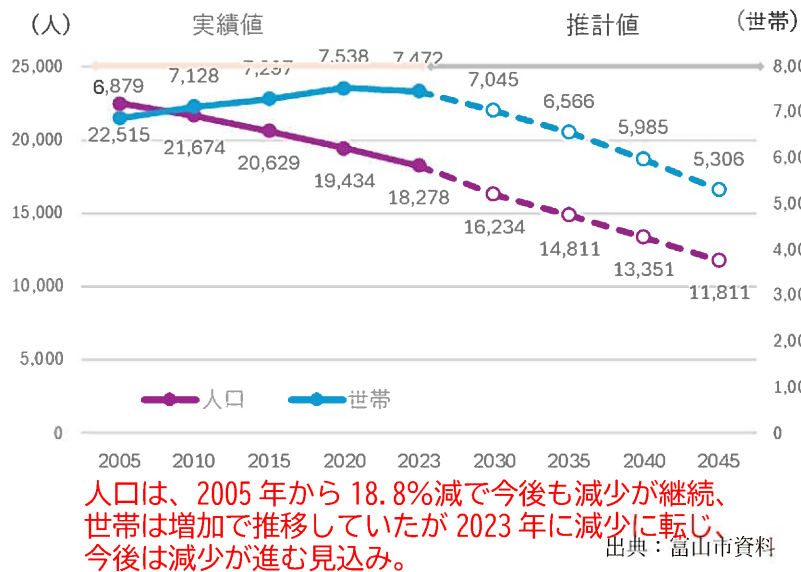
位置図



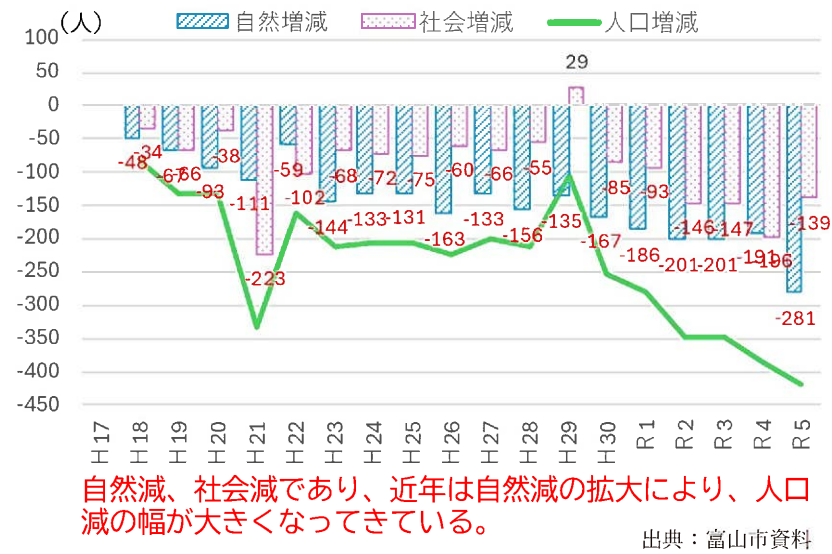
人口分布（2023 年）



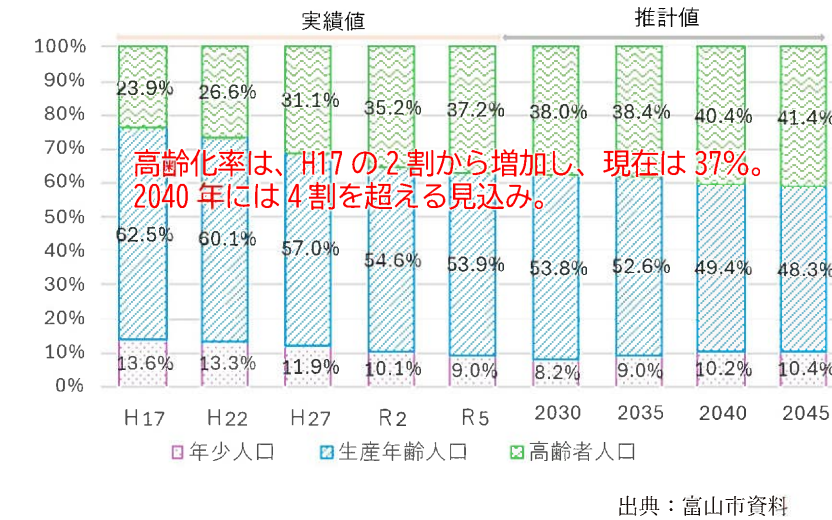
人口・世帯の推移と見通し



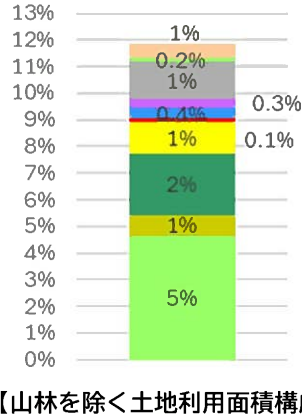
自然増減・社会増減・人口増減



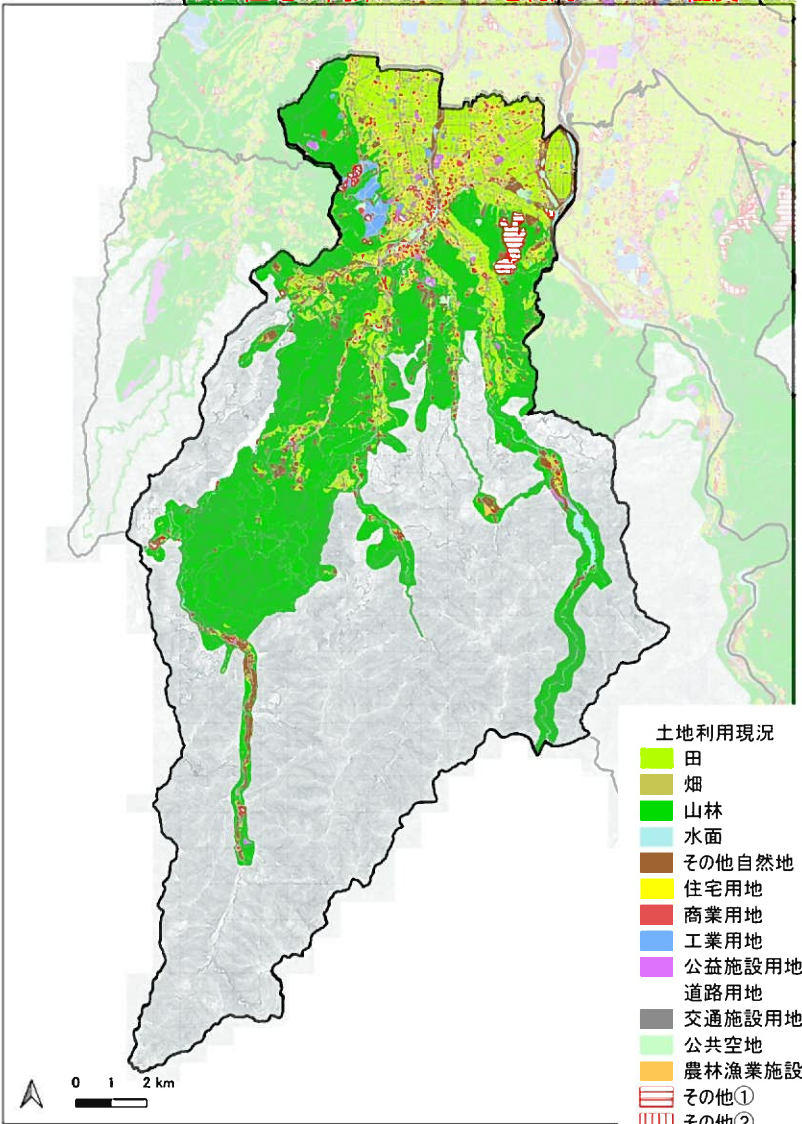
年齢3区分割合の推移と見通し



土地利用面積別構成比



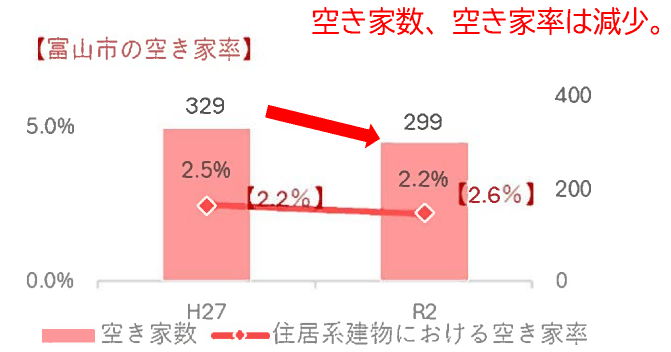
土地利用現況



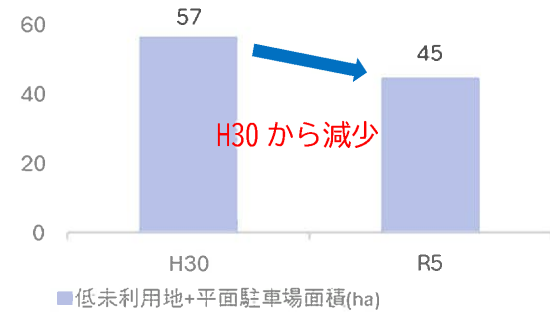
その他①：ゴルフ場
その他②：太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③：平面駐車場等
その他④：上記以外

出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

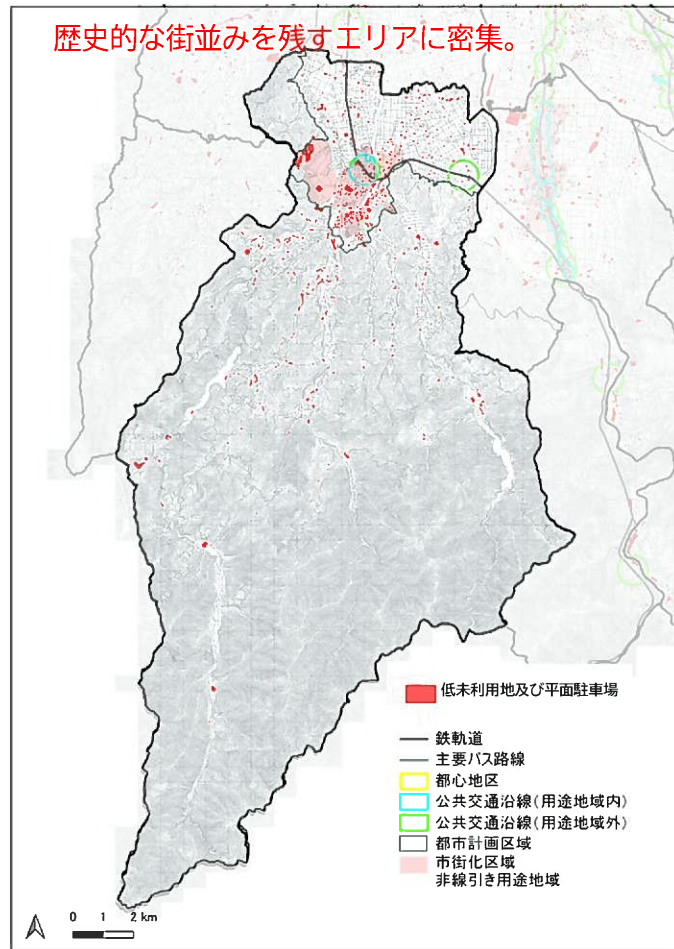
■空き家数及び住居系建物における空き家率



■低未利用地及び平面駐車場面積

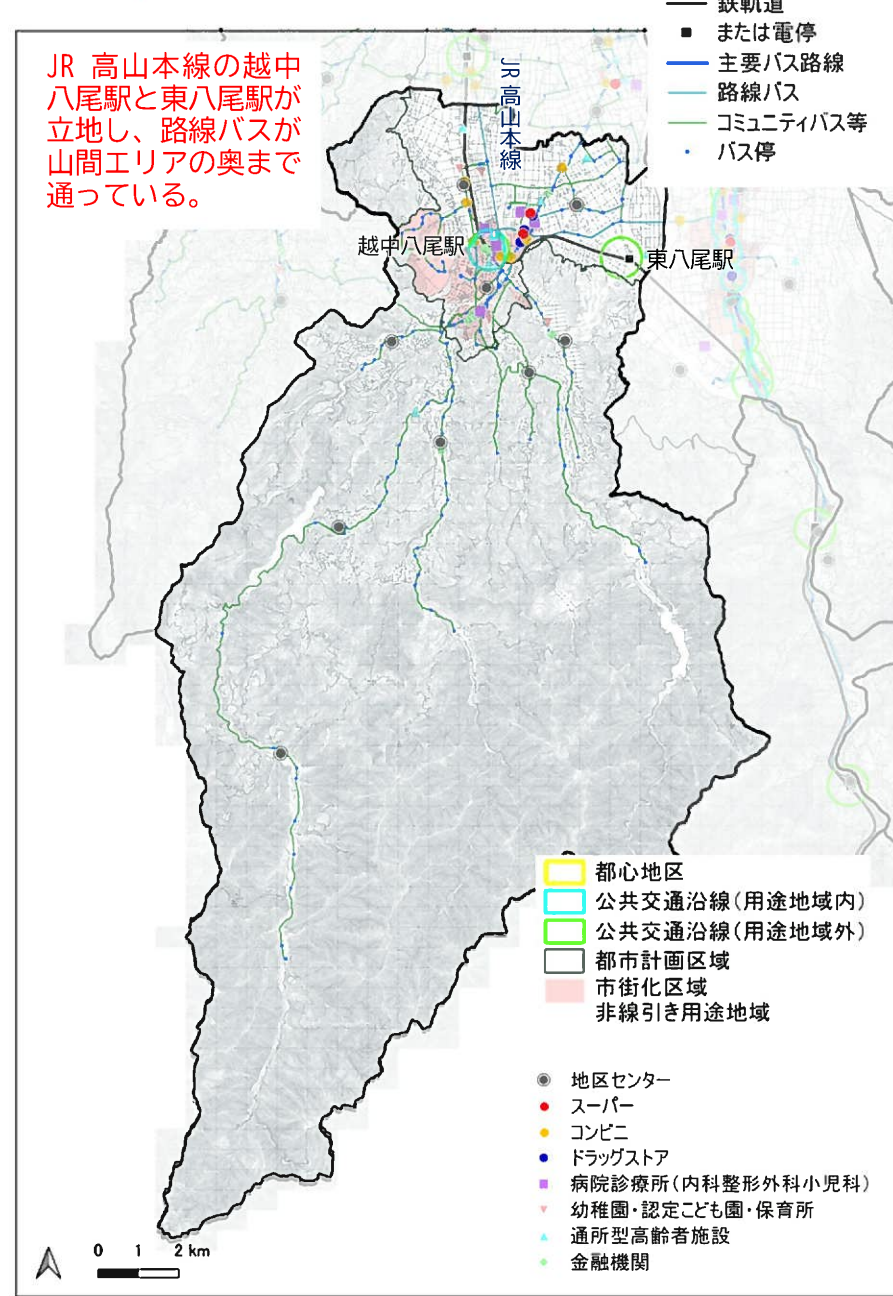


■低未利用地及び平面駐車場の分布



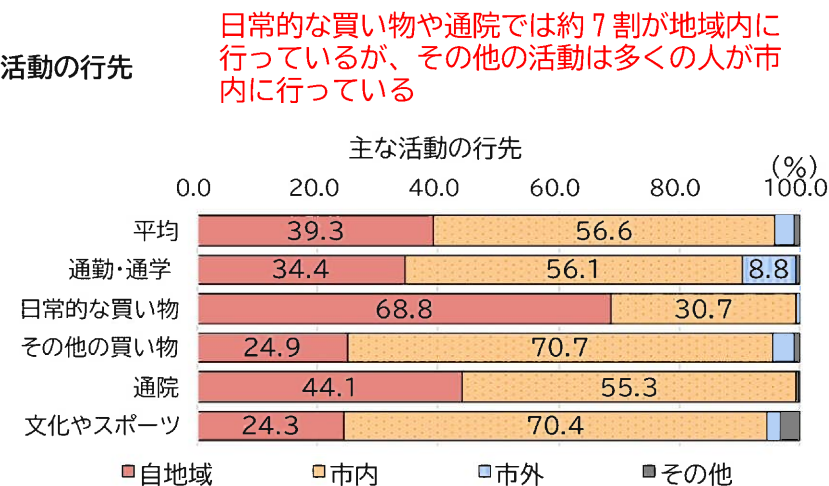
出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

■公共交通網と生活利便施設の分布



出典：富山市資料

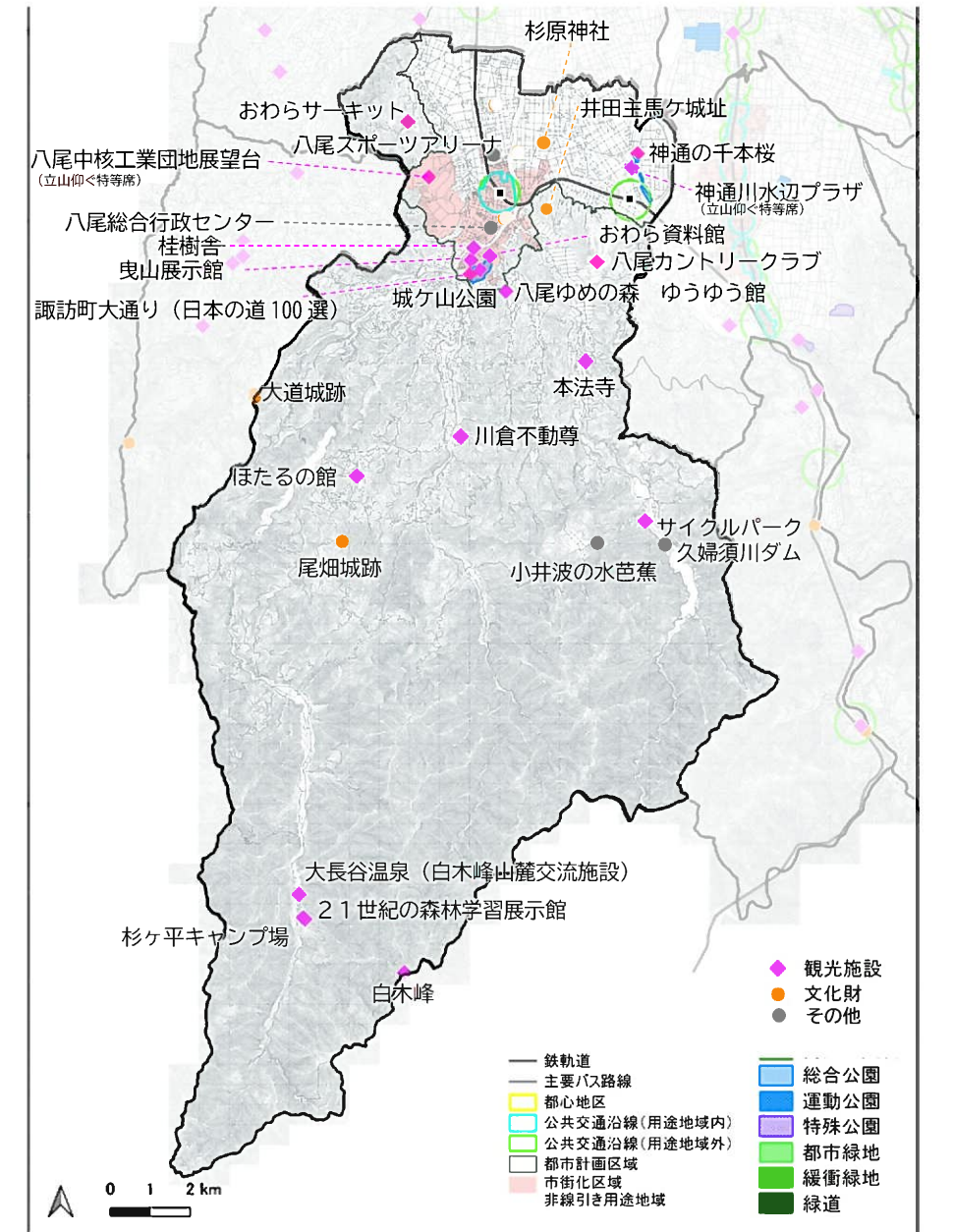
■主な活動の行先



出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

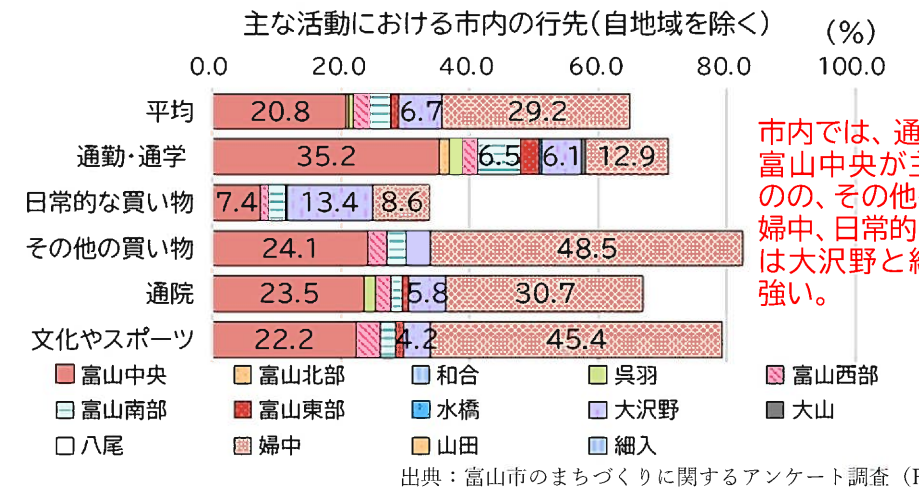
■主な地域資源の分布

旧町を中心に住民の生活と深いつながりのある歴史や文化に関する施設や資源があるとともに、中山間地域などでは城跡などの歴史遺産や豊かな自然環境が生み出すアクティビティに関する資源や施設がある。



出典：富山市資料

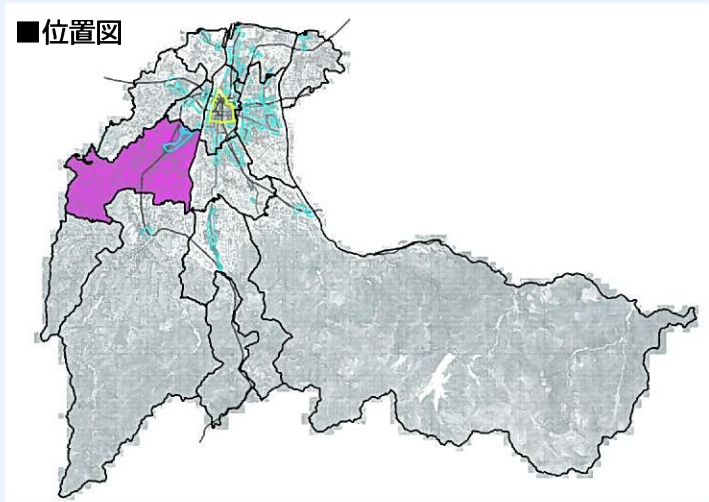
■主な活動における市内の行き先



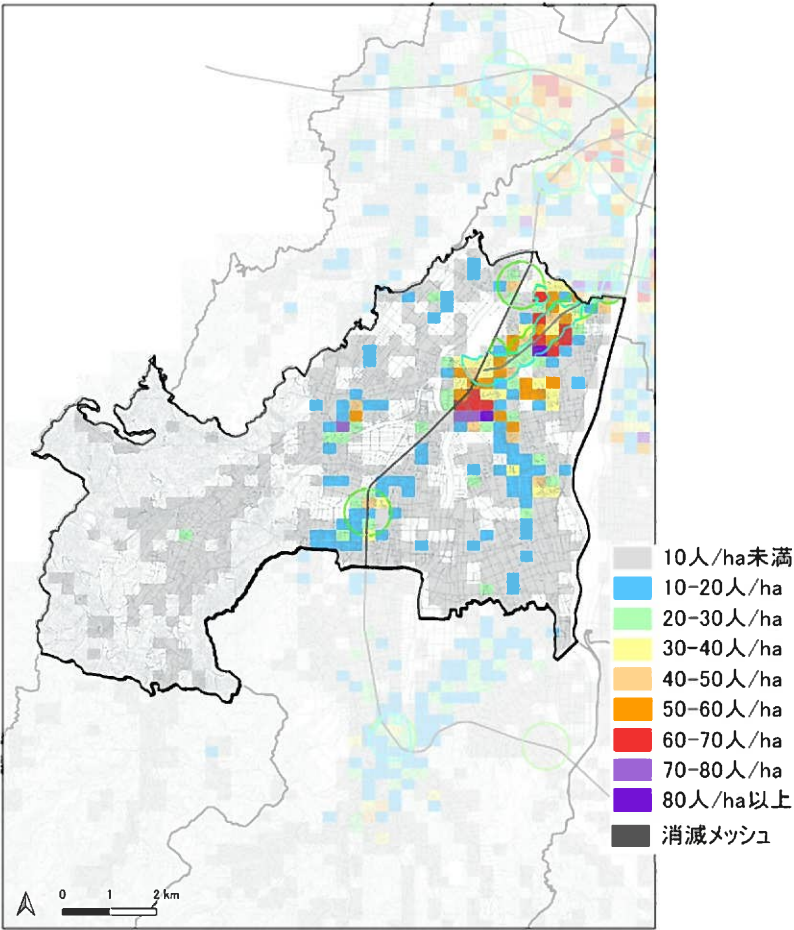
地区の概況

- ・婦中地域は、市の南西に位置している。
- ・森林や農地が多い地域であるが、速星や鶴坂などの地域を中心に市街地が広がり、全市や市外からも多くの集客がある大型ショッピングセンター、ファボーレの周辺の中心に宅地開発が進んできたエリアである。
- ・JR 高山本線の婦中鶴坂、速星、千里の3つの駅が立地しているほか、バスルートも充実して交通アクセスがよい環境がある。

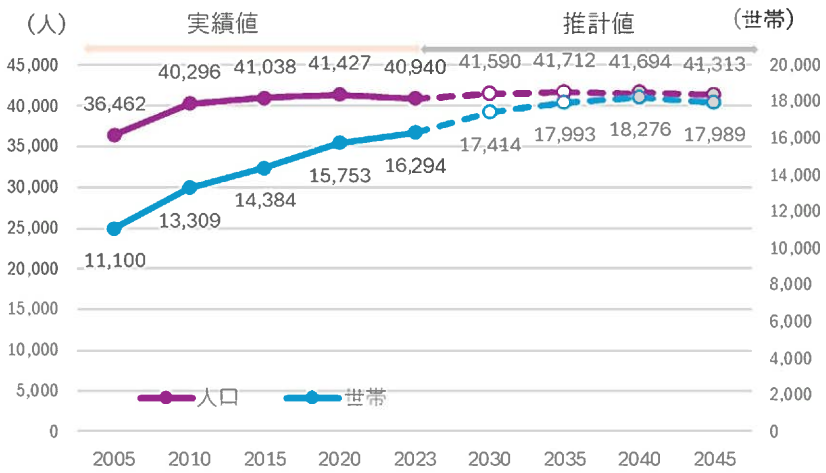
■位置図



■人口分布（2023年）



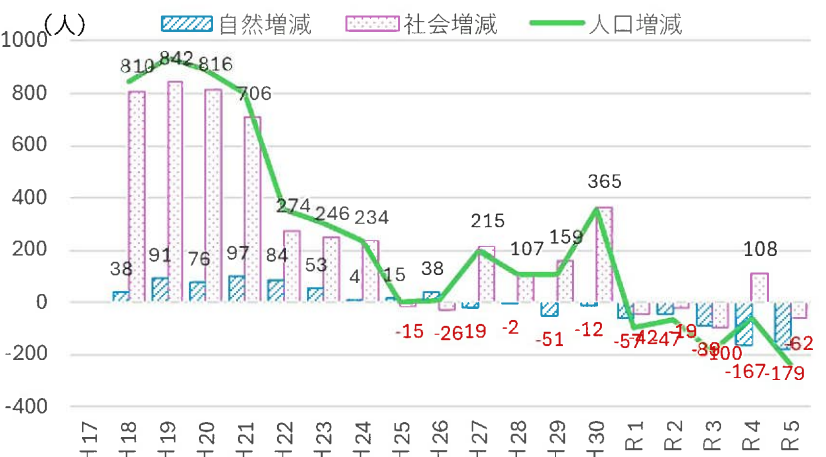
■人口・世帯の推移と見通し



人口は、2005年から12.3%増である、2015頃から横ばいで推移。世帯は、増加が続いているが、2040年をピークとなる見込み。

出典：富山市資料

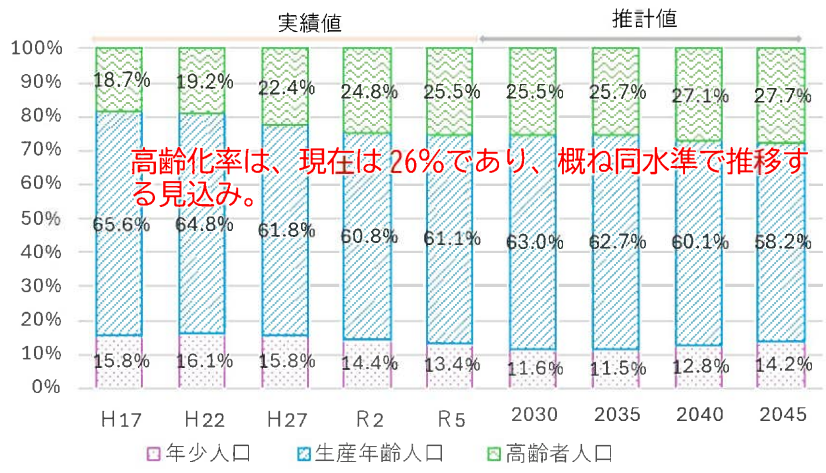
■自然増減・社会増減・人口増減



社会増減はH21以降増加幅が減少したものの社会増を維持していたが、R1から減少が続き、近年は人口減である。

出典：富山市資料

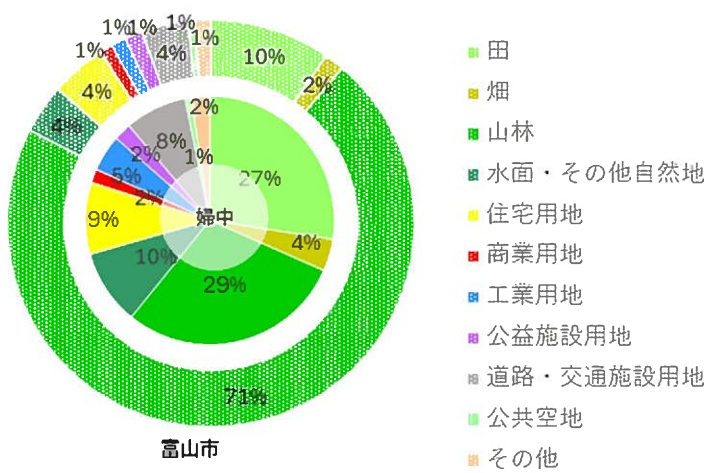
■年齢3区分割合の推移と見通し



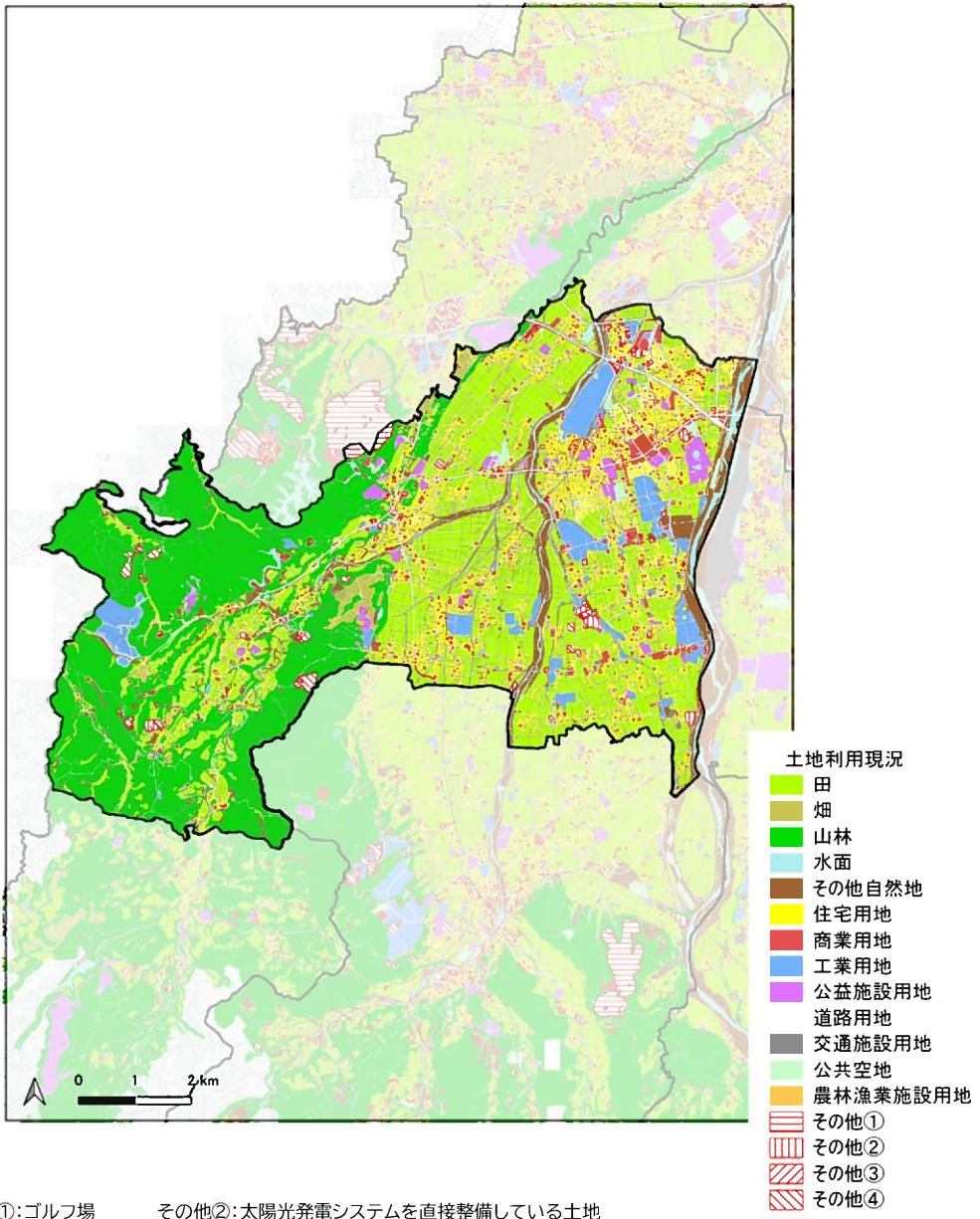
高齢化率は、現在は26%であり、概ね同水準で推移する見込み。

出典：富山市資料

■土地利用面積別構成比



■土地利用現況

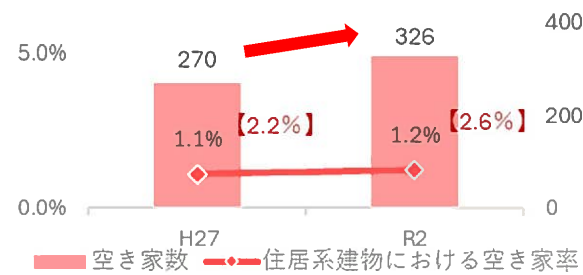


その他①：ゴルフ場
その他②：太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③：平面駐車場等
その他④：上記以外

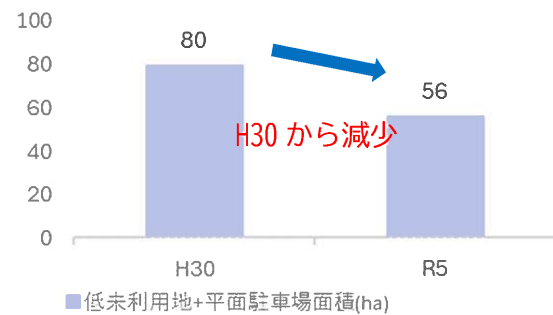
出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

■空き家数及び
住居系建物における空き家率

【富山市の空き家率】 空き家数、空き家率は増加。

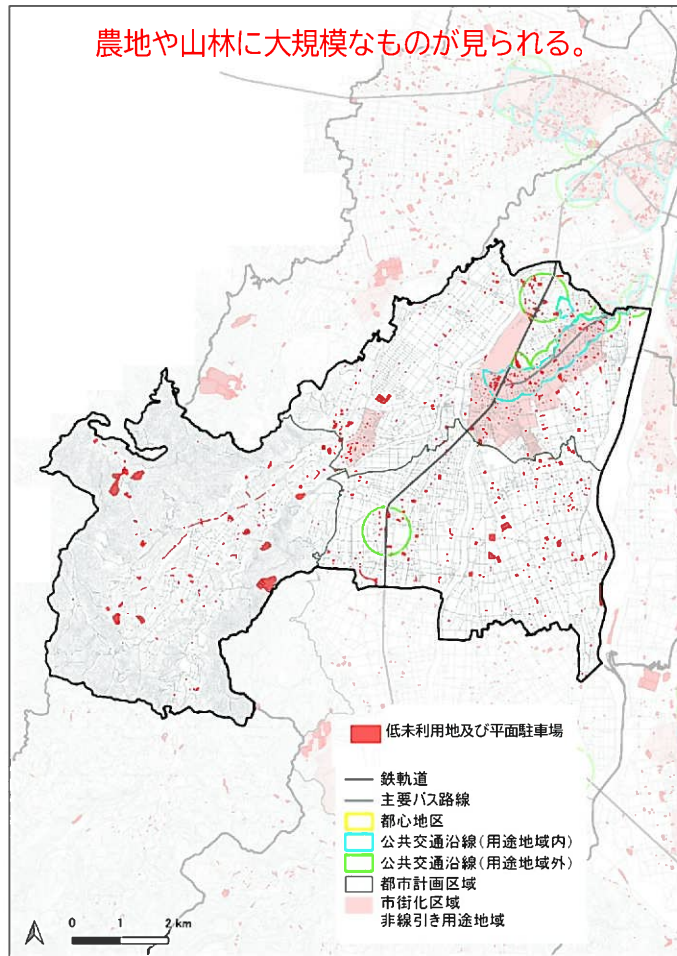


■低未利用地及び平面駐車場面積



■低未利用地及び平面駐車場の分布

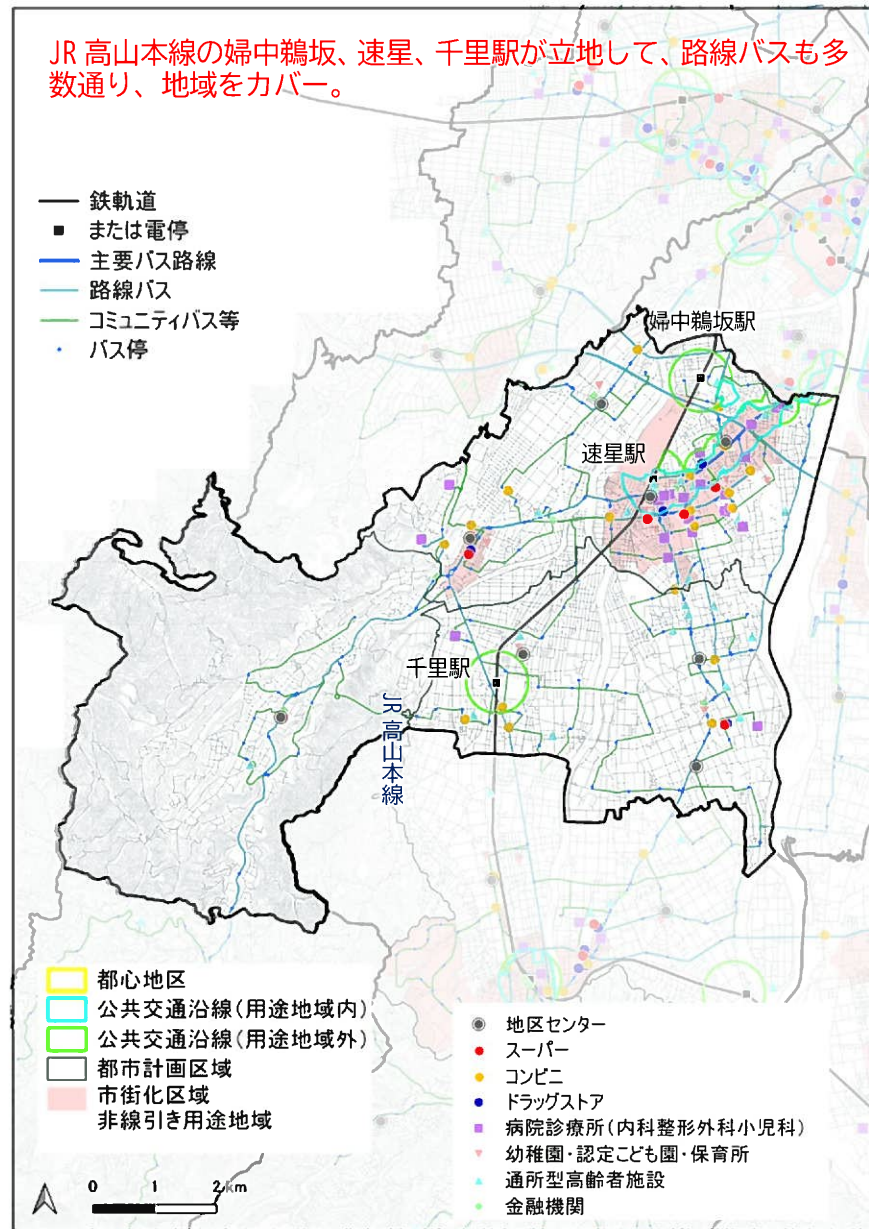
農地や山林に大規模なものが見られる。



出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

■公共交通網と生活利便施設の分布

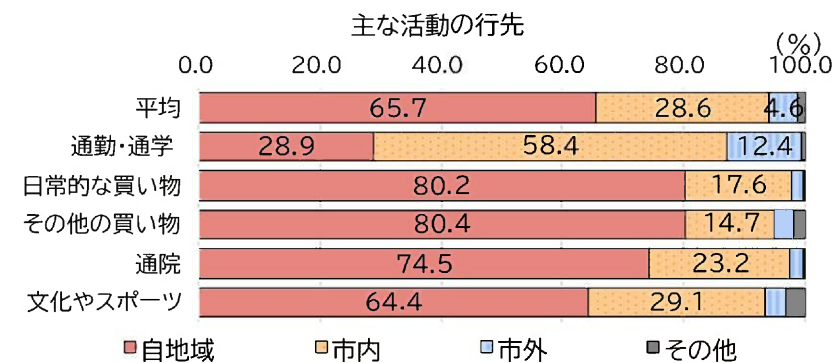
JR 高山本線の婦中鵜坂、速星、千里駅が立地して、路線バスも多数通り、地域をカバー。



出典：富山市資料

■主な活動の行先

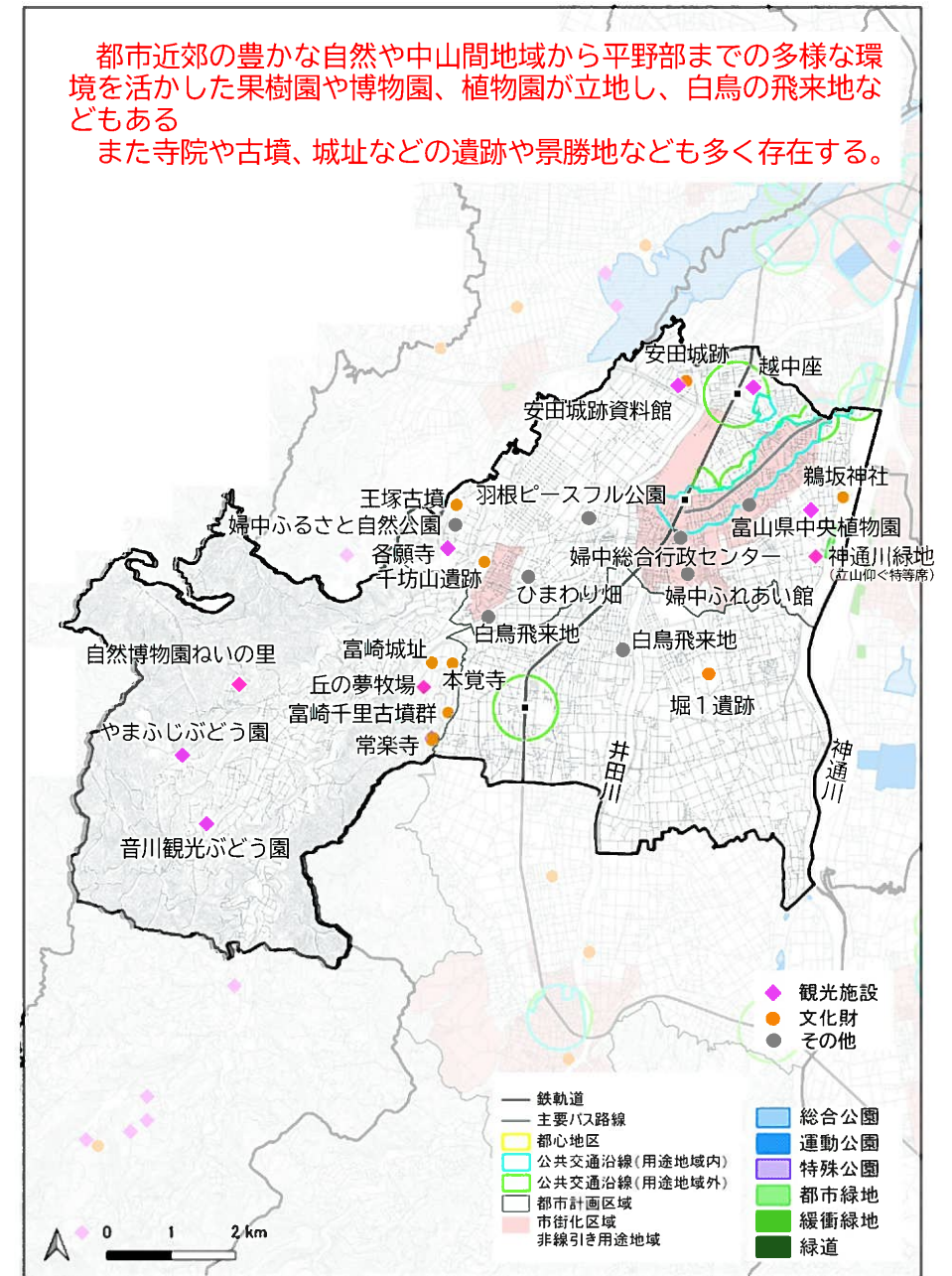
通勤・通学は地域内が3割、市内が6割である。



出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

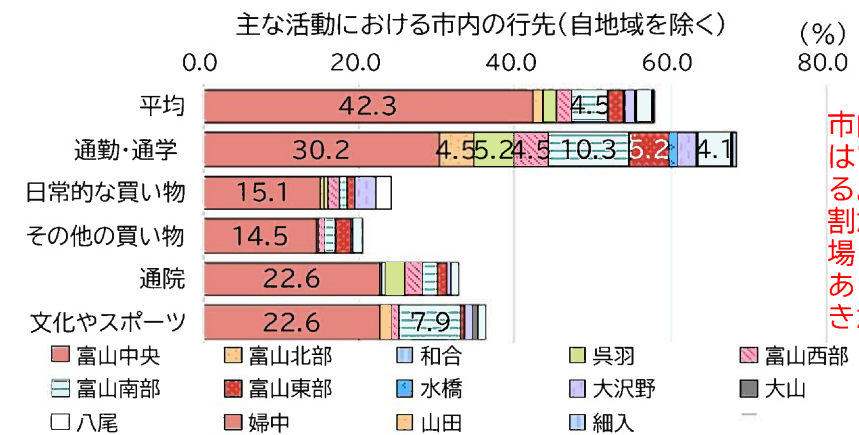
■主な地域資源の分布

都市近郊の豊かな自然や中山間地域から平野部までの多様な環境を活かした果樹園や博物館、植物園が立地し、白鳥の飛来地などもある
また寺院や古墳、城址などの遺跡や景勝地なども多く存在する。



出典：富山市資料

■主な活動における市内の行き先



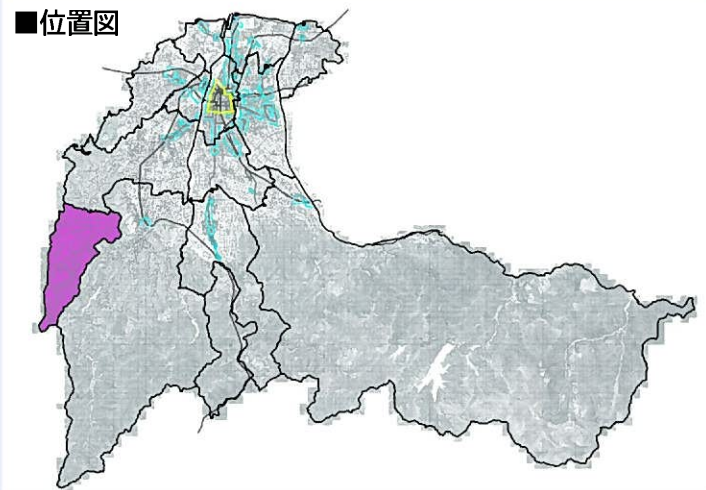
市内のうち、通勤・通学先は富山中央が3割を占める。・その他の活動は6~8割が地域内で、市内に行く場合にも富山中央が主であり、富山中央との結びつきが強い。

出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

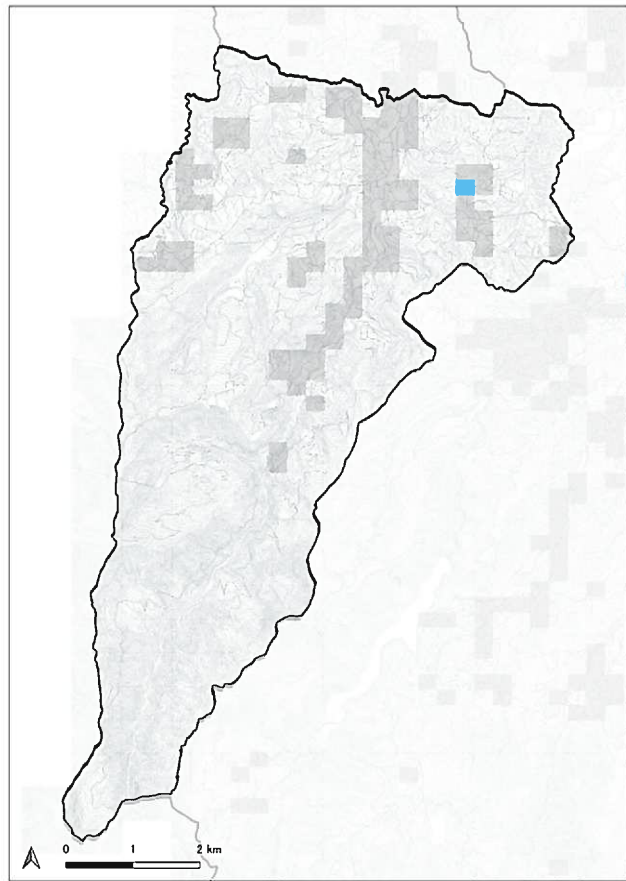
地区の概況

- ・山田地域は、富山市の南西部に位置し、地域の中央を流れる山田川を挟み、中山間部に集落が点在する豊かな自然環境に恵まれた地域である。
- ・地域の中央部を市の中心部に通じる主要地方道富山庄川線が縦断し、市中心部へは1時間以内のアクセスがある。
- ・棚田や森林が広がっており、自然や温泉などを活かし、「スキーといで湯の里」として整備したスキー場や温泉施設が立地している。

■位置図

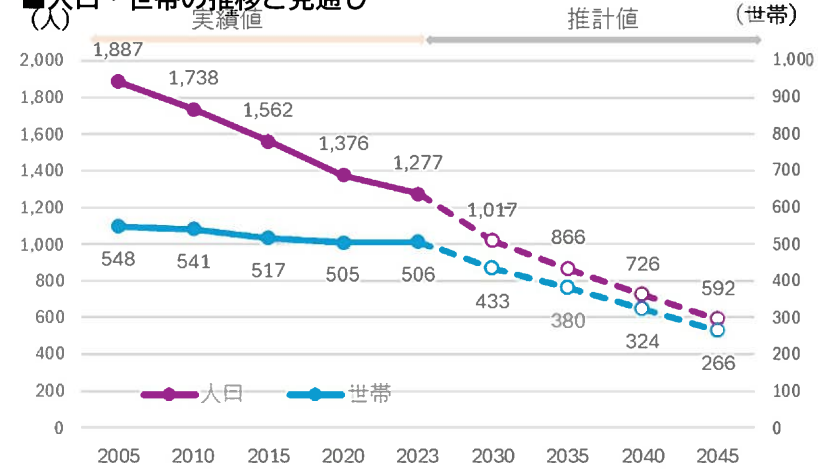


■人口分布（2023 年）



- 10人/ha未満
- 10-20人/ha
- 20-30人/ha
- 30-40人/ha
- 40-50人/ha
- 50-60人/ha
- 60-70人/ha
- 70-80人/ha
- 80人/ha以上
- 消滅メッシュ

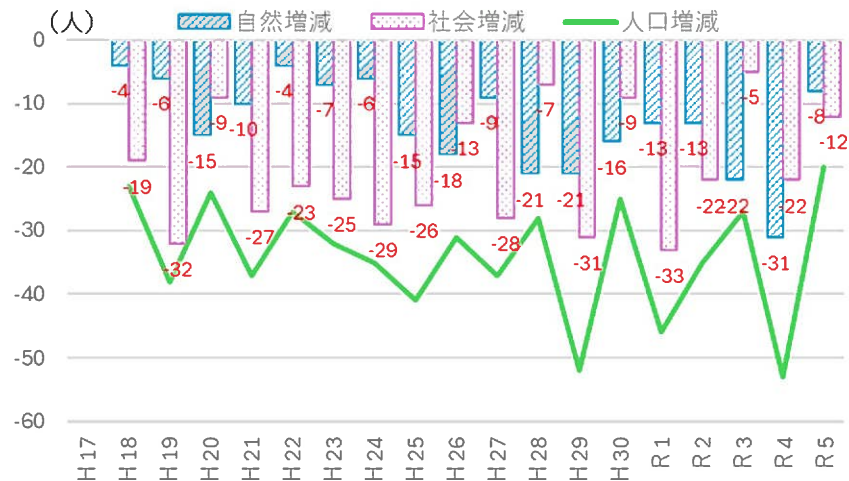
■人口・世帯の推移と見通し



人口は、2005 年から 500 人台を維持しているが、20 年後には概ね半数となると見込み。世帯は、H17 から概ね 3 割減で著しく減少しており、20 年後には 600 世帯以下となる。

出典：富山市資料

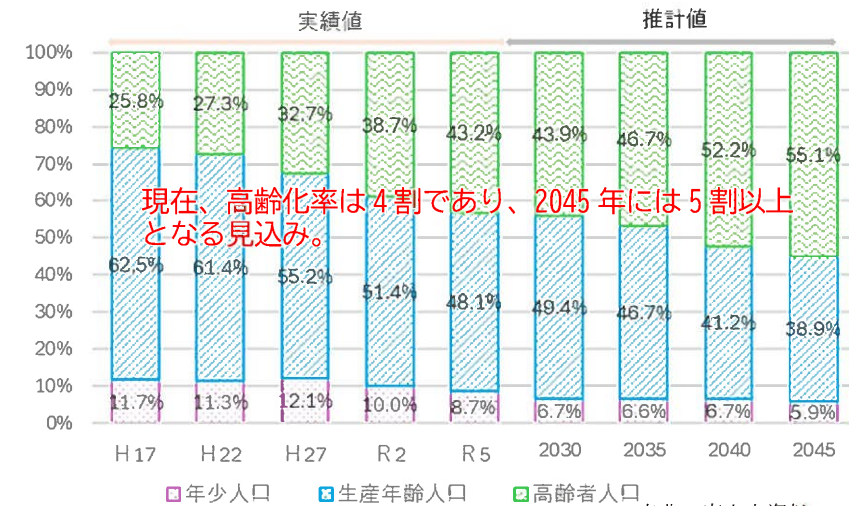
■自然増減・社会増減・人口増減



自然減、社会減が続く中、自然減の幅が大きくなってきており、人口減が増加傾向にある。

出典：富山市資料

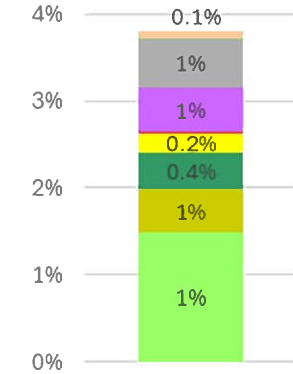
■年齢3区分割合の推移と見通し



現在、高齢化率は4割であり、2045年には5割以上となる見込み。

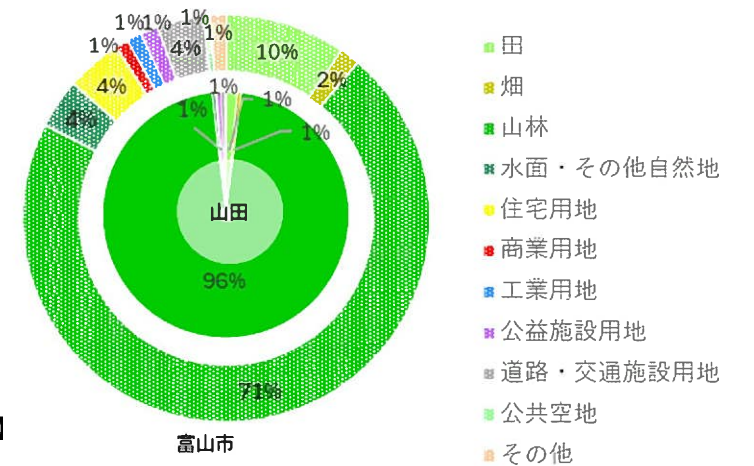
出典：富山市資料

■土地利用面積別構成比



【山林を除く土地利用面積構成比】

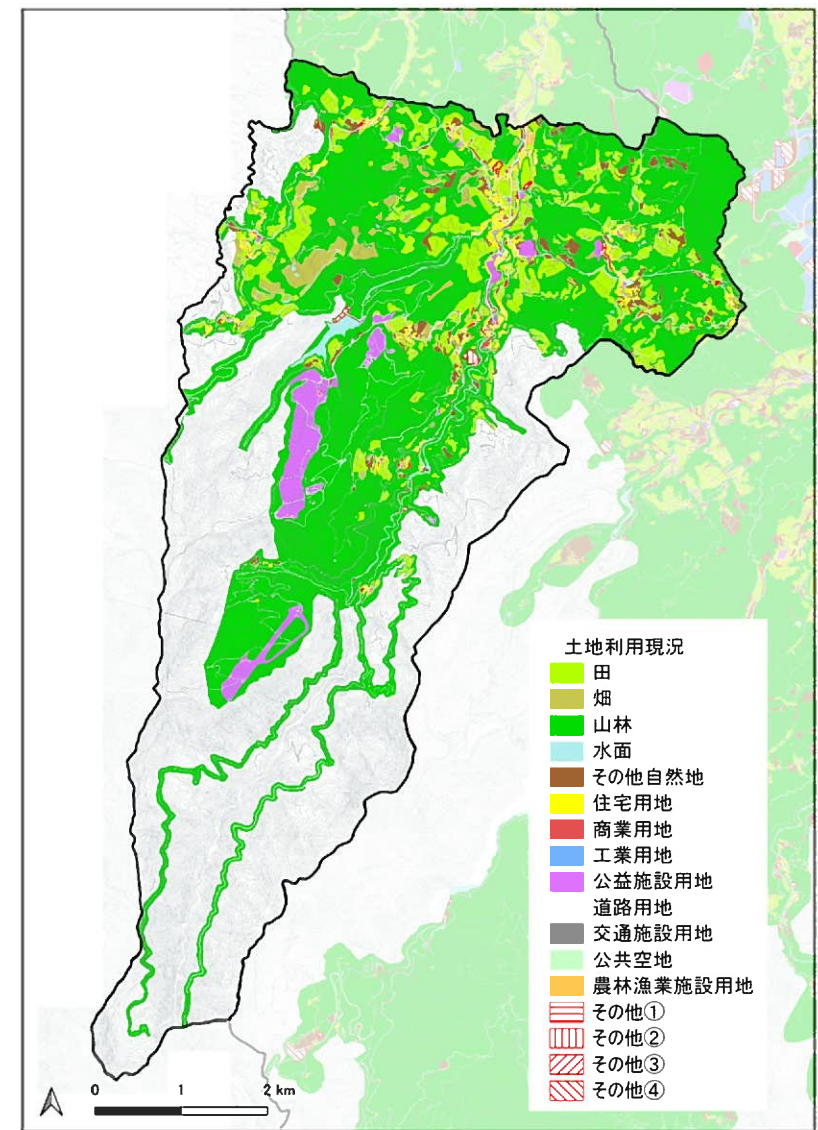
都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）の範囲外は、山林として算出。



富山市

■土地利用現況

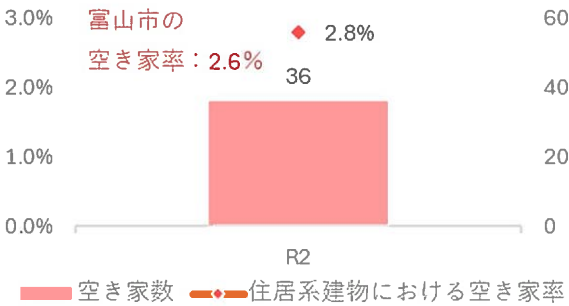
山林や田畑、水面などの自然的土地利用が 98%を占め、都市的土地利用は 2%程度である。



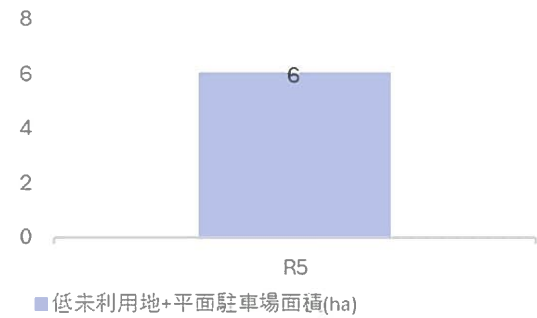
その他①:ゴルフ場
その他②:太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③平面駐車場等
その他④上記以外

出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

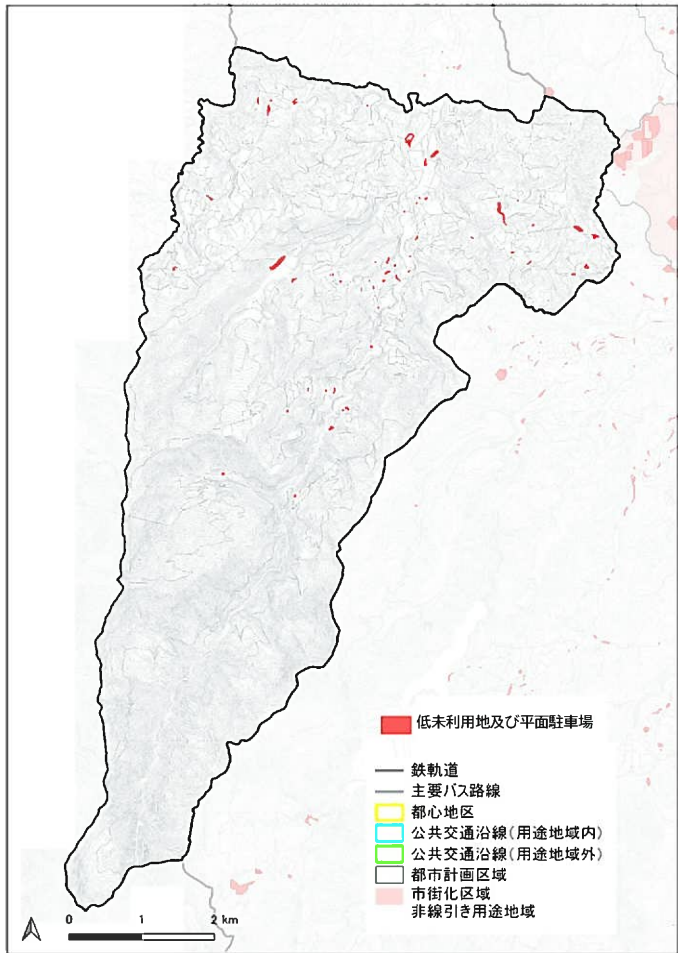
■空き家数及び住居系建物における空き家率



■低未利用地及び平面駐車場面積

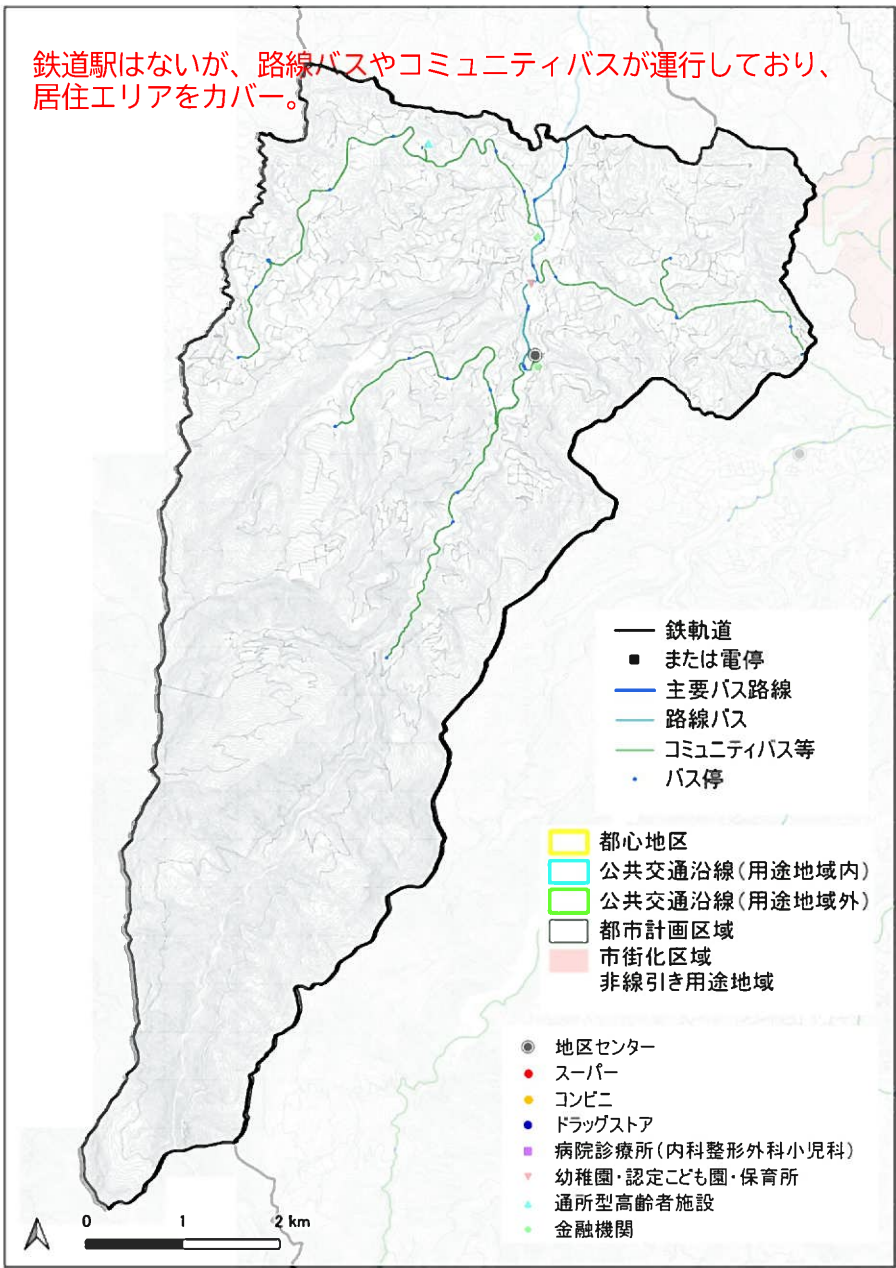


■低未利用地及び平面駐車場の分布



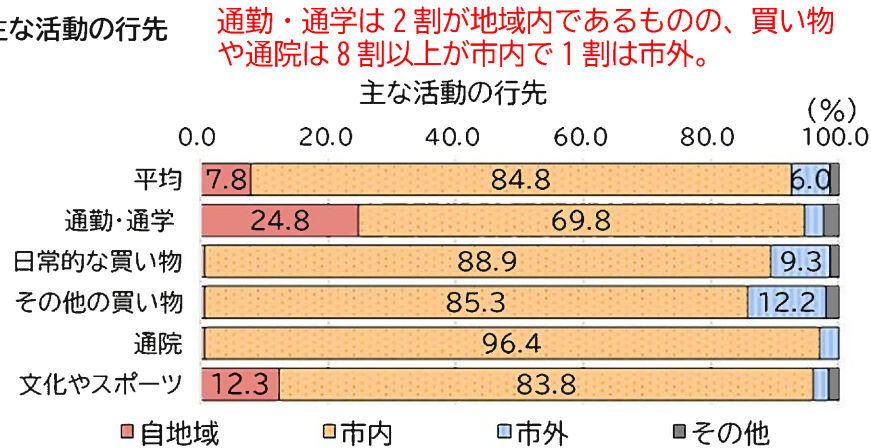
出典：都市計画基礎調査（R5：土地利用現況）

■公共交通網と生活利便施設の分布



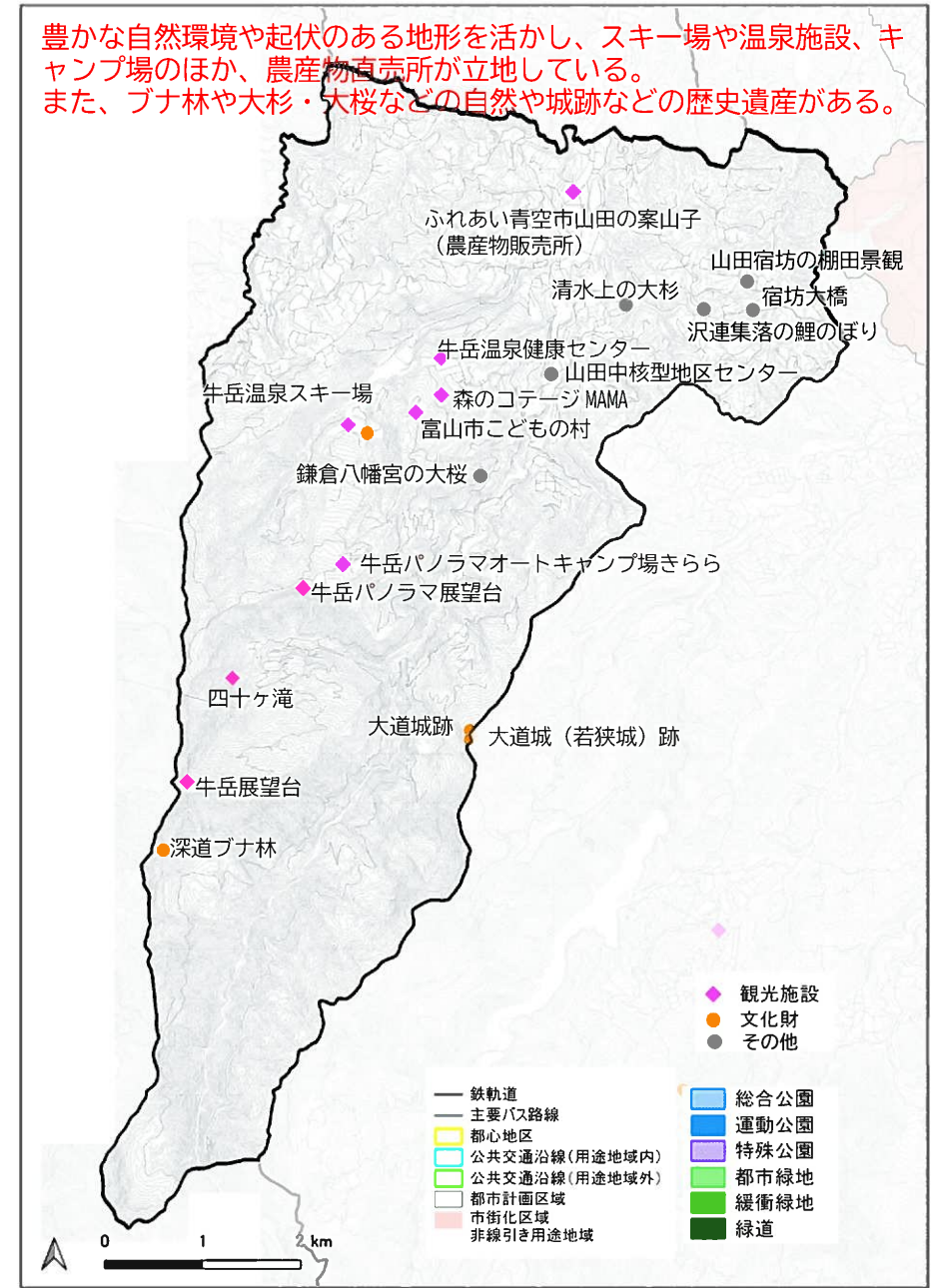
出典：富山市資料

■主な活動の行先



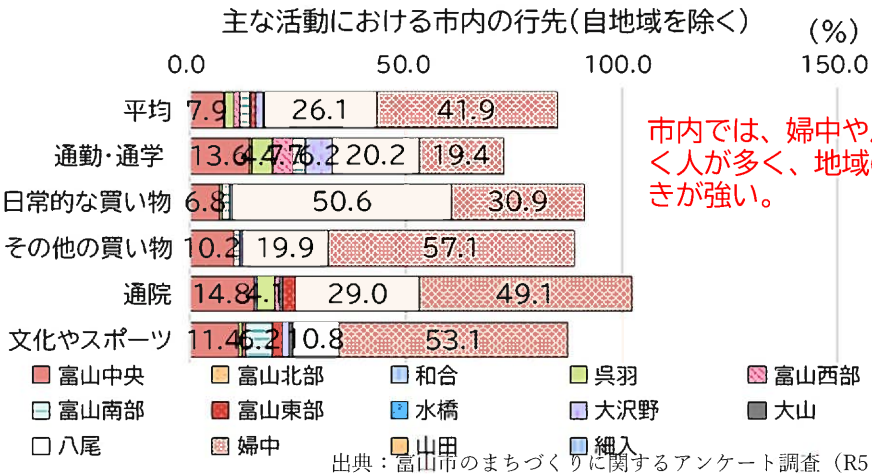
出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

■主な地域資源の分布



出典：富山市資料

■主な活動における市内の行き先



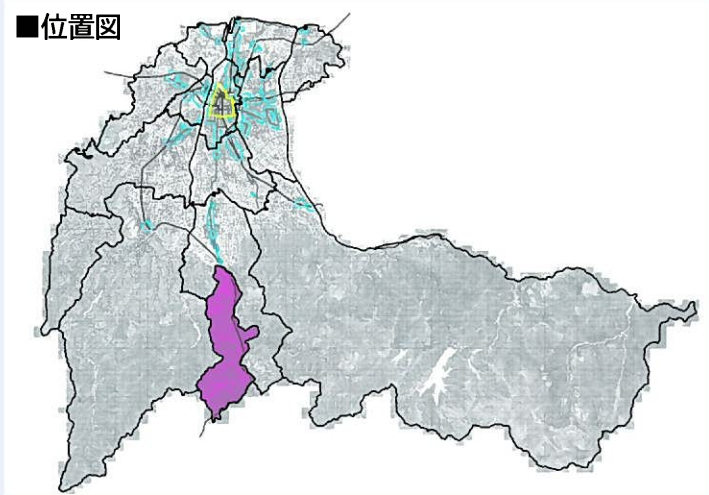
市内では、婦中や八尾に行く人が多く、地域の結びつきが強い。

出典：富山市のまちづくりに関するアンケート調査（R5年度）

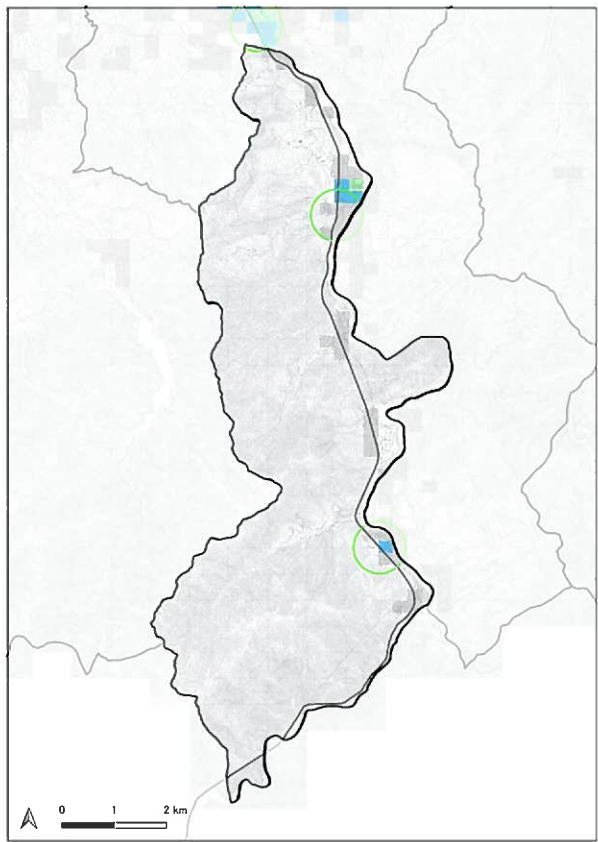
地区の概況

- ・細入地域は、市の南に位置し、大沢野、八尾地域と隣接している。
- ・大部分が山間で森林であり、地域にある神通峡では、美しい景観のある自然豊かな地域である。
- ・国道 41 号が唯一の主要な道路であるが、沿線には、道の駅や温泉など観光施設が複数立地している。
- ・JR 高山本線の楡原駅や猪谷駅も立地している。

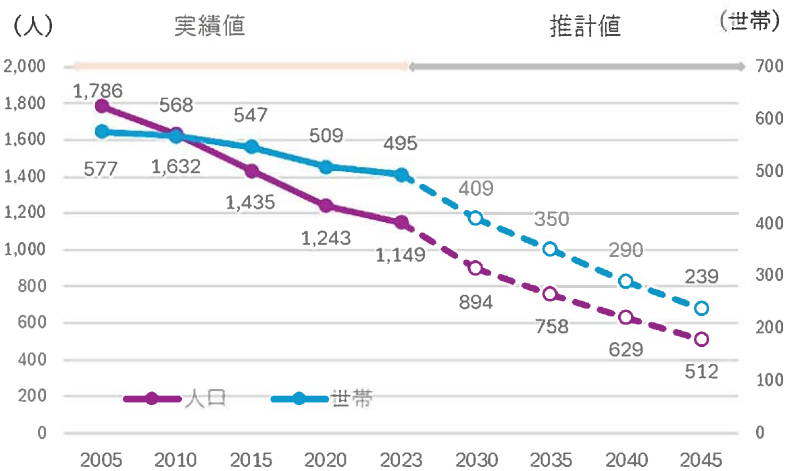
位置図



人口分布（2023 年）

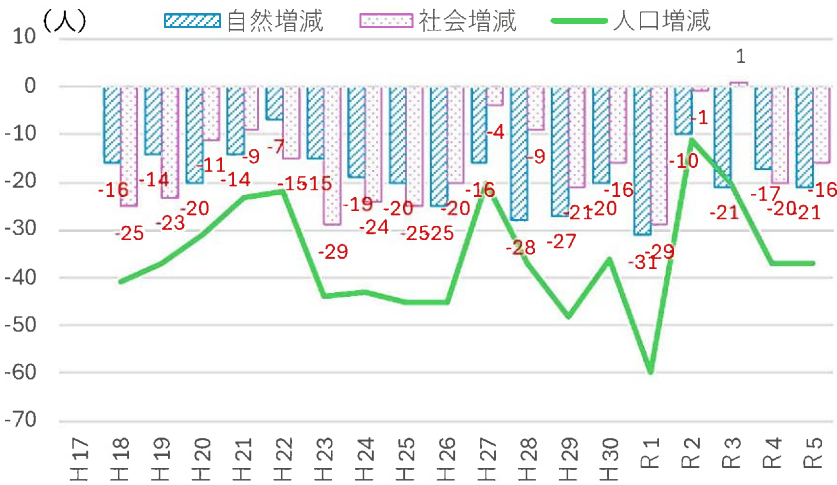


人口・世帯の推移と見通し



人口は、2005 年の 1786 人から 35.7%減の 1,149 人で 2045 年は 500 人台、世帯数も 200 世帯程度となる見込みである。
出典：富山市資料

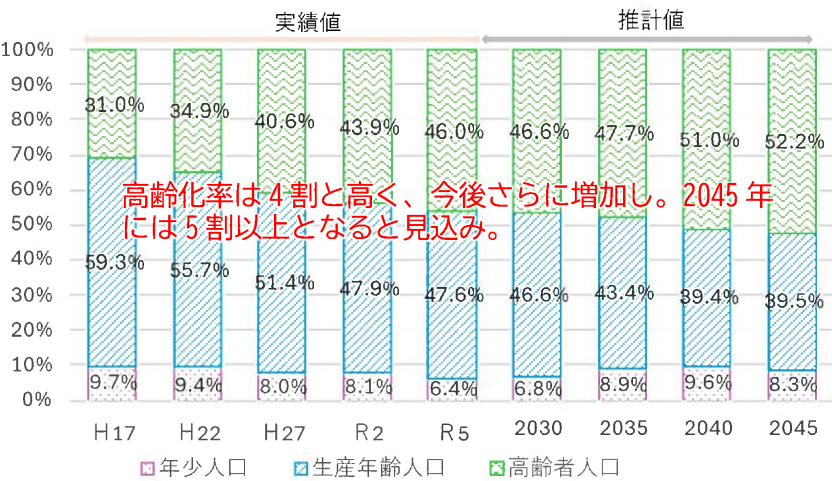
自然増減・社会増減・人口増減



自然減、社会減が続き、人口増減は減少が続いている。

出典：富山市資料

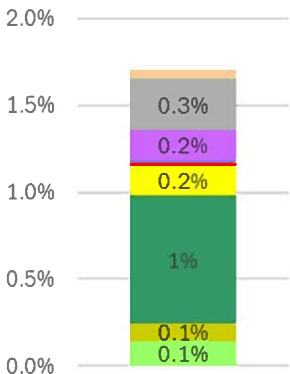
年齢3区分割合の推移と見通し



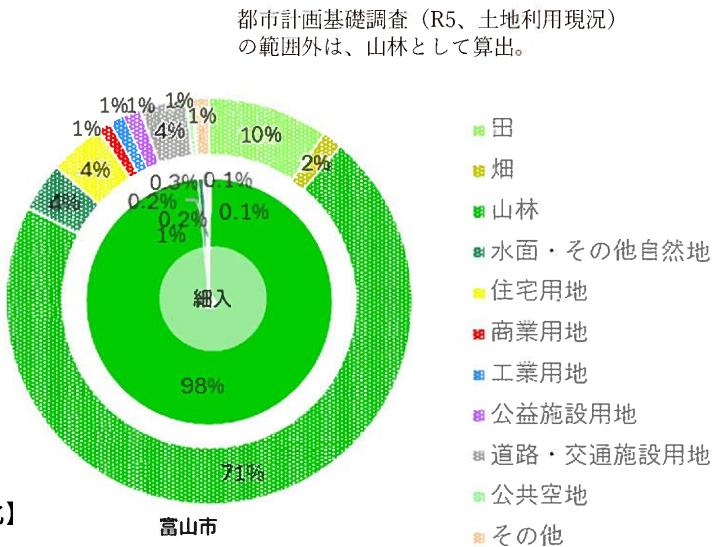
高齢化率は 4 割と高く、今後さらに増加し。2045 年には 5 割以上となると見込み。

出典：富山市資料

土地利用面積別構成比



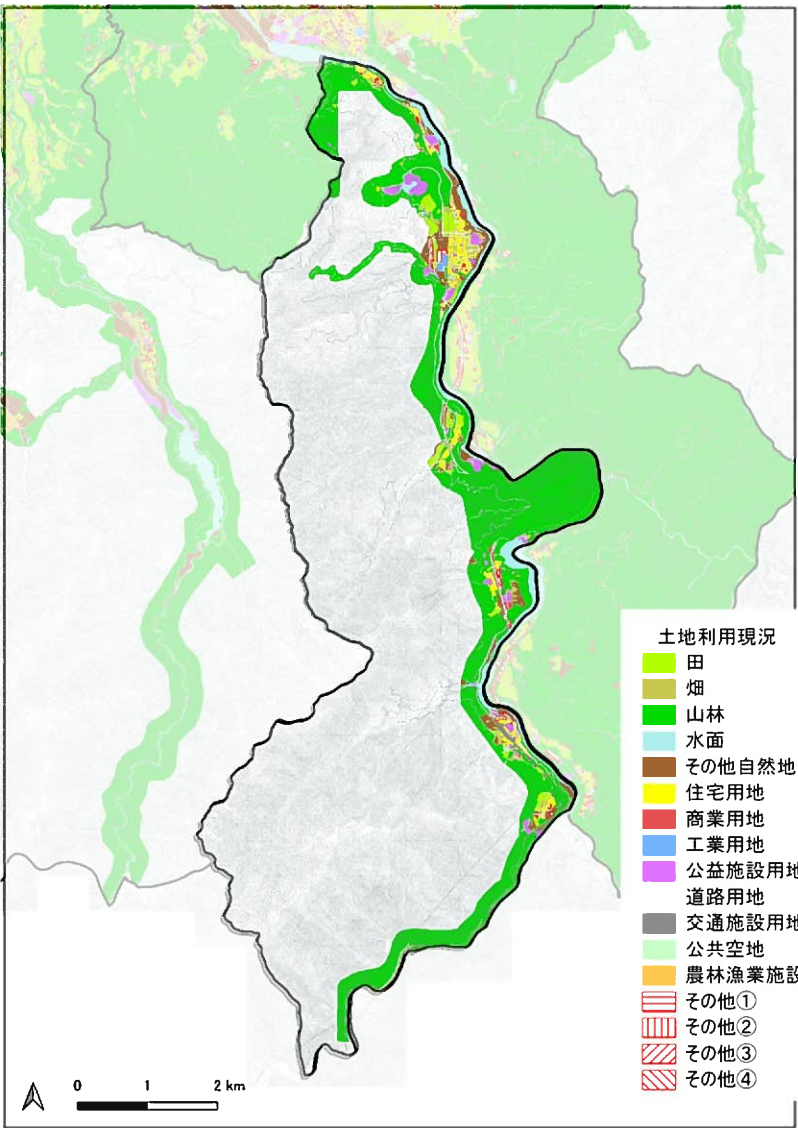
【山林を除く土地利用面積構成比】



富山市

土地利用現況

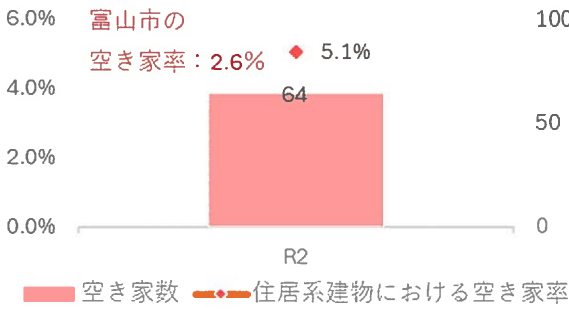
山林や田畑、水面などの自然的土地利用が 99%を占め、都市的土地利用は 1%程度である。



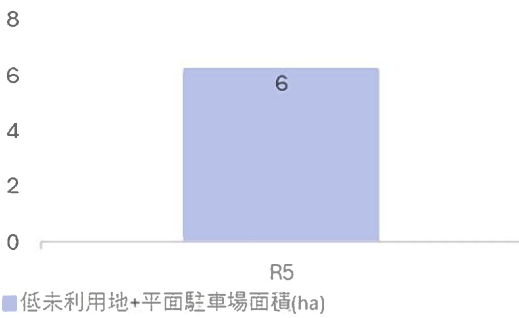
その他①:ゴルフ場
その他②:太陽光発電システムを直接整備している土地
その他③平面駐車場等
その他④上記以外

出典：都市計画基礎調査（R5、土地利用現況）

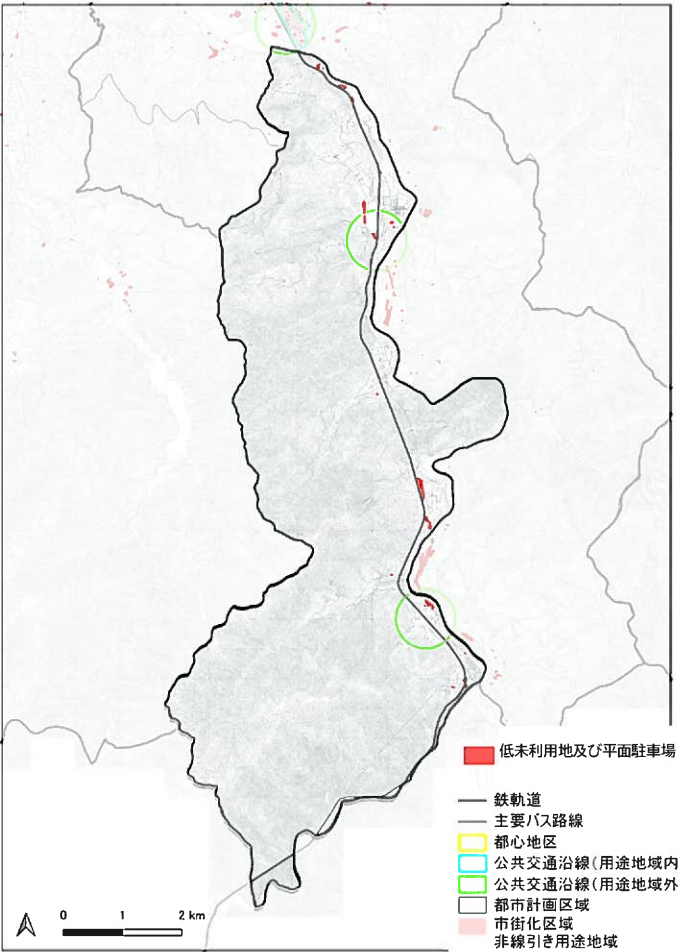
■空き家数及び住居系建物における空き家率



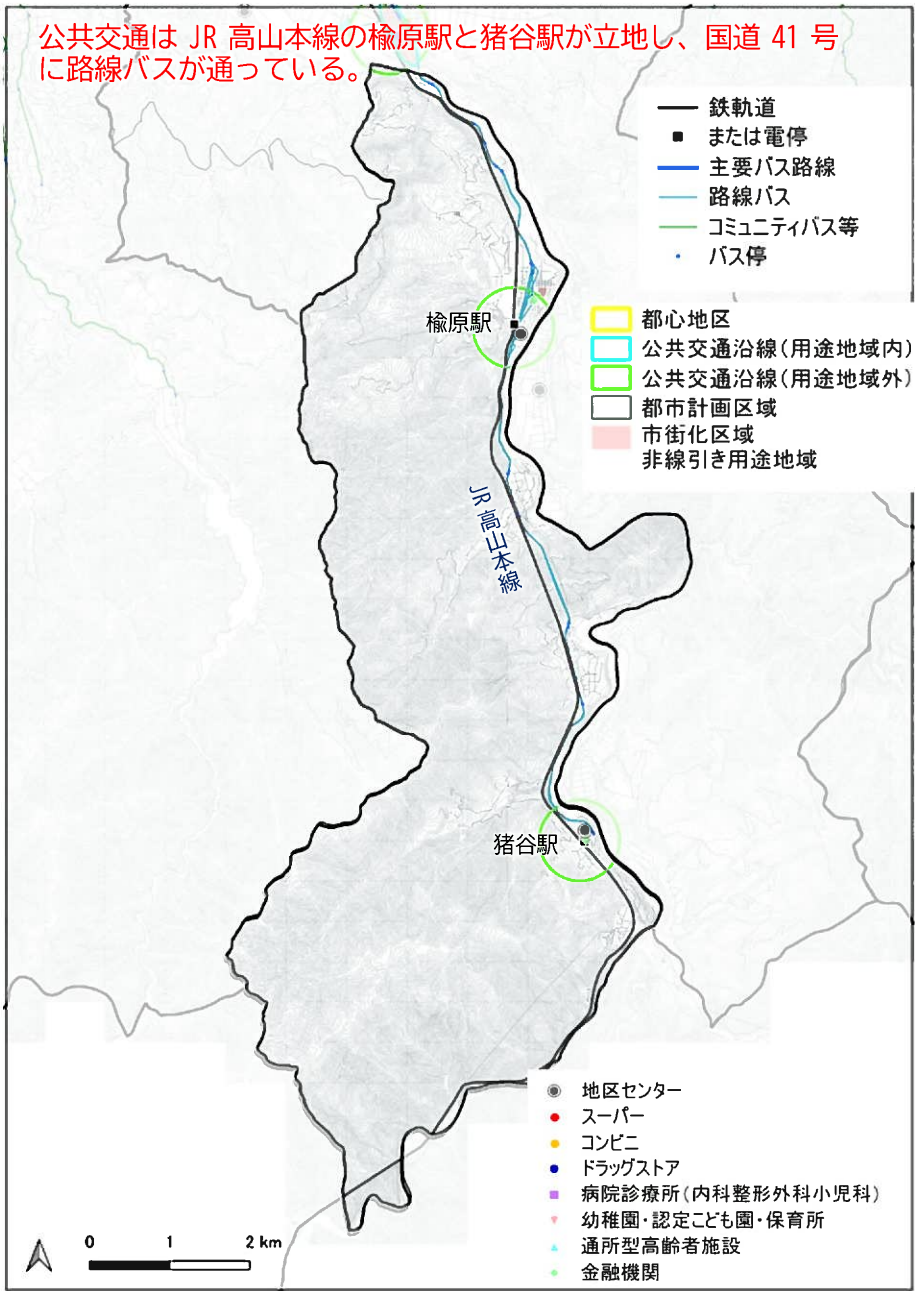
■低未利用地及び平面駐車場面積



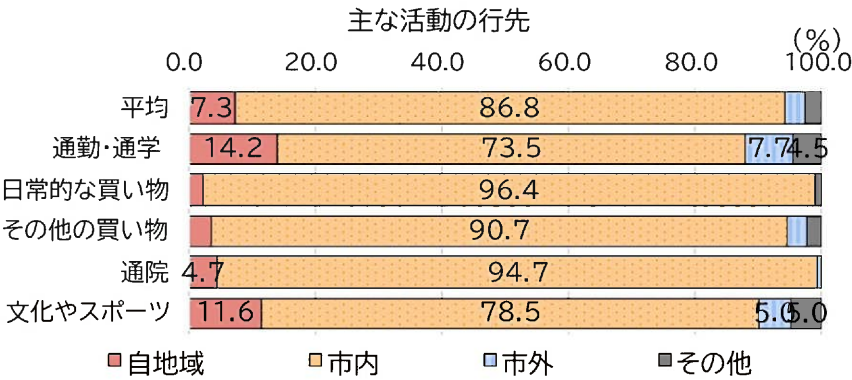
■低未利用地及び平面駐車場の分布



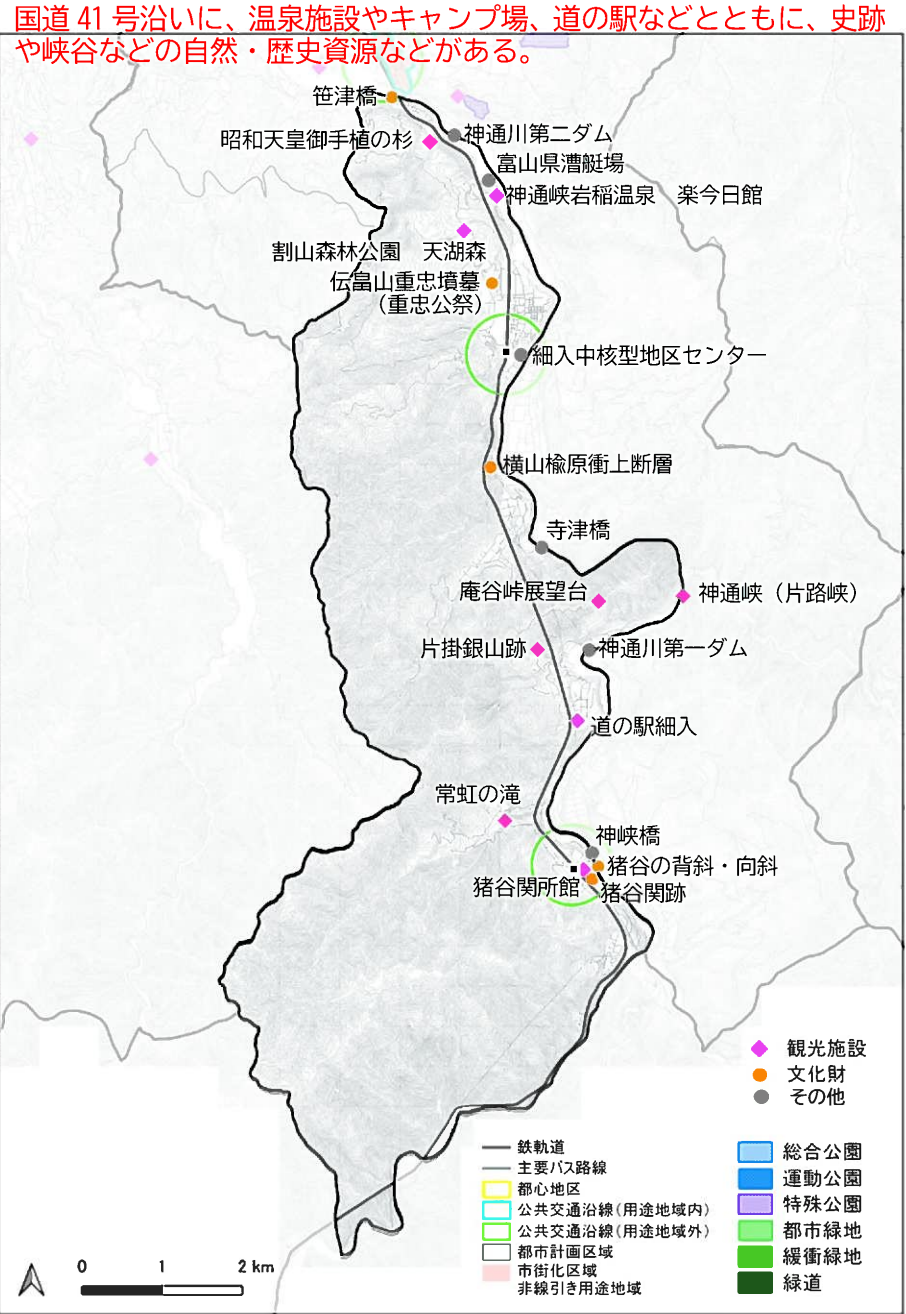
■公共交通網と生活利便施設の分布



■主な活動の行先 通勤・通学は 1 割が地域内である。



■主な地域資源の分布



■主な活動における市内の行き先

